Ⅶ　総括

作野遺跡は、遺跡規模や従来の複数次の調査成果などから、縄文時代後・晩期（約3,000年前）～弥生時代初頭に至る県内でも有数の拠点的集落と考えられてきた。

今回の調査では、小規模な調査区ながら、縄文時代晩期中葉後半～後葉前半の深さ約1.5ｍのＳＧ１谷跡を主に、谷の岸辺（平場）からは同後期末～晩期後葉の土坑群５基、溝跡１条、柱穴２基などが発見された。

遺物では、ＳＧ１谷跡を中心に、上記時期の土器や石器が谷の各層からコンテナ60箱分が多量に出土し、併せて土偶・石棒・土冠など祭祀具、垂飾品の玉類などの土製品や石製品も出土した。他に縄文時代中期や平安時代の土器も出土したが､明確な遺構は確認できなかった。

以下に遺構と遺物に分け整理し、まとめにかえる。

１　遺構

今調査区は、遺跡範囲の最も南端の一部に位置し、縄文時代後期末～晩期の様相がさらに明らかにできた。

具体的には、調査区の南端部で西流するＳＧ１谷跡が検出され、今調査区外の南東部で、隣接する第１次調査Ｂ地区（県教委1984）の「隠れ谷」とされた谷跡（同晩期中葉後半の大洞Ｃ２式期主体）の内容が、ＳＧ１谷跡の位置や堆積土状況、出土遺物と類似し、同一遺構と判断され、堆積土層毎の遺物の関連性がうかがえることにもよる。また、第１次調査Ｂ地区で出土のなかった縄文時代晩期後葉前半の大洞Ａ式期の土器群が、ＳＧ１谷跡の上層で確認され、やや時期が異なり、新相の層位や地点であることも分かった。

これまでの調査を総合すると、ＳＧ１谷跡は幅約10ｍほどで、東から西へ緩やかに傾斜する谷跡で、集落の南端を区切っていたと推測される。堆積土は、概ね５層に大別され、数度の洪水や崩落（砂層）と、安定した緩やかな堆積（粘質土）を繰り返しながら、縄文時代晩期中葉後半～後葉前半の大洞Ｃ２～Ａ式期の短い時期の間に、徐々に埋没していったことが推測された。

さらに、多量の土器や石器の他に、土偶や石棒・石刀、土冠などの祭祀具、新潟県糸魚川産の翡翠玉類も出土した。生活用具の廃棄場所の役割だけでなく、水辺の祭などに関わることも推測できる。上層Ｆ１層からは、土器を逆位で設置（ＲＰ30）するものがあり、埋設土器などの墓域の可能性もうかがえる。

調査区中央～北部は、現代の撹乱も認められるが、当該期の土坑群や溝跡、柱穴跡、ピットなどが確認された。

遺構の分布は、ＳＧ１谷跡の北側約10ｍの調査区中央部南側では、全体に希薄である。この北側では、直径約１ｍ前後のＳＫ２・９･12･51･69などの土坑群がある。これらは、断面形が袋状や壁が直線的に立ち上がるものが多く、貯蔵穴群と考えられる。

北側には、ＳＰ３・18とした大型の柱穴群やＳＤ５溝跡が確認された。大型の柱穴は、建物を組むまでには至らなかったが､調査区外に建物が延びる可能性もある。

作野遺跡の集落構成は、遺跡範囲のほぼ中央部に竪穴住居跡群（昭和54年度調査）などの集落があり、その外縁に建物跡を構成する柱穴群や溝跡があり、さらにその外には貯蔵穴と考えられる土坑群などがあることがわかった｡土坑群の外縁には谷が近いためか遺構は希薄で、ＳＧ１谷跡などの落ち込み地形は､「土器捨て場」などの廃棄場や、水辺の祭などに利用されたと考えられる。

２　遺物

遺物は、土器、石器、土製品、石製品などが出土した。以下に、主体的な土器を中心に、特徴的なものを記し、１次調査区との比較や遺跡の変遷などをまとめる。

Ａ　土器の組成と変遷

今調査では、縄文時代後期末葉～晩期後葉の同時代終末頃の長期間にわたる土器や石器が多数出土した。しかし、これらの大半は、特にＳＧ１谷跡から出土し、概ね同晩期中葉後半～後葉前半の大洞Ｃ２～Ａ式期に至る限定された時間幅のものであった。また、これらは大きくわけると５層に分層され、新しい順に上層（Ｆ１層）、中層（Ｆ２層）、下層（Ｆ３層・Ｆ３下層）、最下層（Ｆ４層）であった。時期は、土器文様の形態や遺存状況などから、全体ではＦ４～Ｆ３下層が縄文時代晩期中葉後

半古段階（大洞Ｃ２式期古段階）、Ｆ３～Ｆ２層が同中葉後半新段階（同Ｃ２式期新段階）、Ｆ１層が同後葉前半（同Ａ式期）と考えられた。

各層から出土した土器は、復元により所謂粗製土器も含め、全体で177点以上の個体数（口～体部の1/6以上残存のもの）が把握された。各層では、20～30点前後（Ｆ４・Ｆ３・Ｆ１層）、50点前後（Ｆ３下・Ｆ２層）と、やや数量に大小はあるが、各層を大枠で括ると、大きな時期的な組成変化などがうかがえた。

その結果から、土器相の器種・器形の比率（第25図）や容積分布図（第26図）の概要を記す。また土器変遷図（第22～24図）で、文様や地文の特徴をまとめる。

Ａ－１　器種（表10）　器種構成の変遷を記す。

深鉢　各層で30～50％以上の割合があり、各時期において一定量出土し、安定的に割合が高い器種である。また、文様の有る（有文）深鉢と粗製深鉢の比率では、有文のものが深鉢全体の1/4～1/5と少なく、それ以外は粗製深鉢が大半を占める。粗製深鉢は、器種全体でも20～40％あり、これらは、大洞Ｃ２式期～大洞Ａ式期に一定の比重を継続的な比率であったことが分かる。また、大洞Ｃ２式新段階でやや大型化傾向がうかがえる。

鉢　Ｆ４～Ｆ３下層では30～50％と最も割合が高く、Ｆ２層で減少が認められ、Ｆ２～１層で10～20％の減少傾向がうかがえる。有文と粗製の比率は、全体に有文の割合が高いが、Ｆ４～Ｆ３下層では粗製が1/2～1/3前後の一定量を占め、Ｆ３・Ｆ２層では粗製が減少、Ｆ１層で再び粗製の量が増加する。

大洞Ｃ２式期古段階では、粗製も含め鉢類が多く、定型化が認められる。大洞Ｃ２式期新段階～同Ａ式期では、数量が急減少する。なお、鉢でも深鉢と同様に大洞Ｃ２式期新段階でやや大型化の傾向がある。

浅鉢　Ｆ４層では約15％と少量だが、Ｆ３下～Ｆ３層で約20％前後に増加する。Ｆ２～Ｆ１層では全体の25～30％の割合で、器種の中で深鉢に次いで割合が高くなる。全体に粗製は少なく、有文若しくは口縁部内面に沈線が巡るものが大半である。なお、浅鉢ではＦ２～Ｆ１層では台付浅鉢も認められ台付の増加がうかがえる。

大洞Ｃ２式期古段階では大型品も多いが、同Ｃ２式期新段階ではやや小型化したものが多く、定型化が認められる。更に同Ａ式期でも、数量は増加し、台付浅鉢が一定の割合を占める。これらは、大洞Ｃ２式期新段階～同Ａ式期の前述鉢類の減少に対し、浅鉢と比率が逆転する。

壺　Ｆ４～Ｆ３下層では15％前後で、Ｆ３～Ｆ１層では約20％前後と全器種の中で一定量が認められる。全体では肩部や口縁部内面に有文が多いが、普遍的に粗製品が含まれると考えられる（Ｆ４・Ｆ３・Ｆ２層）。なお、小型の蓋がＦ３・Ｆ１層より出土し、個体では不明瞭だが、若干の細口壺の存在もうかがえる。大洞Ｃ２式期古段階～同Ａ式期で少量だが大型品が認められ、大洞Ｃ２式期では一定の粗製品も認められる。

注口土器　全体に数が少なく、Ｆ４層では個体で明確なものは不明である。しかし、Ｆ３下～Ｆ１層では、各層で５～10％前後と比率は少ないが、有文のものが安定的に組成する。特にＦ２層でやや増加が認められる。

大洞Ｃ２式期古段階には数量的にやや不明確だが、同Ｃ２式期新段階～同Ａ式期には大型品なども少量ある。

小型土器　全体に数は少なく、Ｆ４層は不明だが、上位のＦ３下～Ｆ１層では、各層で５～10％前後である。壺や浅鉢などの小型模倣品が一般的にある。大洞Ｃ２式期古段階～同Ａ式期まで一定量散見される。

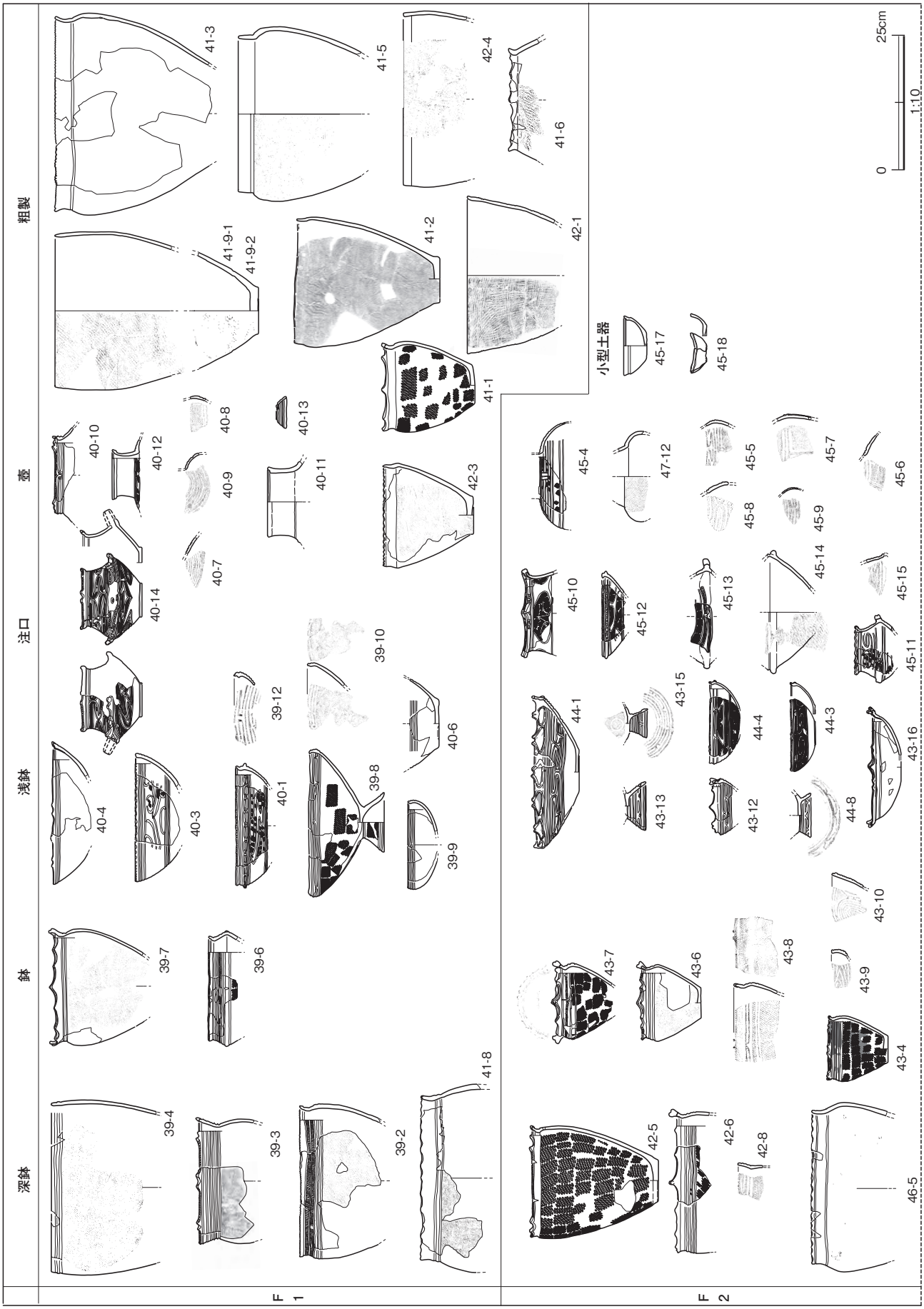
Ａ－２　器形と文様（表11）　各器種の器形と文様の変遷を述べる。特に各層毎に、まとまりのある個体として数量的に分類可能なものを中心に概括する。

有文土器

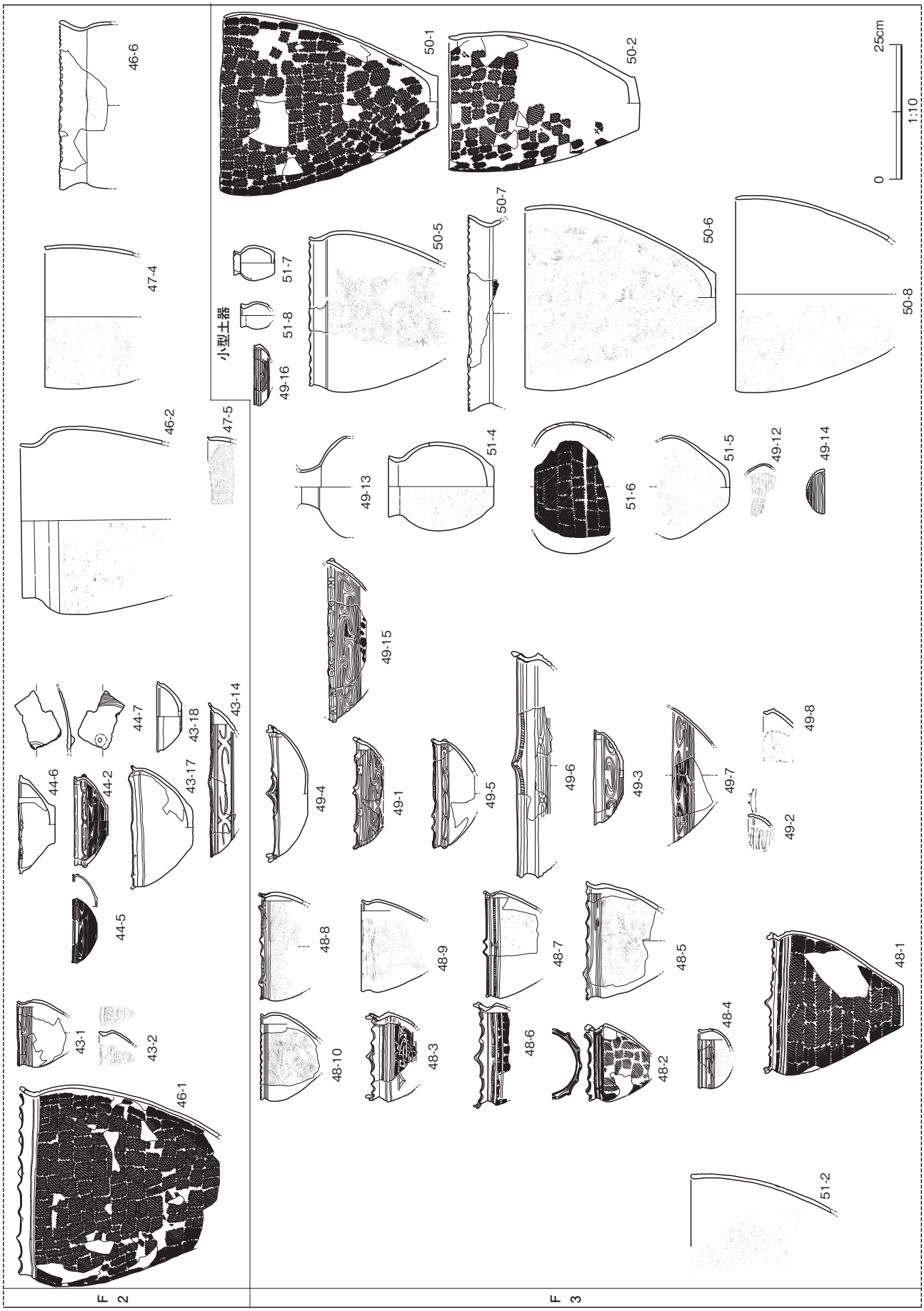
深鉢・鉢　体部下半が欠損し一部器形が不明瞭なものも含めた深鉢・鉢類では、全体に胴～頸部に括れを持ち口縁部が外傾（Ⅰ類）するものはなく、胴部が若干膨らみ口縁に至り口縁部が直立か内弯（Ⅱ類）、口縁部が屈曲して外傾か外反（Ⅲ類）に分類した。

深鉢では、Ⅱ・Ⅲ類が認められ、Ⅱ類は、Ｆ１・Ｆ３層で口縁部に平行沈線が巡るものがあり、粗製の大半を占める平縁寸胴形と同形態である。また、数少ない有文に、単純に口縁部が屈曲・外反するⅢvi類が多く、一部小～中型品にⅢｂ類や口縁部が長いⅢｖ類が少量見られるが、時期による形態差は大きく見いだせない。

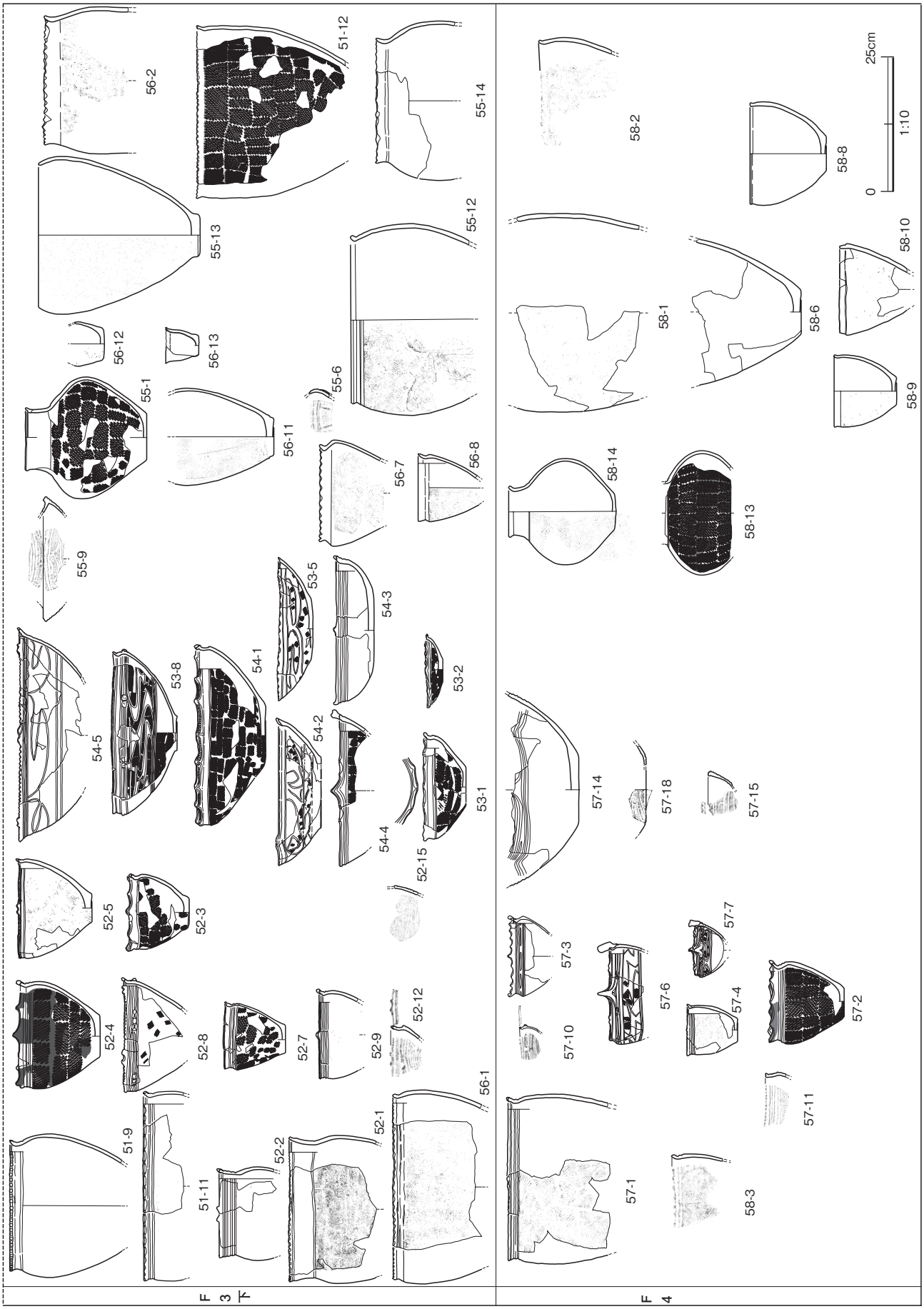
鉢は、Ｆ３下～Ｆ２層でⅢ類のものが大半である。体部肩が張り頸部窄まり口縁部外傾する一群（Ⅲｉ・ⅱ類）が継続的に鉢類で主体を占め、全体ではⅢｉ類からⅢⅱ類へ変化していく。他に上記器形の変容形態としてⅢｉ類の口縁部がない形態Ⅲⅲ類、口縁部が長く無文帯など


粗製
壺
注口
浅鉢
鉢
深鉢
F 1
F 2
小型土器
0
25cm
1:10
41-3
41-5
42-4
41-6
41-9-1
41-9-2
41-2
42-1
41-1
40-10
40-12
40-8
40-13
40-9
40-11
40-7
42-3
40-14
39-10
39-12
40-4
40-3
40-1
39-8
40-6
39-9
39-7
39-6
41-8
39-4
39-3
39-2
45-17
45-18
45-4
47-12
45-5
45-7
45-6
45-8
45-9
45-10
45-12
45-13
45-14
45-15
45-11
44-1
43-15
44-4
44-3
43-16
43-13
43-12
44-8
43-10
43-7
43-6
43-8
43-9
43-4
42-5
42-6
42-8
46-5

第 22 図　遺物変遷図 1



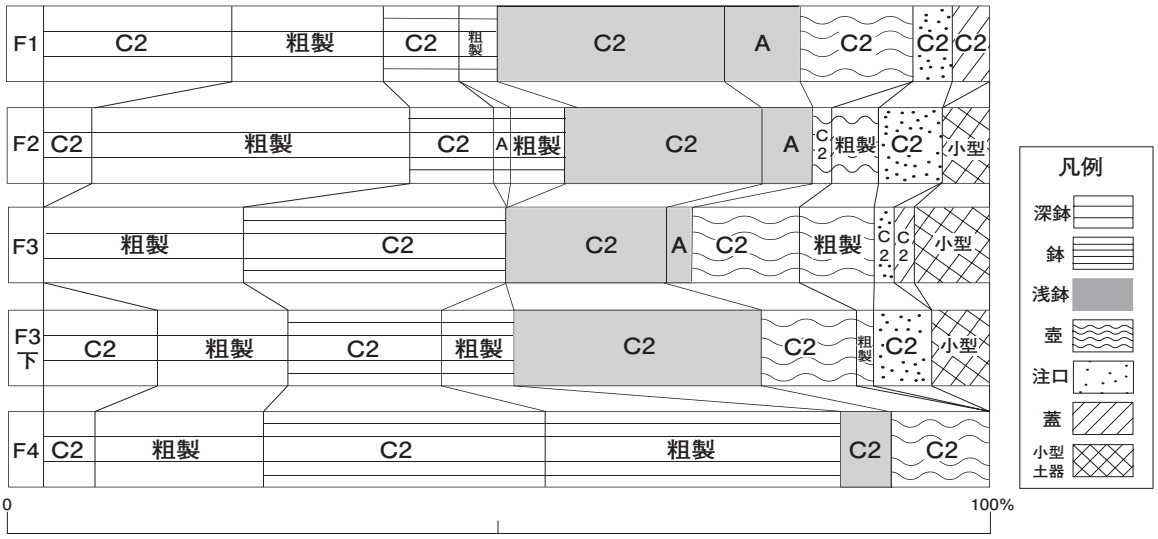
第 23 図　遺物変遷図 2



第 24 図　遺物変遷図 3

表 10　器種組成表

器種	深鉢			鉢			浅鉢			壺			蓋			注口			小型	計
文様	C2	A	粗製	C2	A	粗製	C2	A	粗製	C2	A	粗製	C2	A	粗製	C2	A	粗製		
F1	5	0	12	2	0	1	4	3	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0	1	33
比率	15.2	0.0	36.4	6.1	0.0	3.0	12.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	18.7
F2	2	0	11	6	1	0	10	3	1	1	0	3	0	0	0	4	0	0	3	45
比率	4.4	0.0	24.4	13.3	2.2	0.0	22.2	6.7	2.2	2.2	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	8.9	0.0	0.0	6.7	25.4
F3	0	0	8	9	0	0	5	1	0	3	0	3	1	0	0	1	0	0	2	33
比率	0.0	0.0	24.2	27.3	0.0	0.0	15.2	3.0	0.0	9.1	0.0	9.1	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	6.1	18.7
F3 下	4	0	9	8	0	4	13	0	0	6	0	1	0	0	0	3	0	0	2	50
比率	8.0	0.0	18.0	16.0	0.0	8.0	26.0	0.0	0.0	12.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	4.0	28.2
F4	1	0	3	5	0	4	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	16
比率	6.3	0.0	18.8	31.3	0.0	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0
計	12	0	43	30	1	9	33	7	1	13	0	9	2	0	0	9	0	0	8	177
比率	6.8	0.0	24.3	16.9	0.6	5.1	18.6	4.0	0.6	7.3	0.0	5.1	1.1	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	4.5	100.0

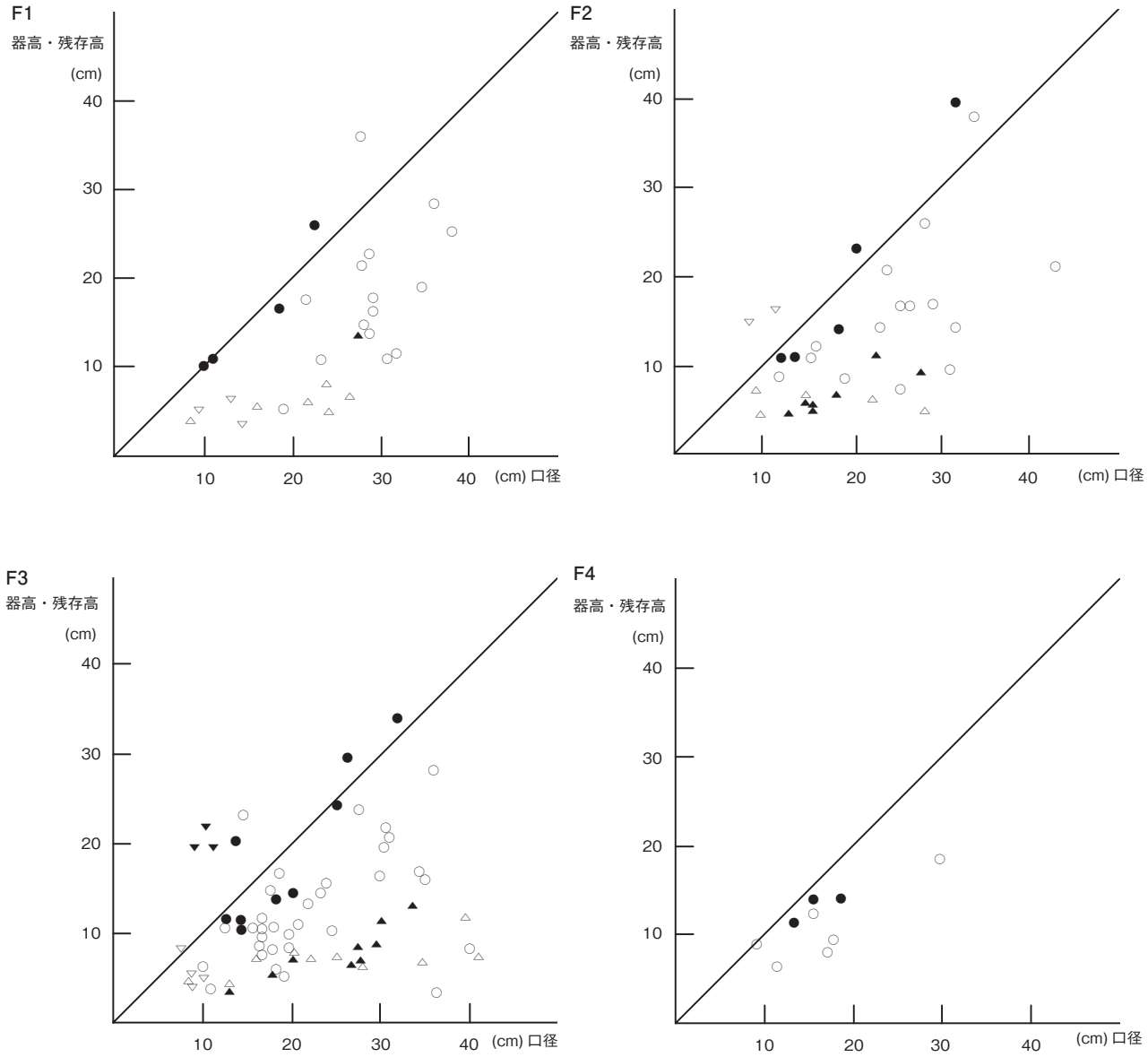


第 25 図　層毎の土器の器種組成率の割合図

表 11　地文組成表

		斜縄文							撚糸	櫛歯（箆描）	無文	無文（文様付）	絡条体条痕文	計
		LR	RL	結節 LR	L	R	LR・RL	直前段多条						
有文	F1	9	0	1	0	0	2	1	0	0	0	7	0	20
	比率	45.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	35.0	0.0	100.0
	F2	16	0	0	0	1	1	1	0	0	0	11	0	30
	比率	53.4	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	36.7	0.0	100.0
	F3	7	0	1	0	0	4	1	0	0	0	9	0	22
	比率	31.8	0.0	4.5	0.0	0.0	18.3	4.5	0.0	0.0	0.0	40.9	0.0	100.0
	F3 下	23	5	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	36
	比率	63.8	13.9	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	100.0
	F4	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	7
	比率	28.6	14.2	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	100.0
	計	57	6	2	0	1	12	3	0	0	0	34	0	115
	比率	49.6	5.2	1.7	0.0	0.9	10.4	2.6	0.0	0.0	0.0	29.6	0.0	100.0
粗製	F1	10	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	13
	比率	76.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	100.0
	F2	6	1	0	1	0	4	0	0	0	2	0	1	15
	比率	40.0	6.7	0.0	6.7	0.0	26.6	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	6.7	100.0
	F3	8	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	比率	72.7	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	F3 下	5	2	2	1	0	2	2	0	0	0	0	0	14
	比率	35.7	14.3	14.3	7.1	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	F4	3	1	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	9
	比率	33.4	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	100.0
	計	32	6	2	3	0	8	3	1	1	4	0	2	62
	比率	51.6	9.7	3.2	4.8	0.0	12.9	4.9	1.6	1.6	6.5	0.0	3.2	100.0
合計	計	89	12	4	3	1	20	6	1	1	4	34	2	177
	比率	50.3	6.8	2.2	1.7	0.6	11.3	3.4	0.6	0.6	2.2	19.2	1.1	100.0

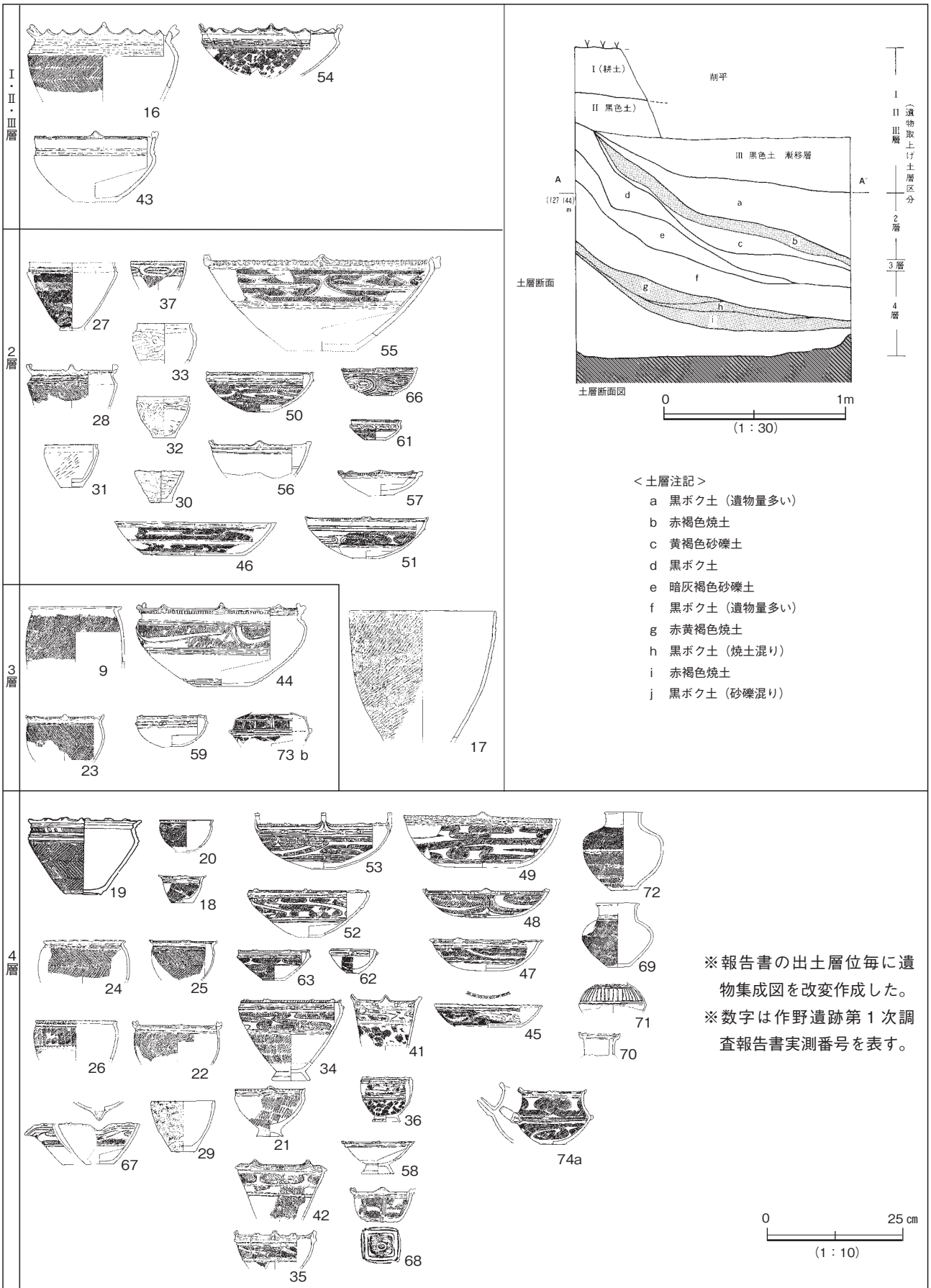
※小型土器は、無文（文様付）に含む。



器種毎の容積グラフ　凡例		
深鉢・鉢	●	完形
	○	準完形 (底部欠損)
	□	口縁部破片 (底部欠損)
浅鉢	▲	完形
	△	口縁部破片 (底部欠損)
壺	▼	完形
	▽	口縁部破片 (底部欠損)

第 26 図　土器容積分布図

作野遺跡第１次調査（1982）Ｂ地点出土遺物



第 27 図　第１次調査土器変遷図

を有するⅢvi′類、口縁部が短いⅢiv類、口縁部が直立するⅢｖ類などが各層で少数認められる。特に口縁長いⅢvi′類や口縁短いⅢiv類はＦ３下～Ｆ２層、口縁直立のⅢｖ類はＦ２～Ｆ１層で多い傾向がある。

浅鉢　大きく体部から口縁部まで単純に至るⅠ類と、口頸部で屈曲内傾するⅡ類、口縁部が内弯するⅢ類がある。Ｆ３～Ｆ２層ではⅠ・Ⅱ類が多く、上位層につれⅡ類が多くなる。両者とも磨消縄文などの有文を持つが、前者は全体に沈線手法表現に対し、後者は体部上半に丁寧なＣ字状や大腿骨文系の磨消縄文を伴うものが多い。また、後者は口縁部無文帯で頸部に眼鏡状浮線文を持つものが多い。Ｆ１層ではⅠ・Ⅱ類が減少し、Ⅲ類が出現し、台付浅鉢となるものが多い。

壺　全体に広口壺Ⅱ類が多い。口縁部内面の沈線と体部縄文施文のものの関連が不明瞭な所もあるが、Ｆ３下層ではやや肩張り球形の体部縄文施文、Ｆ３層で体部球形の無文、Ｆ２～Ｆ１層で球形の肩部に文様を持つものが多く認められ、一部口縁部が短く直立し眼鏡状浮線文が付き体部が縦長のものもある。他に小型の蓋がＦ３～Ｆ１層にあり、細口壺Ⅰ類に伴うと考えられる。

注口土器　破片で全体に受口を持つⅡ類で、Ｆ３下層で大型品があるが、Ｆ２～Ｆ１層では小～中型品が多く、最大径と器高が同等のものが多くなる。

小型土器　数は少ないが、Ｆ３下層で壺形や深鉢形が多く、Ｆ２～Ｆ１層では浅鉢形が多い傾向が認められる。

文様

上記器種・器形に対する文様は、主に列点文や平行沈線、直線化する磨消縄文、多条の平行沈線、連結入組文（４類）と、工字文（５類）が認められ、前者が概ね大洞Ｃ２式期、後者が同Ａ式期と捉えられた。

更に４類には、各々器種に主体的な文様が配置され、４ａ～４ｖ類までの文様に細別された。これらは、下位から順に大きく、Ｆ４層に主体のもの（平行沈線４ｃ類の深鉢・鉢、磨消縄文の大腿骨文系４ｉ類の鉢・浅鉢など）、Ｆ３下層に主体のもの（平行沈線に眼鏡状浮線文４ｇ類の鉢・浅鉢、磨消縄文の三日月状文系４ｋ類の浅鉢など）、Ｆ３層に主体のもの（平行沈線［列点文］に縦位スリット区画４ｂ類の深鉢・鉢、磨消縄文のＣ字状文４ｊ類の浅鉢、入組連結文［磨消縄文入り］４ｒ類の浅鉢、平行沈線の無文帯４ｅ類の浅鉢など）、Ｆ２層に主体のもの（磨消縄文のＣ字状文に縦位スリット４ｐ類の浅鉢、平行沈線に縦位沈線区画文４ｑ類の壺、磨消縄文の鉢巻状文系４ｖ類の注口土器、連結入組文の工字状文４ｓ類の浅鉢･注口土器など）、Ｆ１層に主体のもの（工字文５類など）の５段階が認められた。

これら主体文様は、その後上位層の器形などの変化に伴い、継続、改変、融合し、多様な変遷をとる。

そして、特に４類の平行沈線や磨消縄文に、縦位沈線やスリットが文様構成に入る段階（４ｂ・４ｐ・４ｑ・４ｒ類など）は、次段階の大洞Ａ式期（工字文）に類似する改変期と捉えられ、大洞Ｃ２式期の古・新段階の画期と考えられた。これらから、概ねＦ４～Ｆ３下層が大洞Ｃ２式期古段階、Ｆ３層～Ｆ２層が同Ｃ２式期新段階、Ｆ２～Ｆ１層が同Ｃ２～Ａ式期の大別３時期に分けられ、上記の各層の主体的文様もこの層準に対応したほぼ同時期のものと考えられる。他に、破片資料だが特異な形態で、隆帯による方形区画文４ｕ類（村山市宮の前遺跡に類似品）、多条沈線の弧状文４ｈ類（新潟県青田遺跡に類似品）が認められ、これらも出土層位の時期の所産と考えられ、他地域の影響を受けた可能性もある。

そして、浅鉢や鉢、壺などで、頸部の平行沈線間が無文帯（４ｅ１類）や、丁寧なミガキによる体部無文（７類）などもあるが、単体では時期は判断できず、主体的な出土層位に準拠した時期が比定されよう。

なお、全体的に有文の浅鉢や粗製深鉢などで、主に補修孔が多く認められた。炭化物付着は、有文の中型鉢に多く認められる傾向がうかがえた。

粗製土器

粗製土器は、所謂地文や無文のみのもので、口縁部内面にも横位沈線を巡らさないものも含む。器形変化にも乏しい土器で、単体で時期判別が困難なものである。前述有文土器で概ね各層の時期が捉えられ、各層出土の粗製土器も概ねこの層序の時期幅に収まるものであろう。以下に、主体的な深鉢・鉢を主に、特徴などを整理する。

深鉢　Ｆ４～Ｆ３下層では、平縁の寸胴形のⅡ類で、次期以降にも普遍的で、やや口縁が強く内弯する傾向がある。口縁部が屈曲するⅢ類では、口縁部が単純に外反するものの他に、口縁部が短く外反するものがⅢ類中で一定量出土し特徴的である。Ｆ３～Ｆ２層では、下位層に継続して平縁の寸胴形のⅡ類が多く、口縁部が屈曲す

るⅢ類では、口縁部が長く口唇刻目文のものが多い。Ｆ２～Ｆ１層は、平縁の寸胴形のⅡ類が深鉢類中で一定量あり、口縁部はあまり内弯しないものが多い。Ⅲ類は、口縁部が単純に外反のもの以外に、ほぼ直立する形態がⅢ類の中で一定量認められる。

なお、深鉢では、理化学分析で明らかになった内面に漆付着のものが多く、漆容器などの可能性もうかがえた。

鉢　鉢は、Ｆ３層を主にⅢⅱ・ⅴ類のもので、頸部文様は欠落するが、器形は有文のものと類似する。口縁部無文で直立する形態が下・上層で確認される。

壺　壺は、口縁部形態は不明ながら体部縄文地文のみのもので、Ｆ３～Ｆ２層で肩が張る形態、口縁部が短いもの、体部縦長のものなどが増える。

他に、注口土器でもＦ２層などに地文のみの粗製があるが、数量が少なく傾向などは判然としない。

地文

有文の土器群も加え、地文全体の変化も概観する。

Ｆ４～Ｆ３下層では、有文も含めた全体では、斜縄文が約６割を占め、ＬＲが３～５割だが、鉢・壺などでは斜縄文による羽状縄文が約１～３割あり、他にＲＬ、撚糸文、直前段多条が散見できる。無文は約１～２割で、粗製深鉢や有文の鉢や浅鉢に認められる。

Ｆ３～Ｆ２層では、斜縄文が５割で、原体の太さが異なる細密なものも散見される。鉢・壺などでは羽状縄文が１割あり、ＲＬ、直前段多条が散見され、多様な原体がある。無文は、有文の浅鉢が増加し、壺にも認められ、約２割である。粗製では、ＬＲの他に、ＲＬ、羽状縄文も２割見られる。破片で網目状撚糸文も確認できる。

Ｆ１層では、有文を含む全体で、斜縄文が６割になり、原体の太さが異なる細密なものも散見される。ＬＲの他に、羽状縄文は１割以下にやや減少し、結節ＬＲや直前段多条、ヘラ描文が散見される。無文は、浅鉢・壺で２割認められる。粗製深鉢では、ヘラ描文や絡条体条痕文も少量見られる。

Ａ－３　今調査と第１次調査Ｂ地区（第27図）　上記までのＳＧ１谷跡の各層で得られた層準や時期毎の変遷を基に、大洞式Ｃ２～Ａ式期の主体的な土器群について、変遷と特徴を記す。また、隣接し同一遺構と考えられる第１次調査Ｂ地区との層準対比や出土量などを検討する。

第１次調査Ｂ地区では、多量の遺物が出土した「土器捨て場」が確認された。大別すると順に１～４（層）で取り上げ、大洞Ｃ２式前半が主体とされる。

遺物は、「Ⅳ－Ｄ群土器」とされ、明確な定義は示されていないが、器種では「各器種内における器形的変化や文様施文のあり方」から、深鉢６種（類型：タイプ）、鉢（台付含む）６種、浅鉢（台付含む）６種、皿４種、壺９種、注口土器３種を認められた。また、器種類型には「結果としてその大半を占めるような一般的（集団に嗜好されたとも云うべき）・量的まとまりを持ったもの」があるとし、類型組成も試みた。（山形県教委 1984）

第１次調査Ｂ地区（Ⅳ－Ｄ群土器）と今第３次調査を器種別に主体的な土器を比較・検証してみたい。

深鉢　１次調査の深鉢ａ類（３次調査の粗製深鉢ⅡＡ２類に対応。以下調査を省略する）と、１次深鉢ｂ（３次深鉢ＧⅢⅱ４ｄ類・粗製深鉢ＨⅢⅱ４ｅ１類など）が主であったとする。今調査でも前者は一定量各層で認められる。後者も全体的に各層で認められるが、口唇・口縁形態から細分される可能性がある。逆に１次調査で少ない１次深鉢ｄ類（３次深鉢ＡⅡ４ｃ類）や１次深鉢ｆ類（同粗製深鉢ＡⅡ１類）がＦ１層などに多い。

鉢　１次鉢ａ類（３次鉢ＥⅢｉ４ａ・ｂ類）・ｂ（同Ⅲ鉢ＥⅢⅱ４ｃ類など）を主とする。今調査でも各層で主体的であったが、特にＦ３より上位層では鉢ＥⅢｉ４ｂ類が多い。また１次調査では、上記の次に鉢ｄ類（３次鉢ＥⅢⅳ４ｃ類など）、鉢ｃ類（３次鉢ＢⅢⅲ４ａ類）の順に出土量があった。今調査でも両者とも鉢全体の中で一定量確認できたが、特に前者はＦ３層で多い。

他に１次調査では、体部上半に磨消縄文を有する台付鉢ａ・ｂ類（３次鉢ＧⅢⅲ４ｉ・ｐ類。台付かは不明）が一定量確認され、他にも前代の大洞Ｃ１式期の系譜を引くであろう磨消縄文の鉢類が多い。一方、今調査では、最下層のＦ４層に主に少量出土した程度に留まる。

浅鉢・皿　浅鉢ａ類（３次浅鉢ＤⅡⅲ４ｉ類）・ｃ（同ＧⅠⅵ類か）・ｄ（同ＡⅡⅲ４ｇ＋４ｉ類か）・ｆ（同ＣⅠｉ４ｄ＋７類）が主としてまとまりを持つとされる。今調査でもＦ３～Ｆ２層を主に、同器形が一定量認められるが、全体に１次調査の「大洞Ｃ１式からの系譜を引く雲形文」とはやや異なる粗雑で簡略化した磨消縄文などが多い。なお第３次調査では浅鉢に含めたが、１次調

査の皿は、皿ａ類（３次浅鉢ＢＩｖ４ｍ類）・同ｂ（同ＨＩｉ４ｋ類か）が主で、大型のｃ（同Ｉ４ｋ類）、半精製のｄ（同ＣⅡｖ４ｋ類か）の順である。今調査でＦ３層に、鉢同様に器形は類似するが、「雲形文」の磨消縄文は少なく、１次調査ｄ類に近い「縄文地を磨り消すだけ」の粗雑なもの（４ｋ類）が一定量確認される。

壺　１次調査で精製の壺ａ類（壺Ｉ４ｑ・ｌ類）・半精製の壺ｈ類（壺ＡＩ７類・粗製壺ＡＩ２類）が主で、今調査でも同じ様相である。後者では、口縁部の内面に沈線の有無があり、形態的に長胴形も散見される。

注口土器　１次調査でａ類（注口土器ＧⅡ４ｖ類）が主体だが、今調査では４ｒ・４ｓ類が上層で多い。

さて、上記の様相からは、第１次調査は、大洞Ｃ２式期の範疇ながら、前段階の大洞Ｃ１式期の系譜を引く文様が多く、今調査のものより全体に古い様相と捉えられる。層位的にも今調査のＦ３層に主に対応するようである。また、１次調査Ｂ地区では、今調査のＦ１～Ｆ２層の次期の大洞Ａ式期（工字文）の土器群も認められない。

その結果、全体には、土器形態の類似や層準から１次調査の１～２・３・４（層）が概ね今調査のＦ４～Ｆ３下・Ｆ３・Ｆ２に各々対応するものと考えられる。また、今調査の最も新相段階であるＦ２の一部やＦ１層に対応する層が欠落するか、削平などにより消失した可能性がうかがえた。なお、第１次調査では近接のＣ地区から大洞Ａ～Ａ′式期の土器群が出土し、関連もうかがえる。

これらからは、昨年度の第２次調査も含めれば、縄文時代晩期中葉から弥生時代初頭にあたり、大きく古い順に第１次調査区Ｂ地区（大洞Ｃ２式期古段階）→一部平行して第３次調査区ＳＧ１谷跡（同Ｃ２式期古～新段階～同Ａ式期）→第１次調査Ｃ地区（同Ａ～Ａ′式期）→第２次調査区ＳＴ40（同Ａ′式期～青木畑式期）の変遷が推測される。

Ｂ　石器・土製品・石製品

土器以外の出土品で石器・土製品・石製品の特徴的なものを概述する。石器の大半は、ＳＧ１谷跡から出土した。各層毎の特徴は希薄で、一部器種の少なさもあり、組成は判然としない。但し、大まかな傾向は捉えられ、剥片石器で加工痕のある石器を除くと、定形的な石鏃や石槍、石篦が多く、全体の約75％を占める。

礫石器は、磨製石斧や、凹石、磨石などあるが、全体に凹石や磨石は他遺跡と比べ、非常に少ない。

県内で数少ない蜂の巣石は、北岸のＳＫ２貯蔵穴から２点出土し、大型の川原石の隆起部裾を多用した凹痕のあり方から、集落内での継続的使用がうかがえた。

他に土偶や石棒・石刀、土冠、線刻礫など祭祀品、玉類など垂飾品の大半がＳＧ１谷跡から出土し、概ね各層に準じた時期が推測された。特に第１次調査でも出土した石棒・石刀類は、Ｆ３層などで、斜めに出土するものが多く、廃棄時の様相がうかがえる。玉類では、県内でも希少な新潟県糸魚川産と考えられる翡翠製の玉が出土し、剥片もあり、集落内での加工も推測され、他地域との交流を示す資料となった。土冠は、一般的に石製が多く、第２次調査でも弥生時代初頭の石製が出土した。今調査では土製で突起部が棒状のものであった。全体にＦ２～３層出土で大洞Ｃ２新相～Ａ式期と考えられ、第２次調査例に先行する、県内では数少ない資料である。

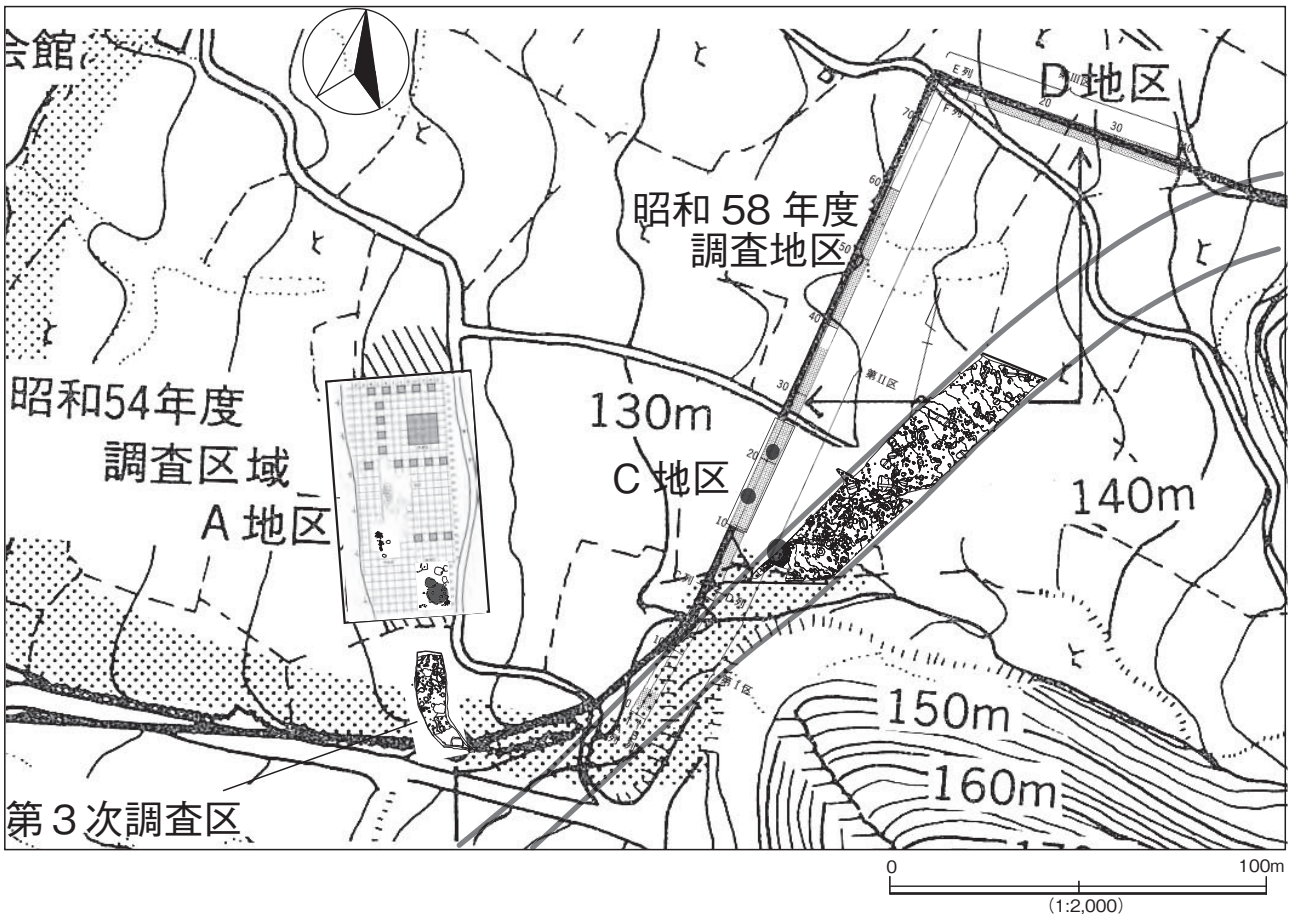
Ｃ　作野遺跡の変遷

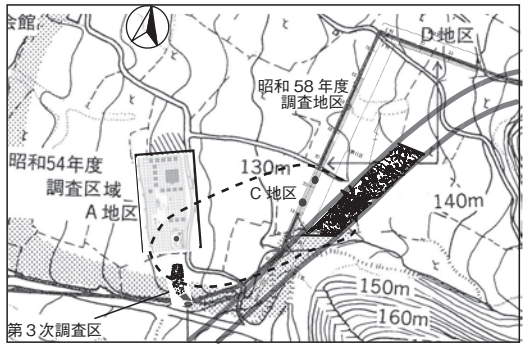
最後に、上記土器変遷や従来の調査成果を踏まえ、本遺跡の変遷をまとめる。今調査では、ＳＧ１谷跡から多量の土器群（縄文晩期中～後葉：大洞Ｃ２～Ａ式期）が各層から段階的に出土した。しかし、前述谷の北側の岸辺（平場）の主な土坑や柱穴跡からは、ＳＧ１谷跡の主体時期の出土品とはやや時期の異なる土器群（後期後葉：瘤付土器Ⅲ～Ⅳ段階、晩期後葉：大洞Ａ式期）で、やや様相が異なる。これは、第１次調査Ｂ地区の報告でも、出土土器の時期幅が晩期中葉後半（大洞Ｃ２式期）に限定され、周辺の1974年村山市調査区や第１次調査Ｃ地区の住居群の主体時期とも時期を一部異にする。

本項では、ＳＧ１谷跡に多量の土器群を廃棄した集団や、その移動などを検討するため、昨年度の第２次調査成果も踏まえ、従来の調査区を合成（第28図）し、出土遺構や遺物の時期を整理し、時期変遷図を作成した。

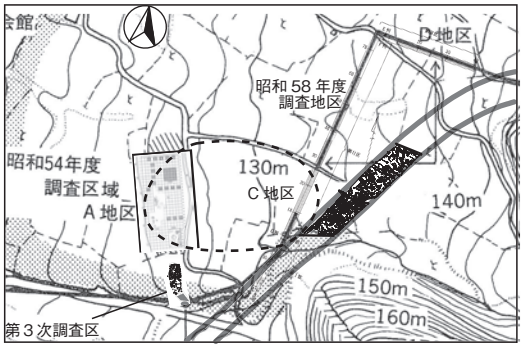
結果、大別４時期に変遷が分けられた。古い順に記す。

Ｉ期：縄文時代後期末葉～晩期初頭（瘤付土器Ⅲ・Ⅳ段階～大洞Ｂ式期）で、作野遺跡で最も古い段階である。遺跡範囲の中央部より東側の山際の標高の高い昭和54年度調査北区・南東区、第１次調査Ｃ区南、第２次調査区南半、今調査区北半が主な地域で、主体的な範囲は全体に東西に広がりを持つのであろう。竪穴住居跡（昭和54年度南東区１棟・第１次Ｃ区２棟）、貯蔵穴群（第２

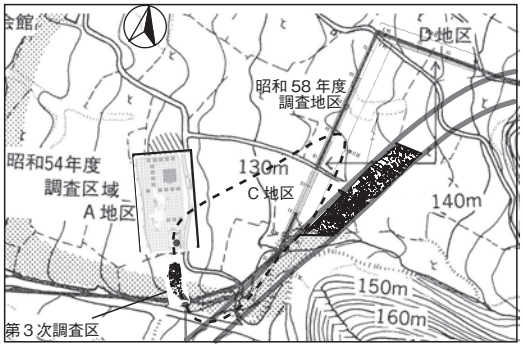




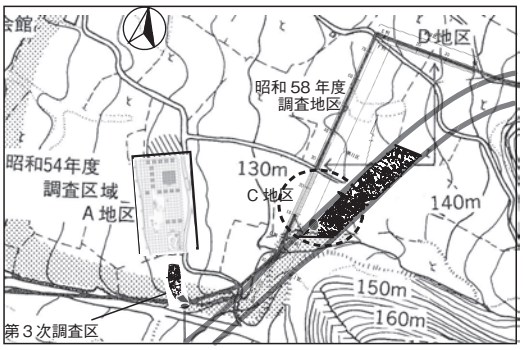
後期末～晩期初頭（大洞 B 式期）



晩期前葉～中葉前半（大洞 BC ～ C1 式期）



晩期中葉後半～後葉前半（大洞 C2 ～ A 式期）



晩期後葉後半～弥生初頭（大洞 A ′ ～青木畑式期）

※ ● は竪穴住居を表す。 ⋯ は集落時期の集中地区を表す。　0　100m (1:5,000)

第２８図　遺跡変遷図

次南半)、土坑（今調査北半）などを主に確認された。

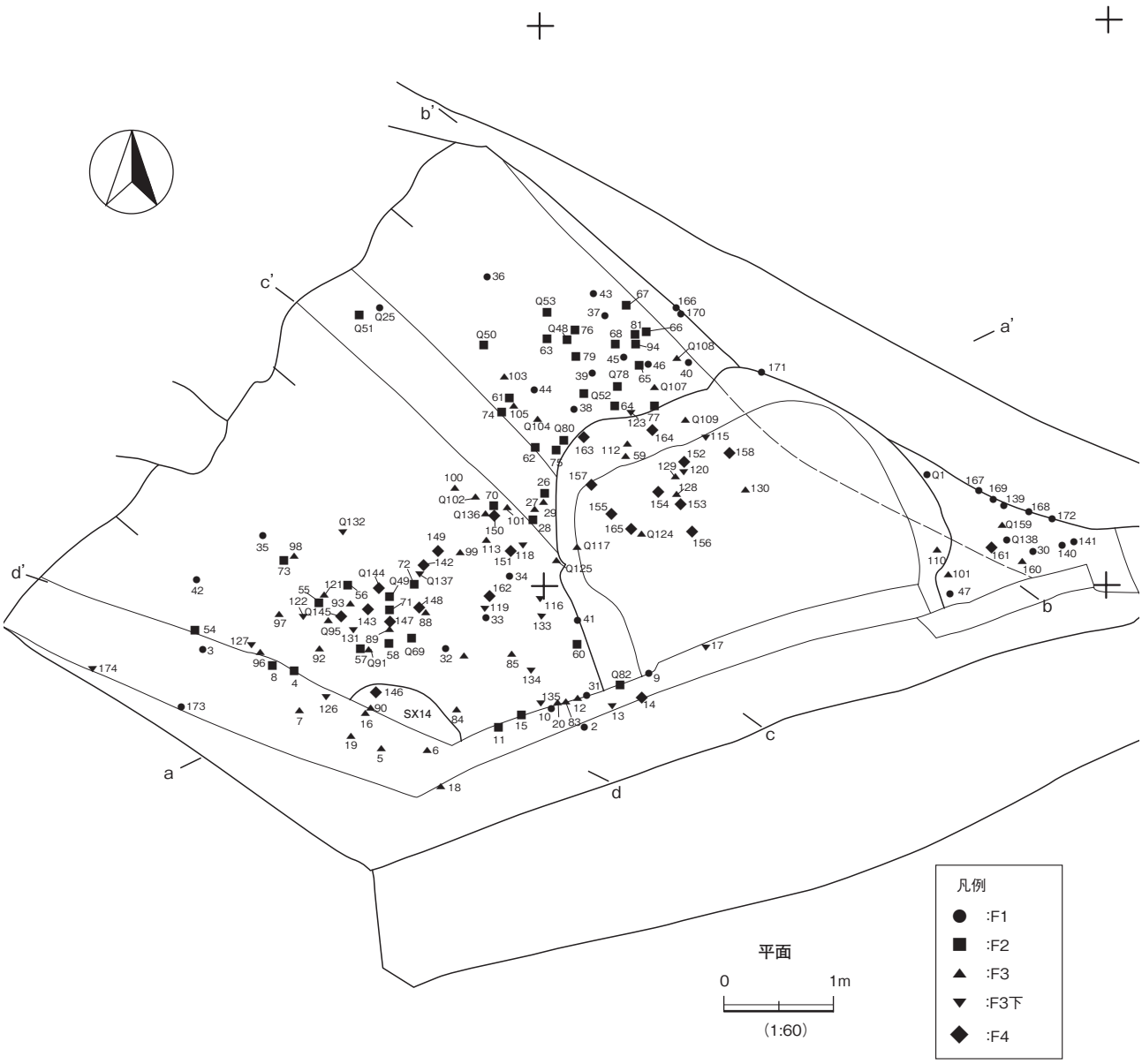
Ⅱ期：同晩期前葉後半～同中葉前半（大洞ＢＣ～Ｃ１式期）の段階である。活動域が標高の低い西の平場にやや移動する段階である。昭和54年度調査北区・中央区・南東区、第１次Ｃ区が主体地域である。集石・組石遺構(北区)、土坑（中央区)、落し穴（南東区）などが確認される程度である。遺物量などはやや低調で、落し穴などの存在などから狩猟場の性格に起因するかもしれない。

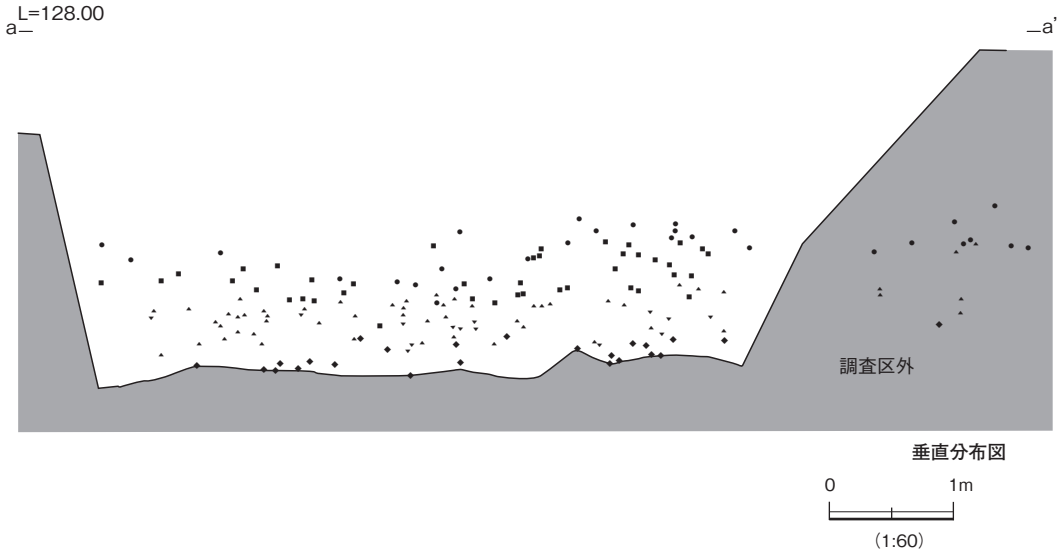
Ⅲ期：同晩期中葉後半～同後葉前半（大洞Ｃ２～Ａ式期）の段階である。明確な活動域は、昭和54年度調査北区・南東区、第１次調査Ｂ区（大洞Ｃ２式期）・Ｃ区Ｃ～Ｄ－30～33Ｇ（大洞Ａ式期)、今調査区の谷跡などに限られ､集落主体もやや南側への移動も考えられる。竪穴住居跡（南東区１棟)、土坑（北区)、溝跡（今調査北半)、谷跡（第１次Ｂ区・今調査南半）などで、谷の多量の遺物に対して遺構は判然としない。

Ⅳ期：同晩期後葉後半～弥生時代初頭（大洞Ａ′～青木畑式期）の段階である。再び標高の高い遺跡東側に主体地域が移り、規模が限られる。第１次調査Ｃ区・第２次調査区南端などが主体地域となる。県内では数少ない竪穴住居跡（第２次南端）があるが、第１次調査Ｃ区では一部土器群のみで明確な遺構は不明である。

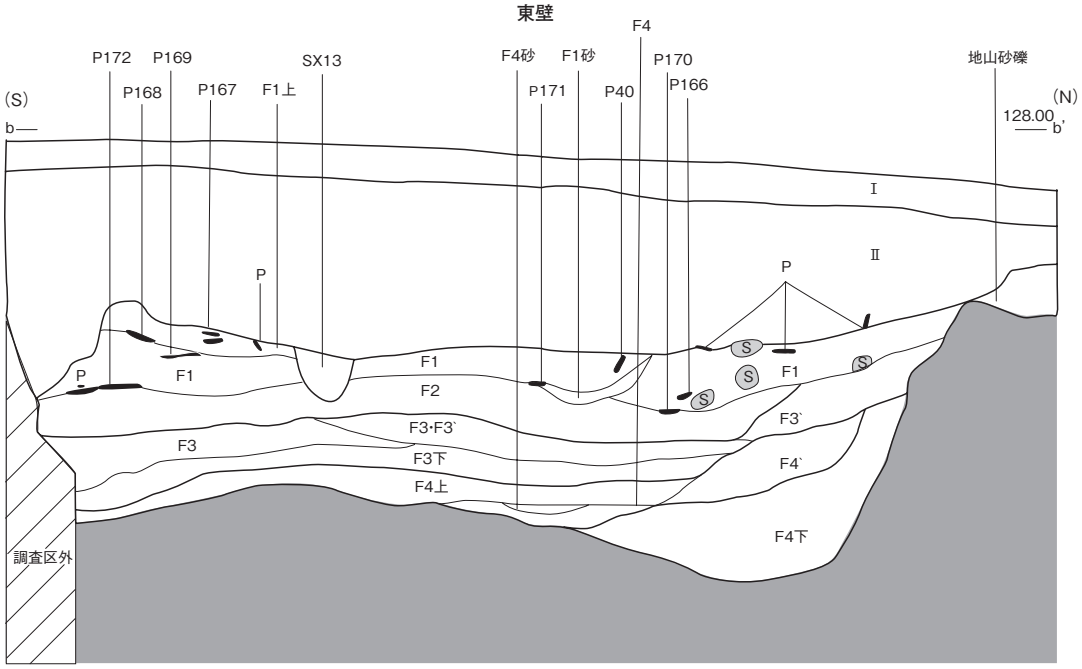
参考文献

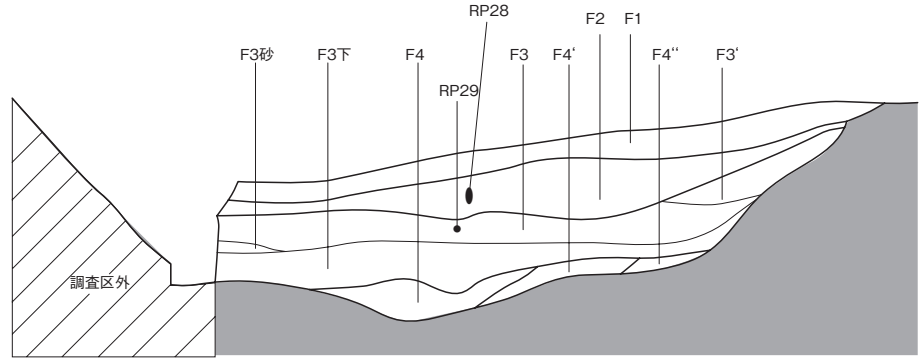
阿子島功　1990 『土地分類基本調査　楯岡』山形県
安孫子昭二・加藤稔　1982 「縄文時代後・晩期」『村山市史　別巻－原子・古代編』村山市教育委員会
安孫子昭二・加藤稔　1981 「村山市史編集資料第９号」『作野遺跡遺物集成』村山市史編さん委員会
安孫子昭二　1989 「瘤付土器様式」『縄文土器大観 ４』小学館
阿部明彦　1988 「蟹沢遺跡」『東根市史別巻上　考古・民族編』東根市教育委員会
石川日出志　2003 「関東・東北地方の土器」『考古資料大観１　弥生・古墳時代　土器Ⅰ』小学館
植松暁彦　2007 「村山市宮の前遺跡第３次調査の遺物組成について」『北村山の歴史』第９号　北村山地域史研究会
小林圭一　2001 「最上川流域における縄文時代後・晩期の遺跡分布」『山形考古』第７号第１巻
小林信行　1996 「縄文式直後」『日本土器事典』雄山閣
佐藤庄一　1978 「山形県における縄文時代終末期の土器様相」『山形考古』第２巻第３号
佐藤嘉広　2004 「山形の縄文から弥生へ」『さあべい』第21号　さあべい同人会
鈴木克彦　2001 『北日本の縄文後期土器編年の研究』雄山閣
鈴木正博　1987 「続　大洞Ａ２式考」『古代』第84号　早稲田大学考古学会
須藤隆　1973 「土器組成論」『考古学研究』第19巻第４号
須藤隆　1998 『東日本先史時代文化変化・社会変動の研究』算修社
藤沼邦彦・関根達人　2008 「亀ケ岡式土器（亀ケ岡式土器群)」『総覧　縄文土器』(株）アム・プロポーション
高橋龍三郎　1988 「亀ヶ岡式系土器の文様について」『第３回縄文文化検討会シンポジウム亀ヶ岡式土器の編年について』
高柳圭一　1998 「仙台湾周辺の縄文時代後期後葉から晩期初頭にかけての編年動向」『古代』第85号
中沢道彦ほか　1998 「レプリカ法による縄文時代晩期土器の籾状圧痕の観察」『縄文時代』９
中村五郎　1988 『弥生文化の曙光　縄文・弥生両文化の接点』未来社
林謙作　1981 「縄文晩期という時代」『縄文土器大成４晩期』講談社
藤沼邦彦　1981 「東北地方」『縄文土器大成４晩期』講談社
藤村東男　1983 「縄文土器組成論」『縄文文化の研究５』雄山閣
山野井徹　2010 『山形県地学ガイド　山形県の地質とそのおいたち』コロナ社
山内清男　1930 「所謂亀ヶ岡式土器の分布と縄紋式土器の終末」『考古学』第１巻第３号　東京考古学会
山内清男　1937 「縄文土器型式の細別と大別」『先史考古学１巻１号』
山内清男　1939 『日本遠古之文化－補註付・新版－』先史考古学会
山内清男　1964 「縄紋式土器　総論」『日本原始美術１』講談社
山内清男　1979 『日本先史土器の縄紋』先史考古学会
吉田茂　1968 『村山市の土器　村山市文化財業書第１編』村山市教育委員会
渡邊朋和・荒川隆史　1999 「縄文時代後期・晩期」『新潟県の考古学』高志書院
会津若松市教育委員会　1977 『墓料』会津若松市教育委員会
岩手県北上市教育委員会　1977 『九年橋遺跡第３次調査報告書』文化財調査報告書第18集
宮城県一迫町教育委員会　1985 『山王囲遺跡調査図録』
宮城県教育委員会　1982 『青木畑遺跡』宮城県文化財調査報告書第85集
宮城県教育委員会　1987 『田柄貝塚Ⅰ』宮城県文化財調査報告書第111集
新潟県朝日村教育委員会　2002 『奥三面ダム関連遺跡発掘調査報告書ⅪⅤ　元屋敷遺跡Ⅱ』 朝日村文化財報告書第22集
新潟県教育委員会　2004 『日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書Ⅴ　青田遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第133集
福島県三島町教育委員会　1990 『荒屋敷遺跡 II』三島町文化財報告書第10集　埋蔵文化財調査報告書Ⅴ
福島県立博物館　1988 『三貫地貝塚』福島県立博物館調査報告書第17集
山形県教育委員会　1984 『作野遺跡発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財調査報告書第83集
㈶山形県埋蔵文化財センター　1995 『宮の前遺跡第２次発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第19集
㈶山形県埋蔵文化財センター　1997 『北柳１・２遺跡発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第48集
㈶山形県埋蔵文化財センター　1999 『宮の前遺跡第３次発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第65集
㈶山形県埋蔵文化財センター　2009 『下叶水遺跡発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第177集

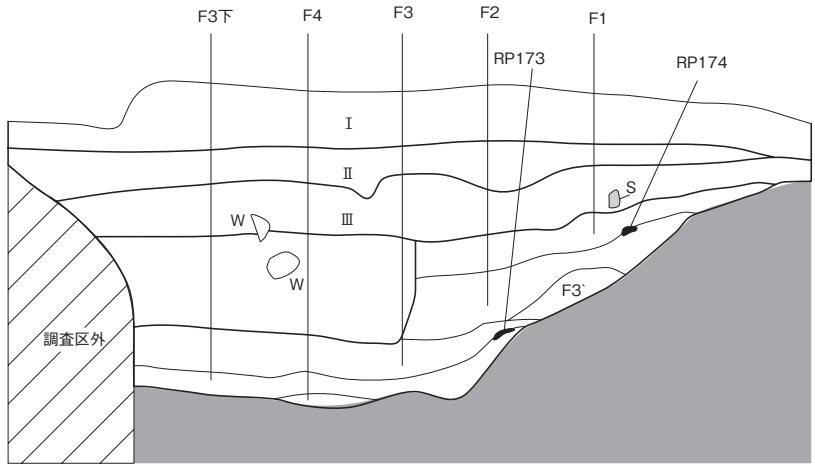




第 29 図　SG 1 遺物平面・垂直分布図





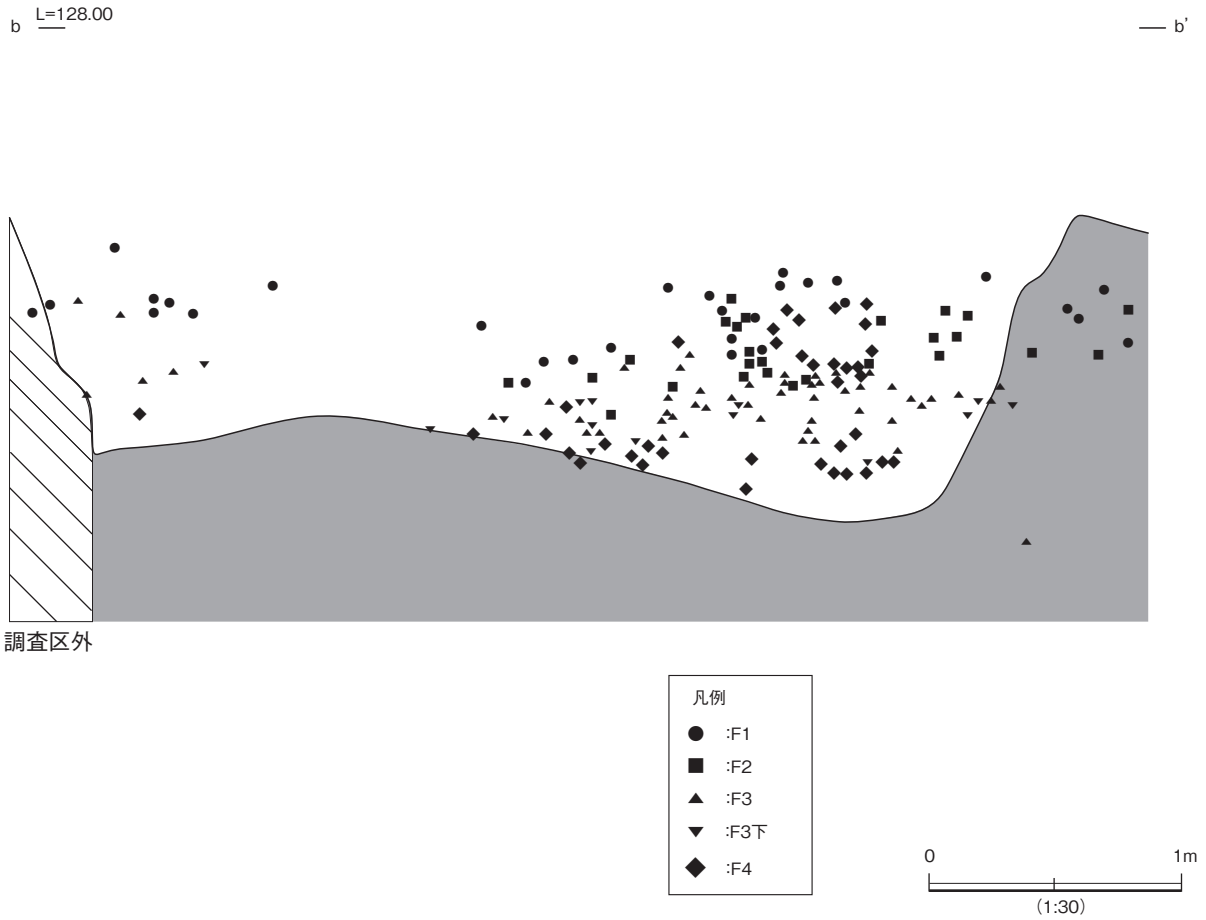


0 1m
(1:40)

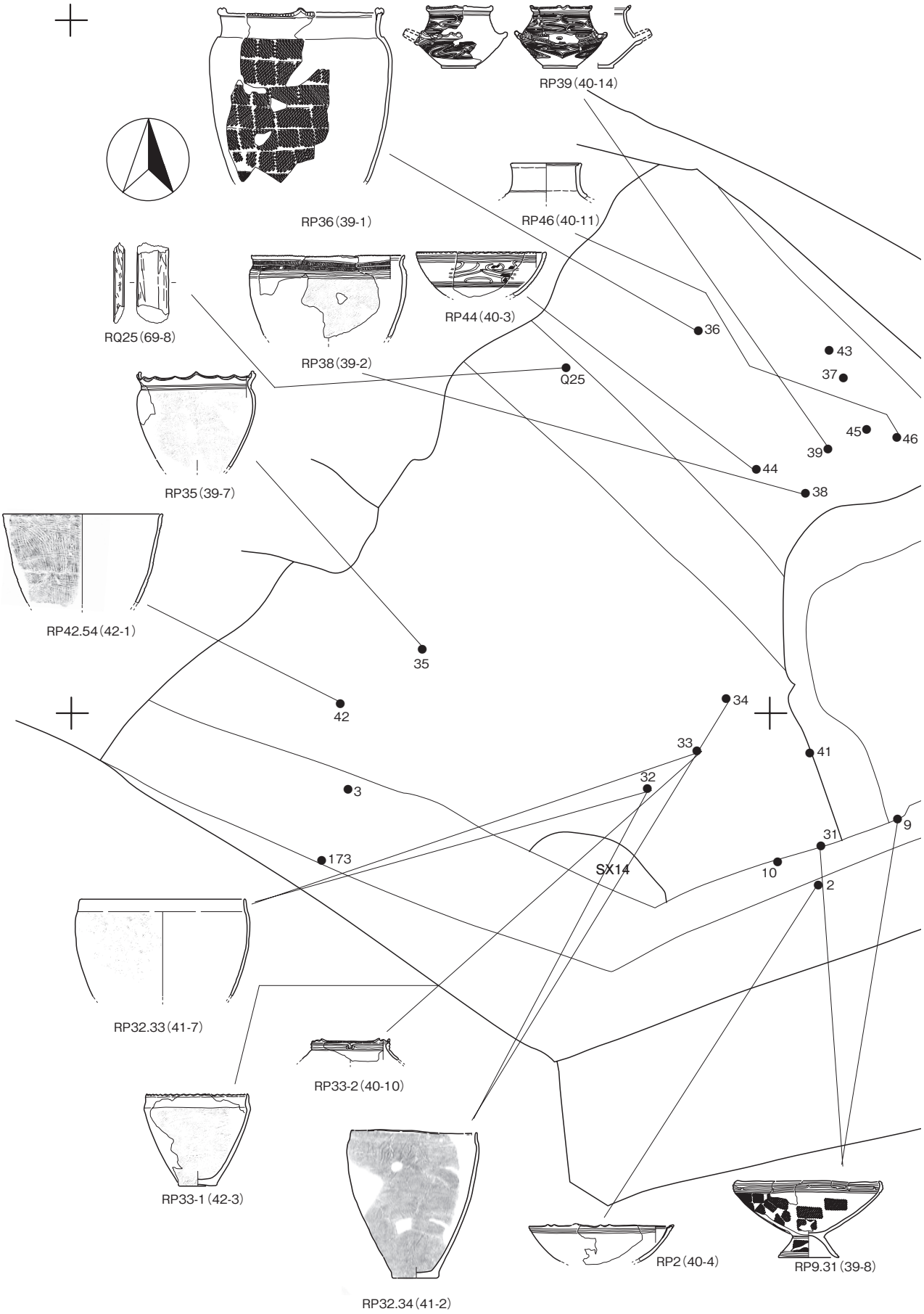
第 30 図　SG 1 土層断面

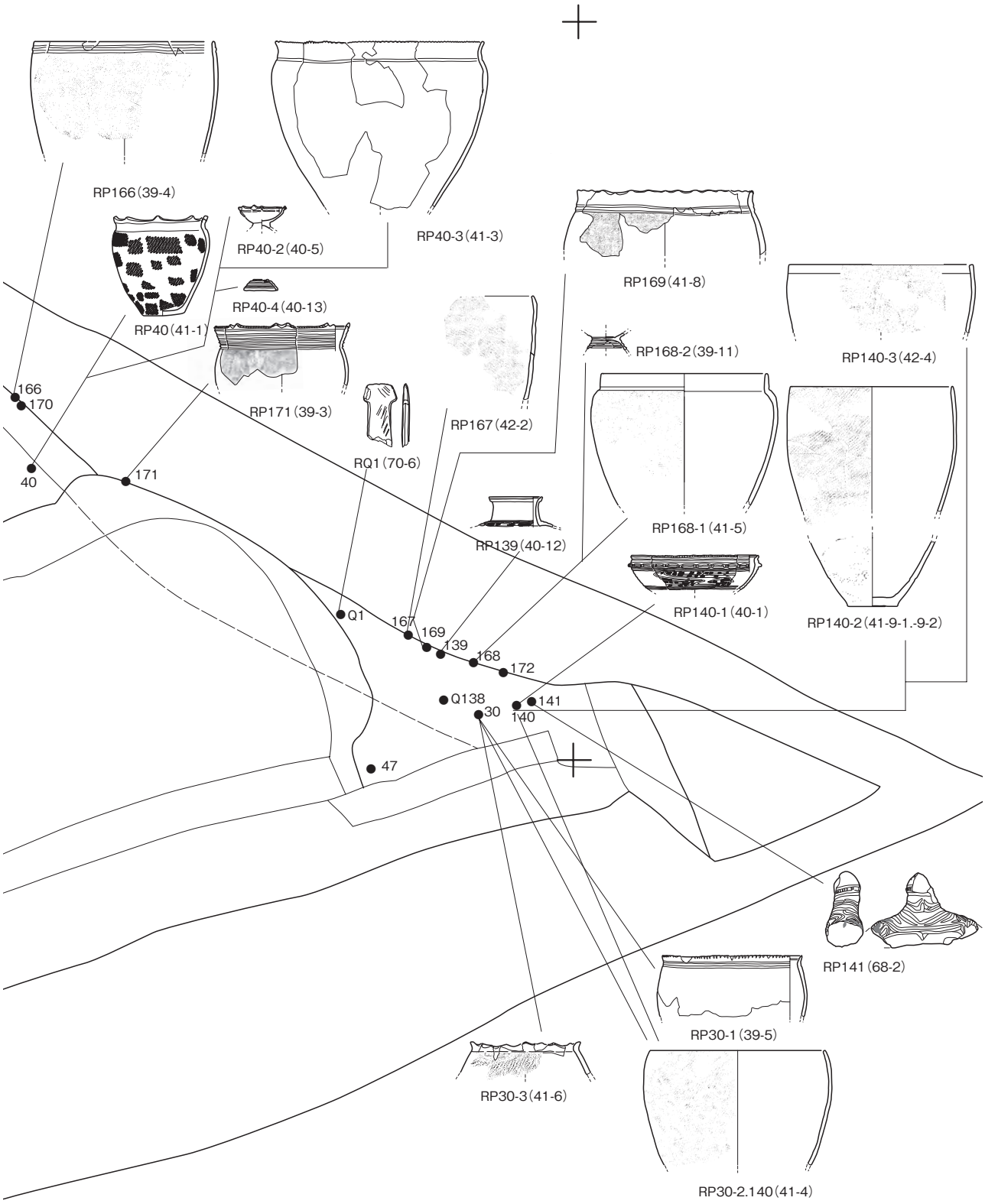
SG1

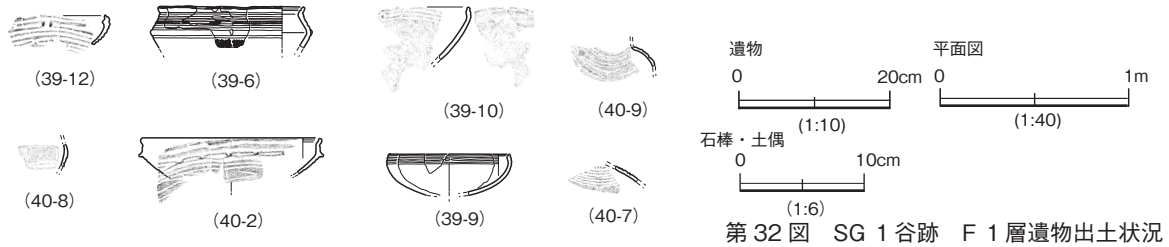
F1	10YR3/1 黒褐色砂質シルト	土器を上面に多く含み、地山粒含む　しまる
F1'	10YR3/2 黒褐色砂質シルト	土器を含み、地山砂塊、礫を含む　1より明る地山粒を多く含む しまる　斜面崩落土か　F2と類似　F1~2に相当
F2	10YR2/2 黒褐色砂質シルト	1より地山粒多く含み、礫を含む　上面に地山砂塊を含む
F3'	10YR2/2 黒褐色砂質シルト	F3とF2と類似　F 2~ F 3層準　土質はF3に類似　地山塊を含む 壁崩落土か 2より地山粒少ないF3的
F3	10YR2/1 黒色砂質シルト	炭化粒、地山粒を若干含み、粘質　単一的　土器を多く含む　ややしまる
F3下	10YR1/1 黒色粘質シルト	炭化粒を多く含み粘質　単一的　上面に土器を多く含む　やわらかい
F4	10YR4/1 褐灰色砂質シルト	砂質だがやや粘土（F4）と類似　礫を多く含み、地山粒を多く含む　遺物を 含む　しまる
F4砂	5YR6/4 にぶい橙色シルト	地山砂塊　焼土か
F4	10YR5/1 褐灰色粘質シルト	砂質を含み、地山粒を若干含む　グライ化する　遺物を若干含む　やわらかい 上面に焼土砂塊を含む　しまる
F4'	10YR4/2 灰黄褐色微砂	地山塊礫を多く含み　土器片を若干含む　壁崩落土　しまる
F4下	10YR4/2 灰黄褐色微妙	F4'と類似　グライ化　地山粒、塊を多く含む　地山様　崩落土か　やわらかい 無機物層



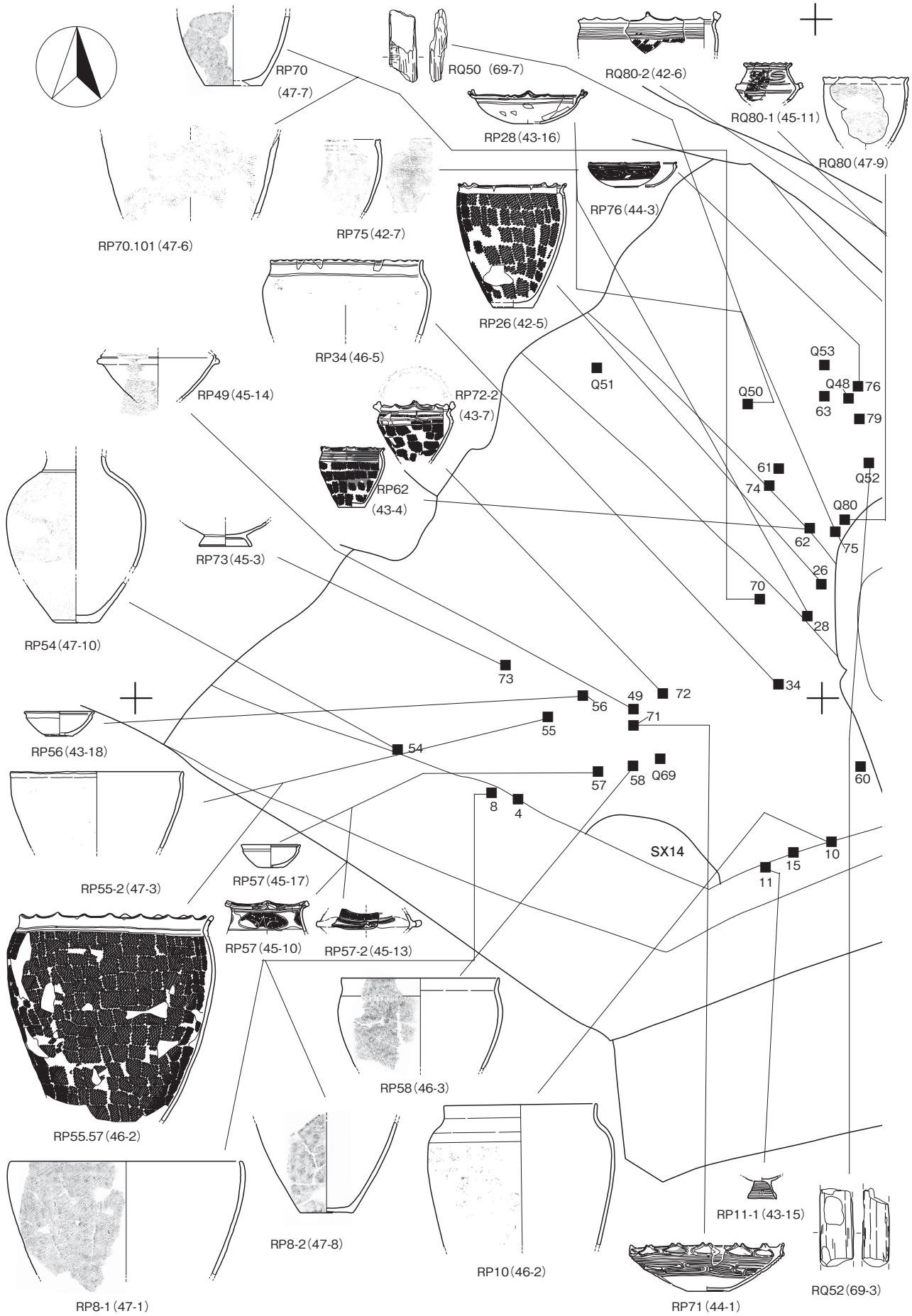
第31図　遺物垂直分布図（RP）

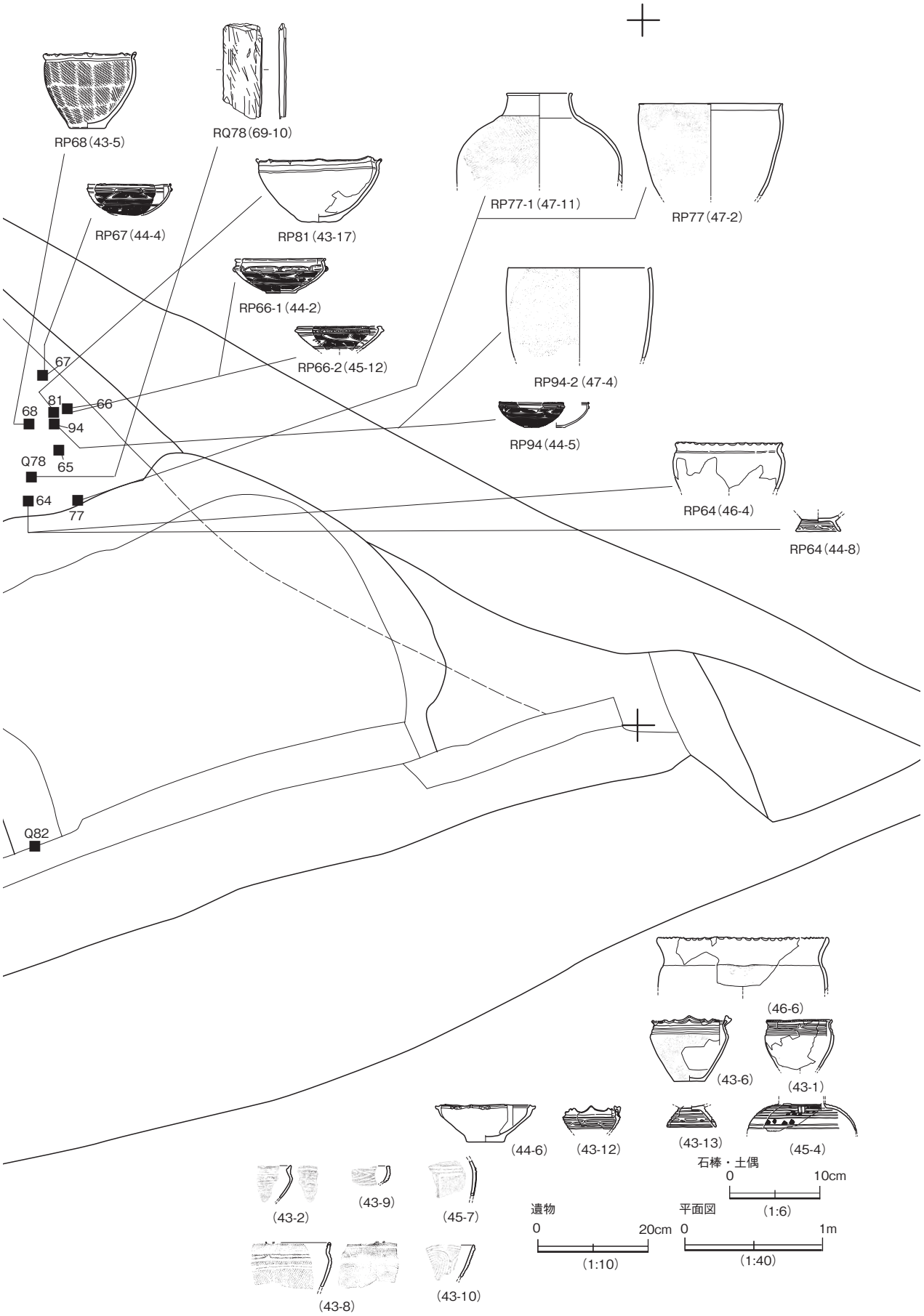

RP39(40-14)
RP36(39-1)
RP46(40-11)
RQ25(69-8)
RP38(39-2)
RP44(40-3)
36
43
37
Q25
45
46
39
44
38
RP35(39-7)
RP42.54(42-1)
35
42
34
33
41
32
3
9
31
173
SX14
10
2
RP32.33(41-7)
RP33-2(40-10)
RP33-1(42-3)
RP2(40-4)
RP9.31(39-8)
RP32.34(41-2)



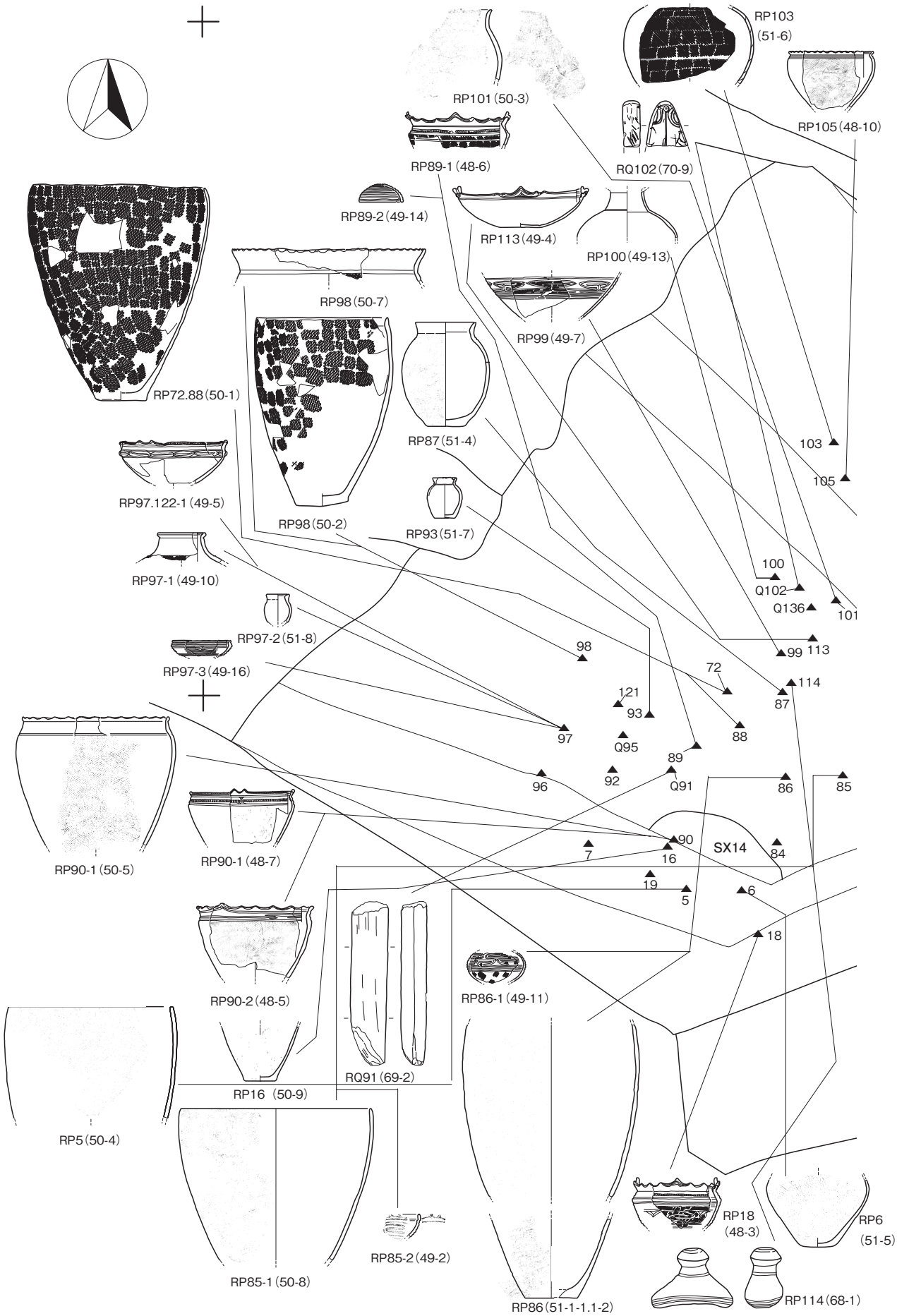


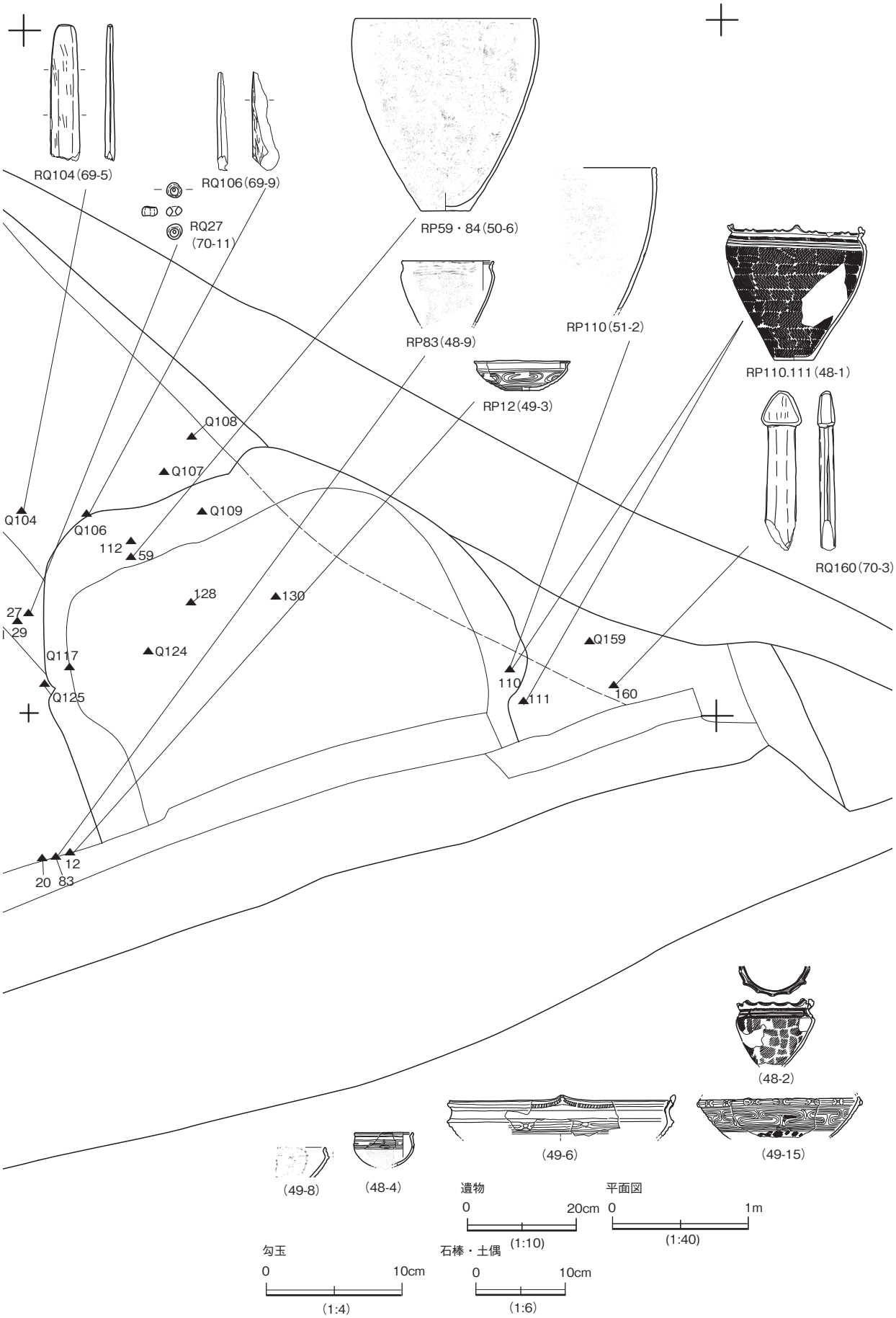
第 32 図　SG 1 谷跡　F 1 層遺物出土状況


RP70
(47-7)
RQ50 (69-7)
RQ80-2(42-6)
RQ80-1(45-11)
RQ80(47-9)
RP28(43-16)
RP76(44-3)
RP70.101(47-6)
RP75(42-7)
RP26(42-5)
RP34(46-5)
RP49(45-14)
RP72-2
(43-7)
Q51
Q50
Q53
Q48
76
63
79
61
74
Q52
Q80
62
75
26
70
28
RP62
(43-4)
RP73(45-3)
RP54(47-10)
73
34
72
49
56
71
55
RP56(43-18)
54
57
58
Q69
60
8
4
SX14
10
15
11
RP55-2(47-3)
RP57(45-17)
RP57(45-10)
RP57-2(45-13)
RP58(46-3)
RP55.57(46-2)
RP11-1(43-15)
RP8-2(47-8)
RP10(46-2)
RP8-1(47-1)
RP71(44-1)
RQ52(69-3)

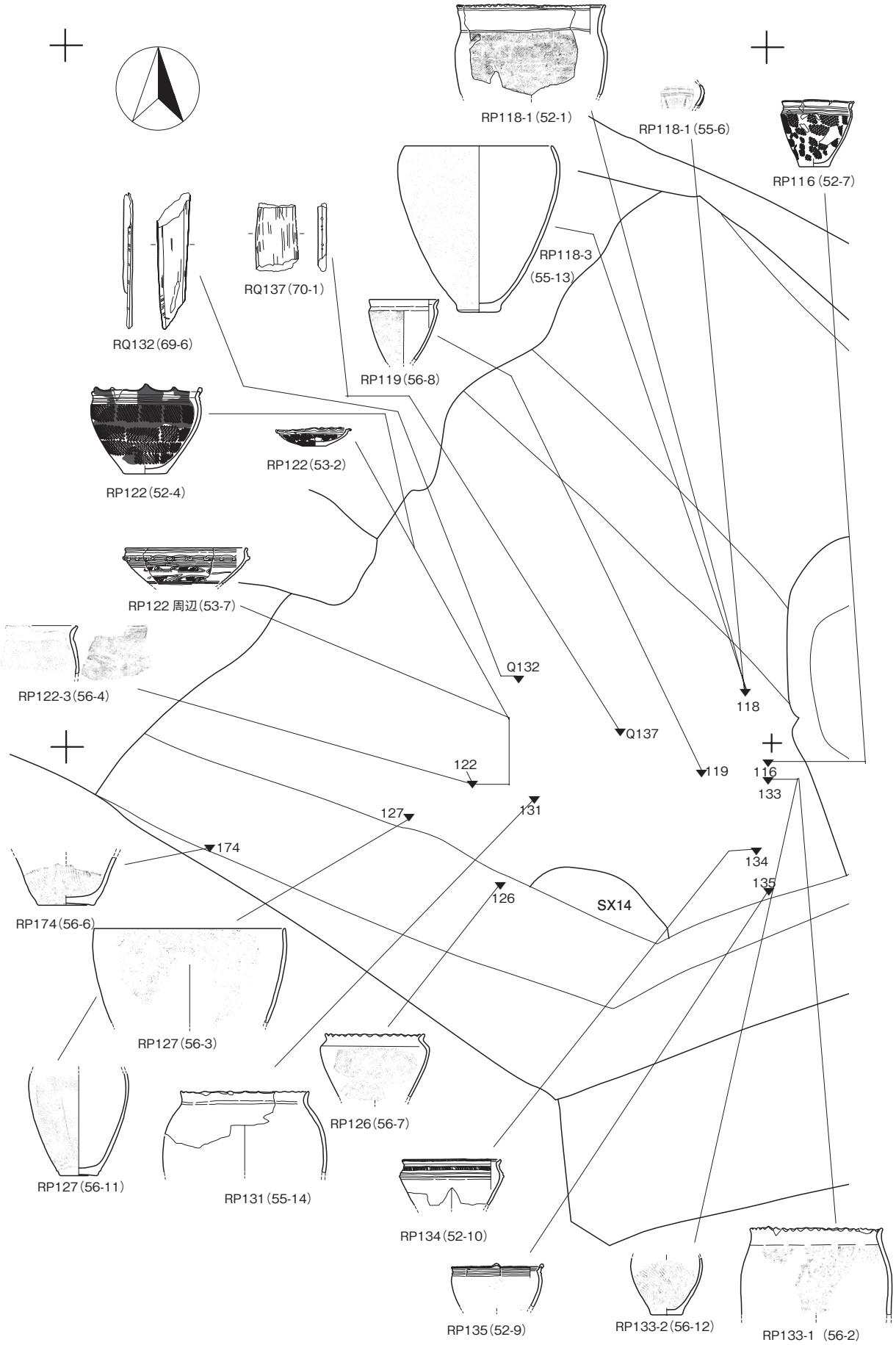


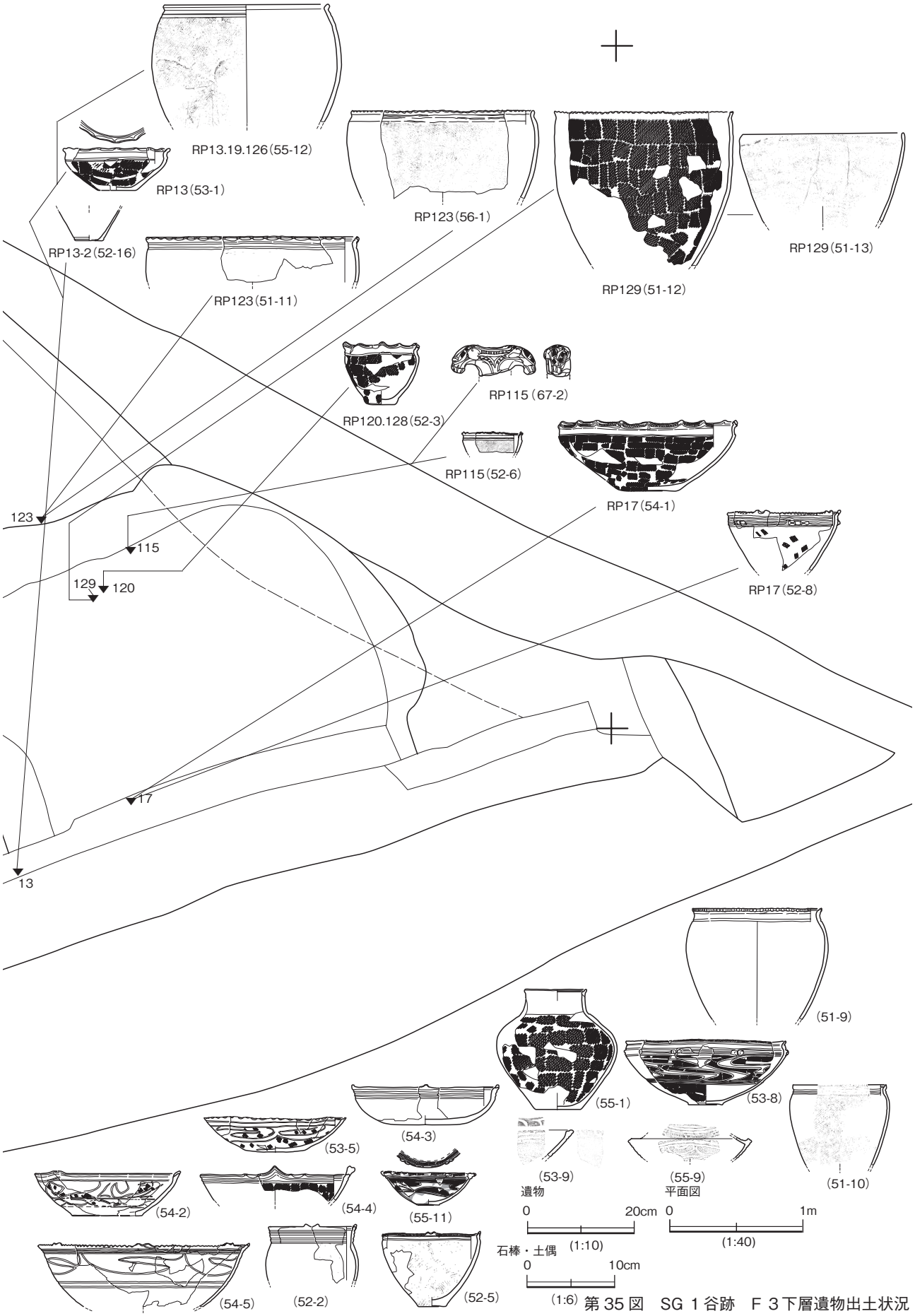
第 33 図　SG 1 谷跡　F 2 層遺物出土状況


RP103
(51-6)
RP101(50-3)
RP105(48-10)
RP89-1(48-6)
RQ102(70-9)
RP89-2(49-14)
RP113(49-4)
RP100(49-13)
RP98(50-7)
RP99(49-7)
RP72.88(50-1)
RP87(51-4)
RP98(50-2)
RP97.122-1(49-5)
RP93(51-7)
RP97-1(49-10)
RP97-2(51-8)
RP97-3(49-16)
RP90-1(50-5)
RP90-1(48-7)
RP90-2(48-5)
RP16 (50-9)
RP5(50-4)
RQ91(69-2)
RP86-1(49-11)
RP85-1(50-8)
RP85-2(49-2)
RP86(51-1-1.1-2)
RP18
(48-3)
RP6
(51-5)
RP114(68-1)
SX14
103
105
100
Q102
Q136
101
99
113
114
87
98
72
121
93
97
Q95
88
89
96
92
Q91
86
85
90
7
16
84
19
5
6
18

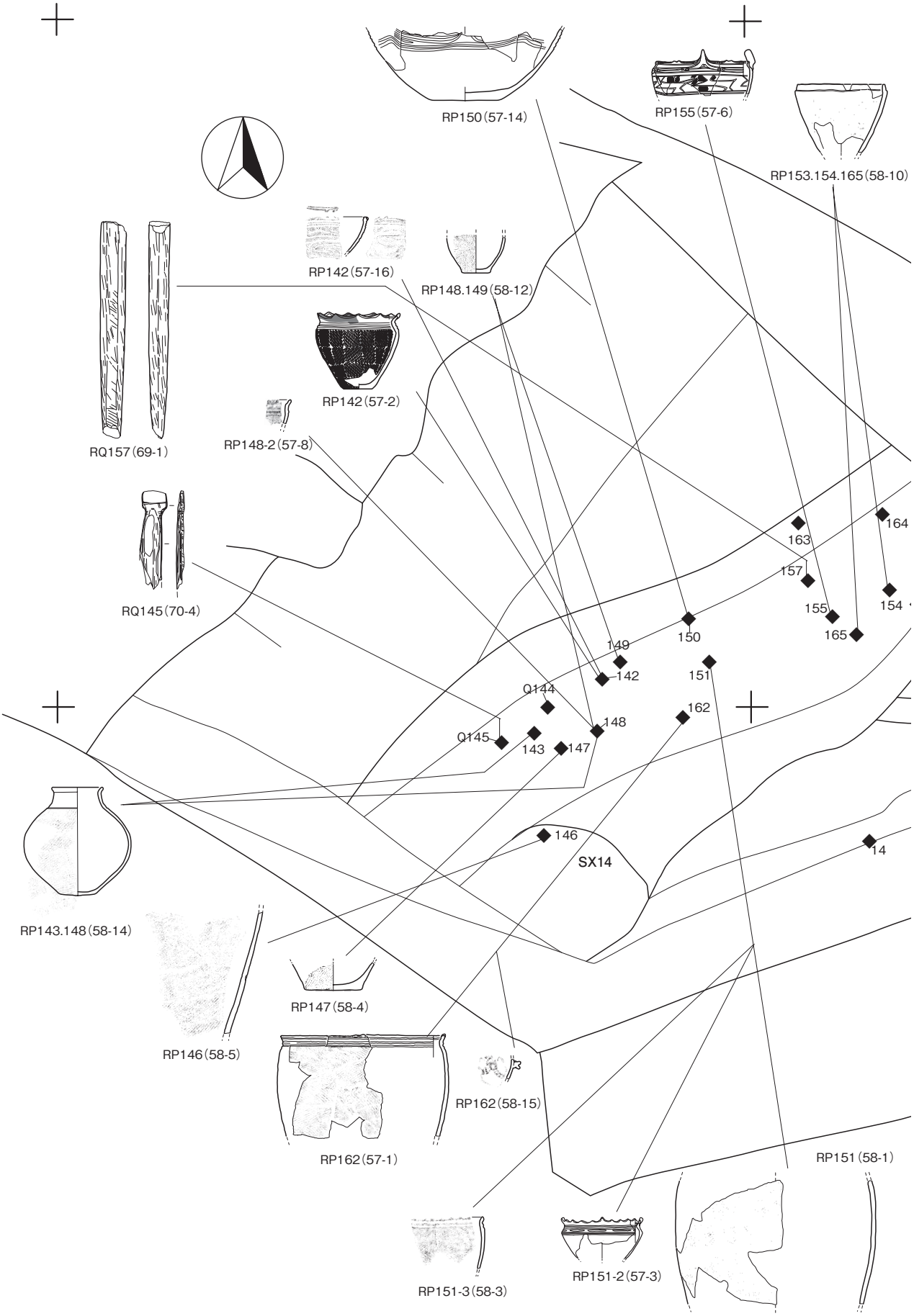


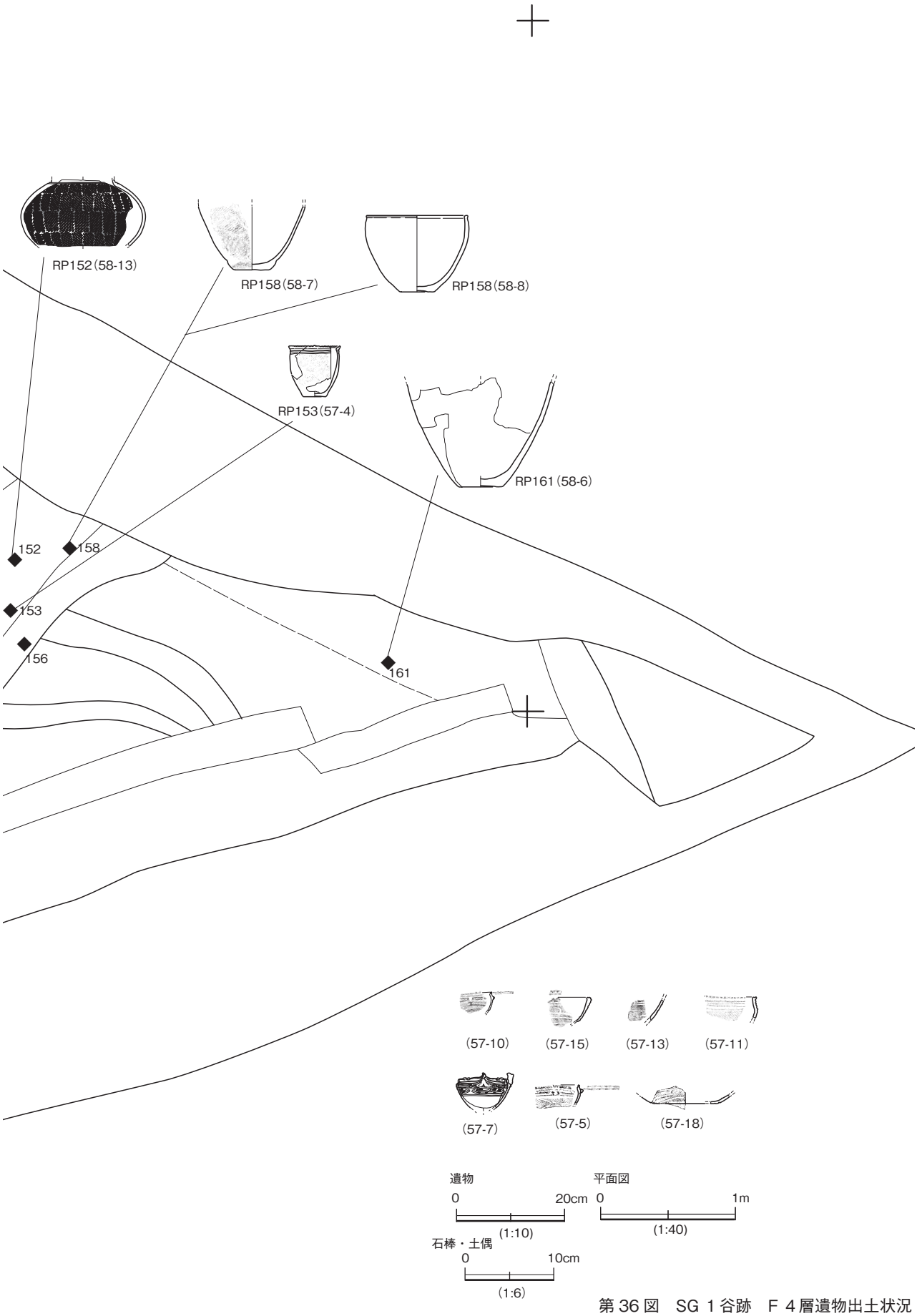
第 34 図　SG 1 谷跡　F 3 層遺物出土状況


RP118-1(52-1)
RP118-1(55-6)
RP116(52-7)
RQ132(69-6)
RQ137(70-1)
RP118-3
(55-13)
RP119(56-8)
RP122(52-4)
RP122(53-2)
RP122 周辺(53-7)
RP122-3(56-4)
Q132
118
Q137
122
119
116
133
127
131
174
134
135
126
SX14
RP174(56-6)
RP127(56-3)
RP126(56-7)
RP127(56-11)
RP131(55-14)
RP134(52-10)
RP135(52-9)
RP133-2(56-12)
RP133-1 (56-2)

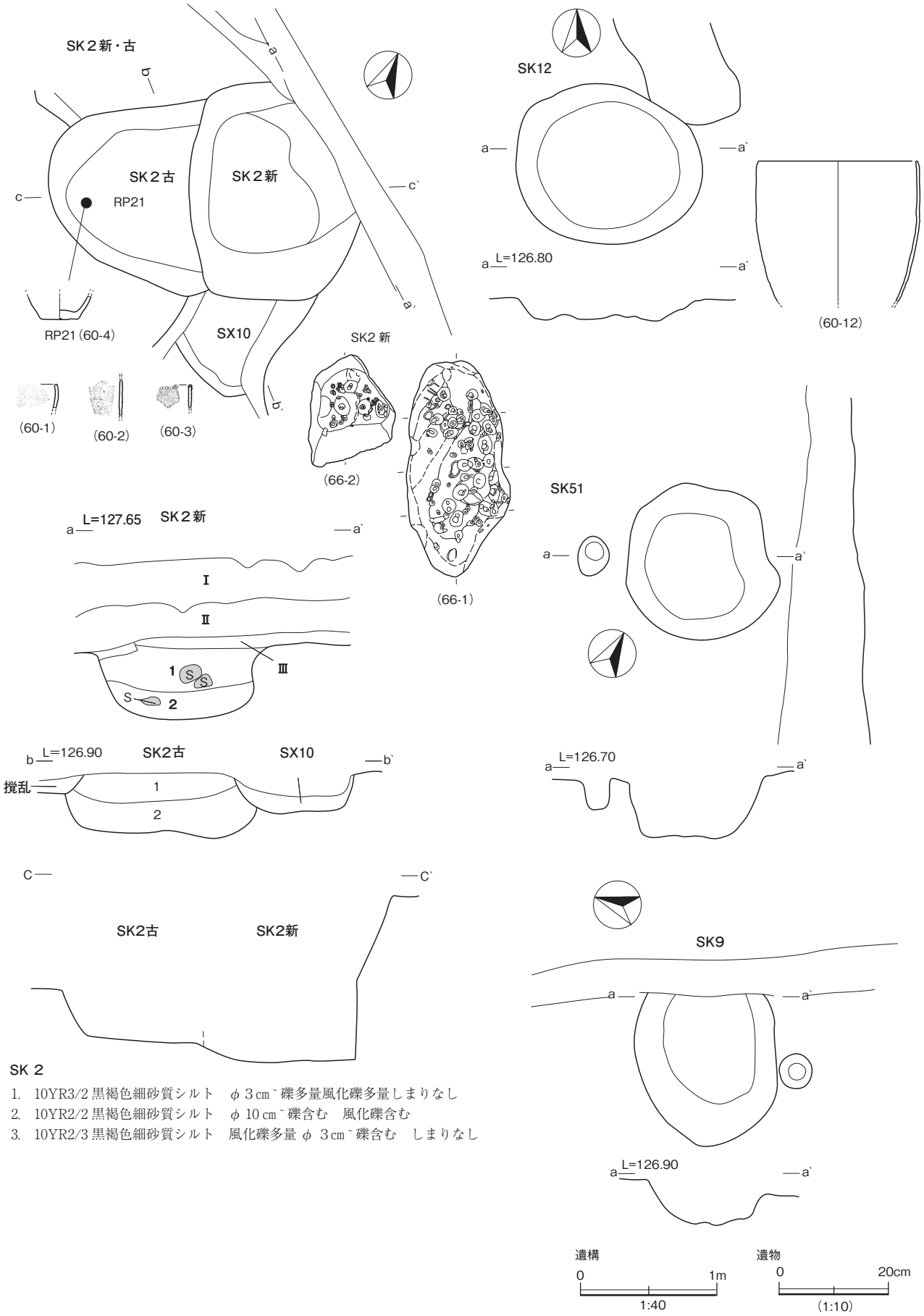


第35図　SG 1 谷跡　F 3下層遺物出土状況


RP150(57-14)
RP155(57-6)
RP153.154.165(58-10)
RP142(57-16)
RP148.149(58-12)
RP142(57-2)
RQ157(69-1)
RP148-2(57-8)
RQ145(70-4)
163
164
157
155
154
165
150
149
142
151
Q144
162
148
Q145
143
147
146
SX14
14
RP143.148(58-14)
RP147(58-4)
RP146(58-5)
RP162(58-15)
RP162(57-1)
RP151(58-1)
RP151-3(58-3)
RP151-2(57-3)



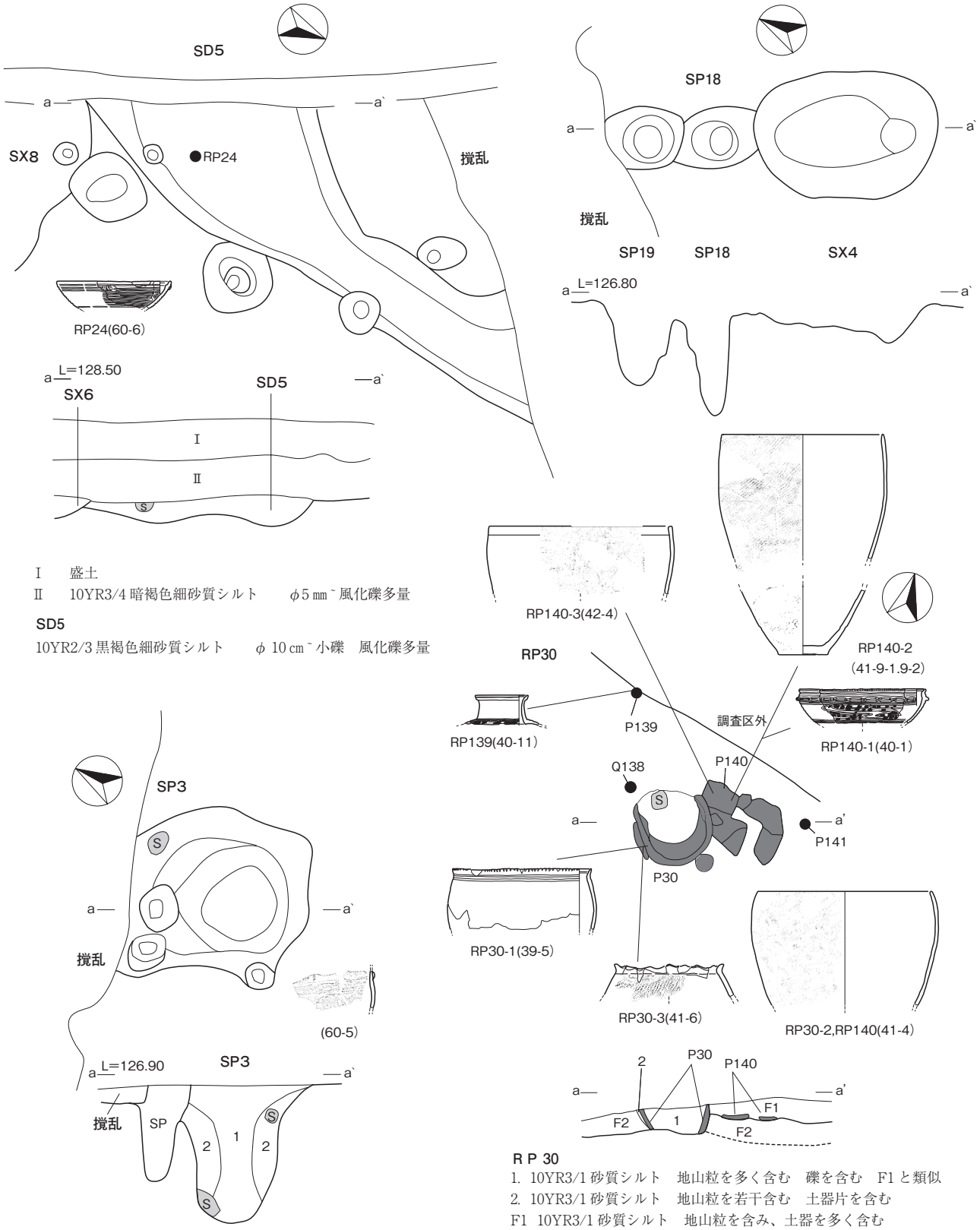
第36図　SG 1谷跡　F 4層遺物出土状況



SK ２

1. 10YR3/2 黒褐色細砂質シルト　φ３㎝~礫多量風化礫多量しまりなし
2. 10YR2/2 黒褐色細砂質シルト　φ 10 ㎝~礫含む　風化礫含む
3. 10YR2/3 黒褐色細砂質シルト　風化礫多量 φ ３㎝~礫含む　しまりなし

第 37 図　SK2・12・51・9 土坑



Ⅰ　盛土
Ⅱ　10YR3/4 暗褐色細砂質シルト　　φ5㎜~風化礫多量

SD5
10YR2/3 黒褐色細砂質シルト　　φ 10㎝~小礫　風化礫多量

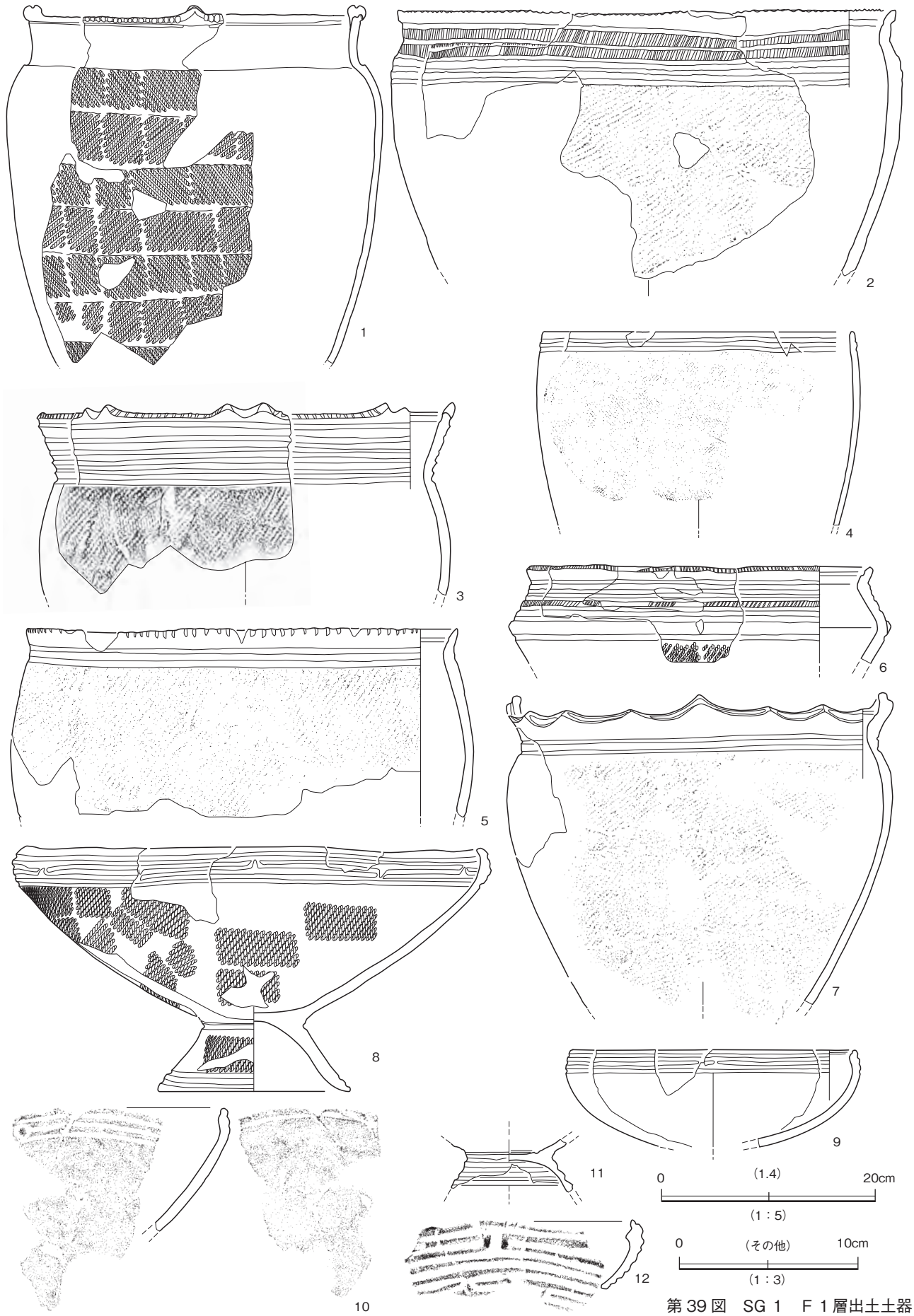
RP30
1. 10YR3/1 砂質シルト　地山粒を多く含む　礫を含む　F1 と類似
2. 10YR3/1 砂質シルト　地山粒を若干含む　土器片を含む
F1　10YR3/1 砂質シルト　地山粒を含み、土器を多く含む
F2　10YR3/1 砂質シルト　1 より砂を多く含む

SP3
1. 10YR2/3 黒褐色細砂質シルト　φ 10㎝～の礫・くされ礫含む　しまりなし
2. 10YR2/3 黒褐色細砂質シルト　地山ブロック多量に含む　しまりなし

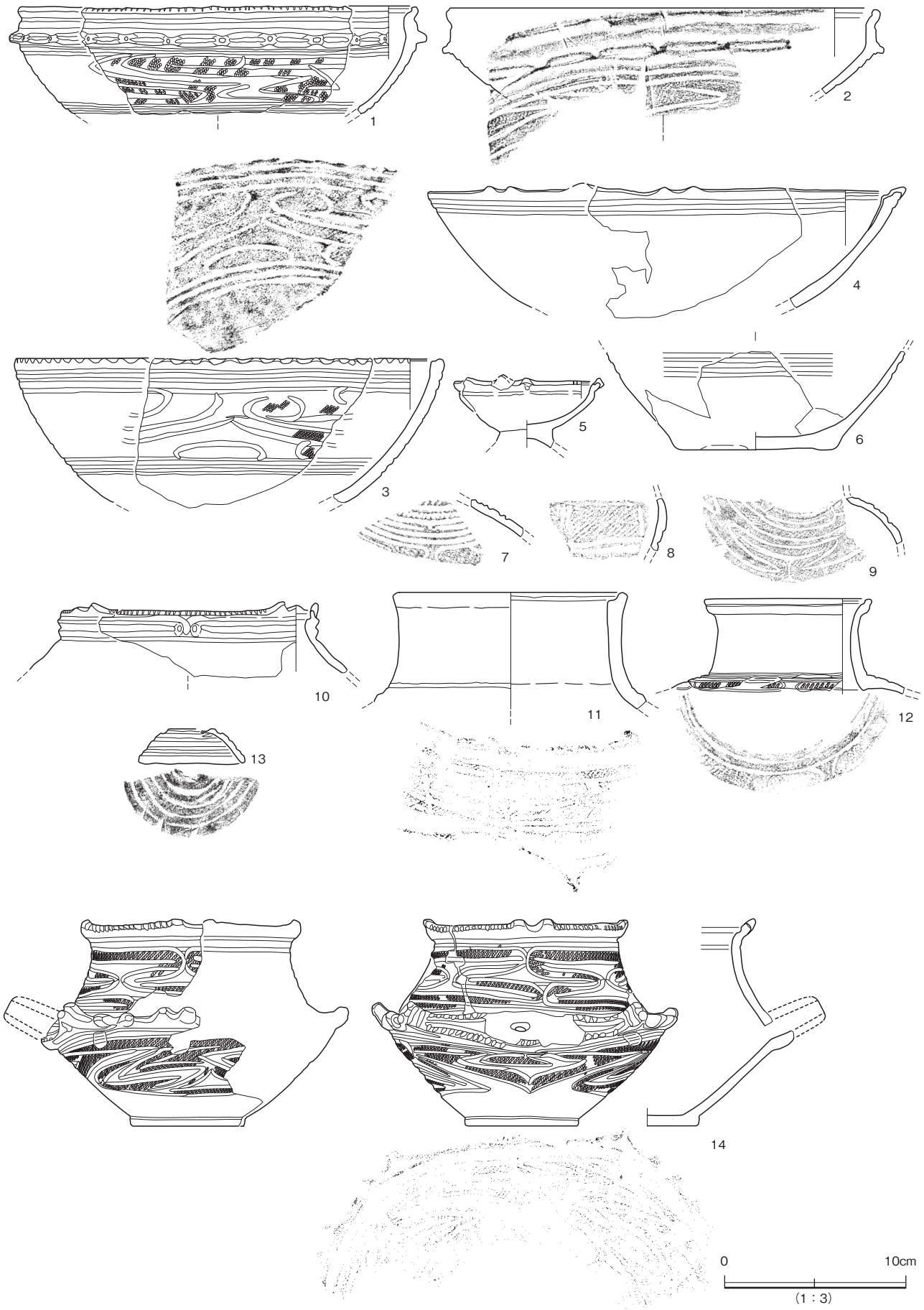
SP
10YR4/6 褐色　　φ 15㎝~の礫　風化礫多量に含む　しまりなし

遺構　0　1m　1:40
遺物　0　20cm　(1:10)

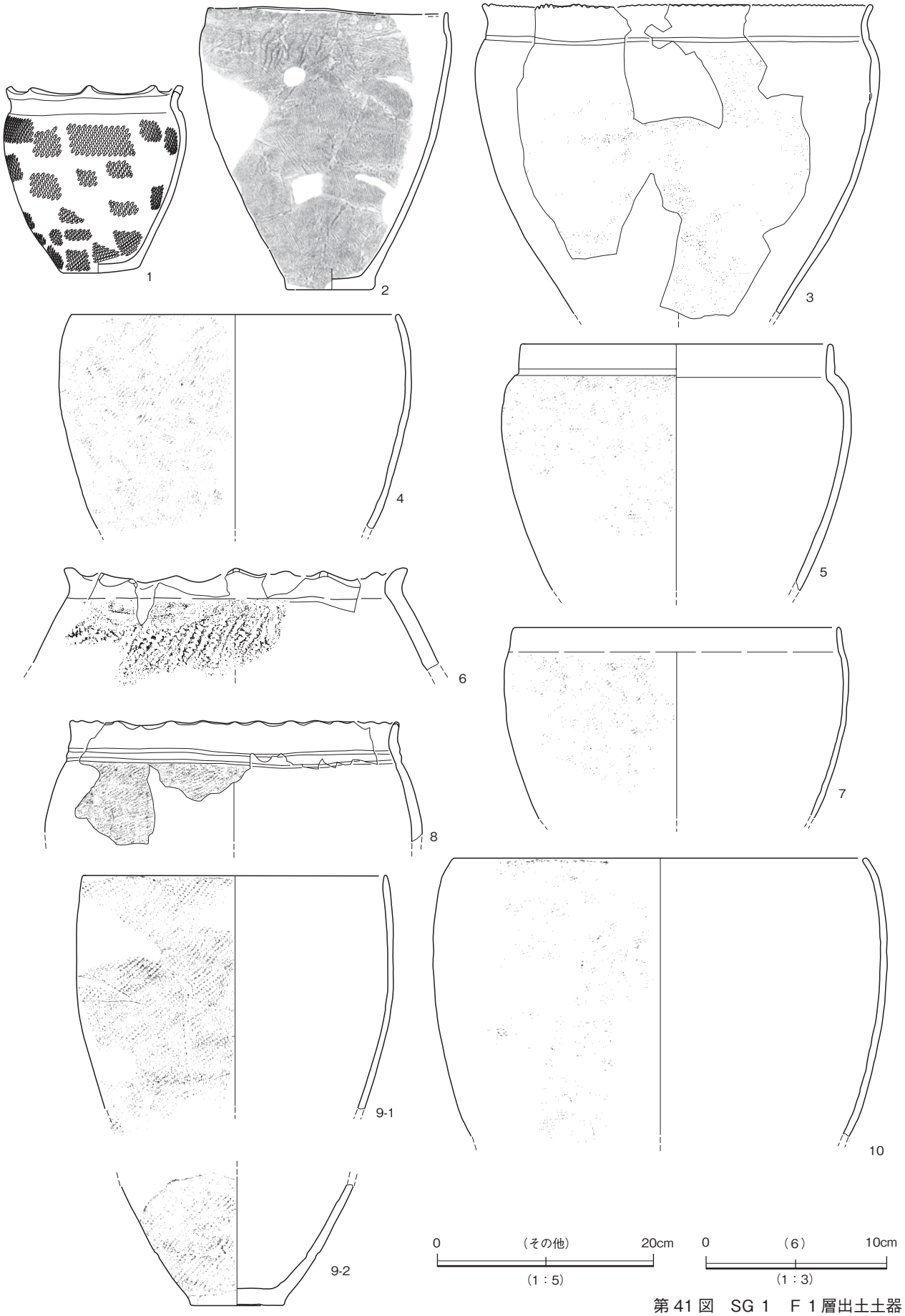
第 38 図　SD5 溝跡・SP3・18 柱穴・RP30 埋設土器



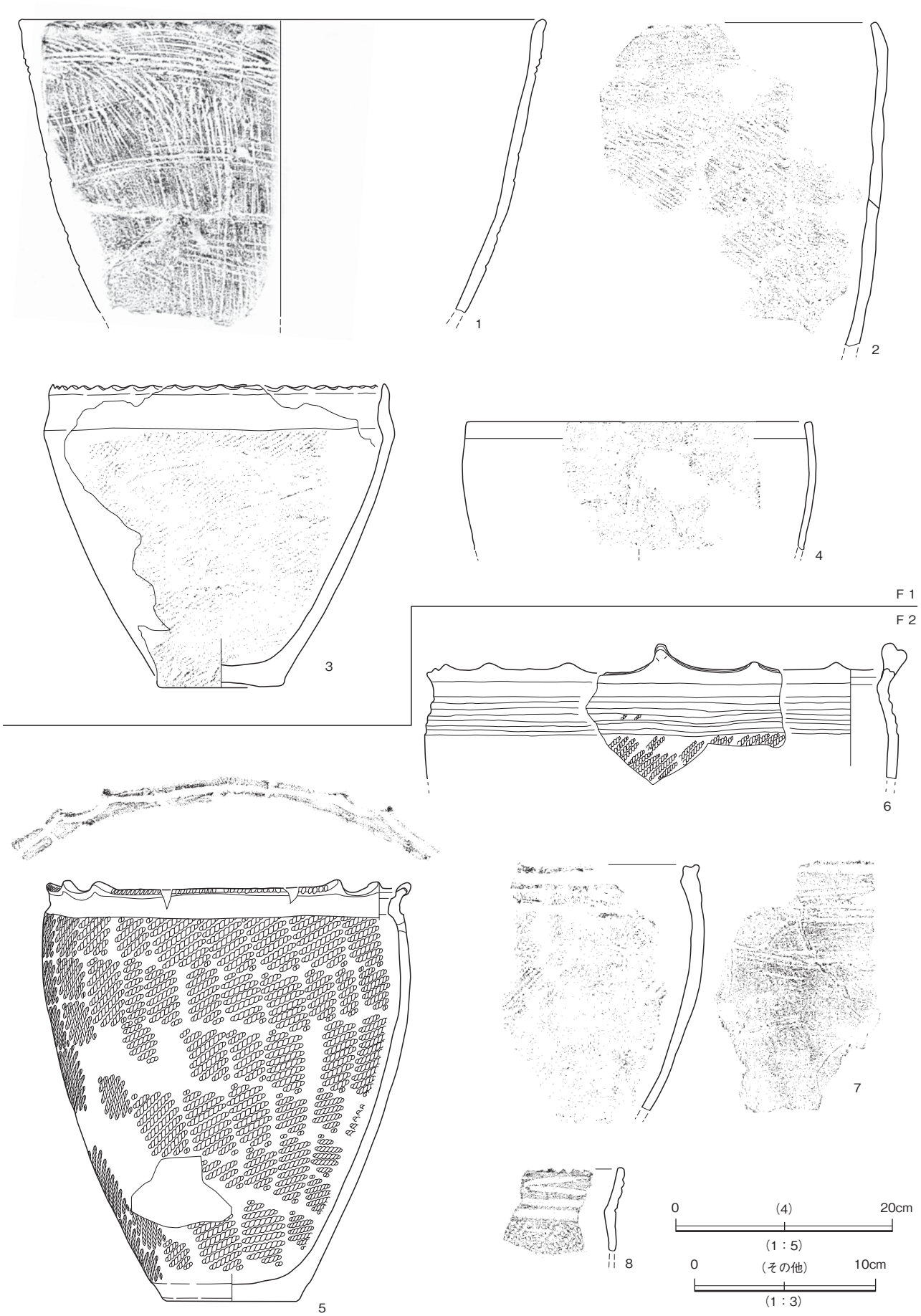
第39図　SG 1　F 1層出土土器



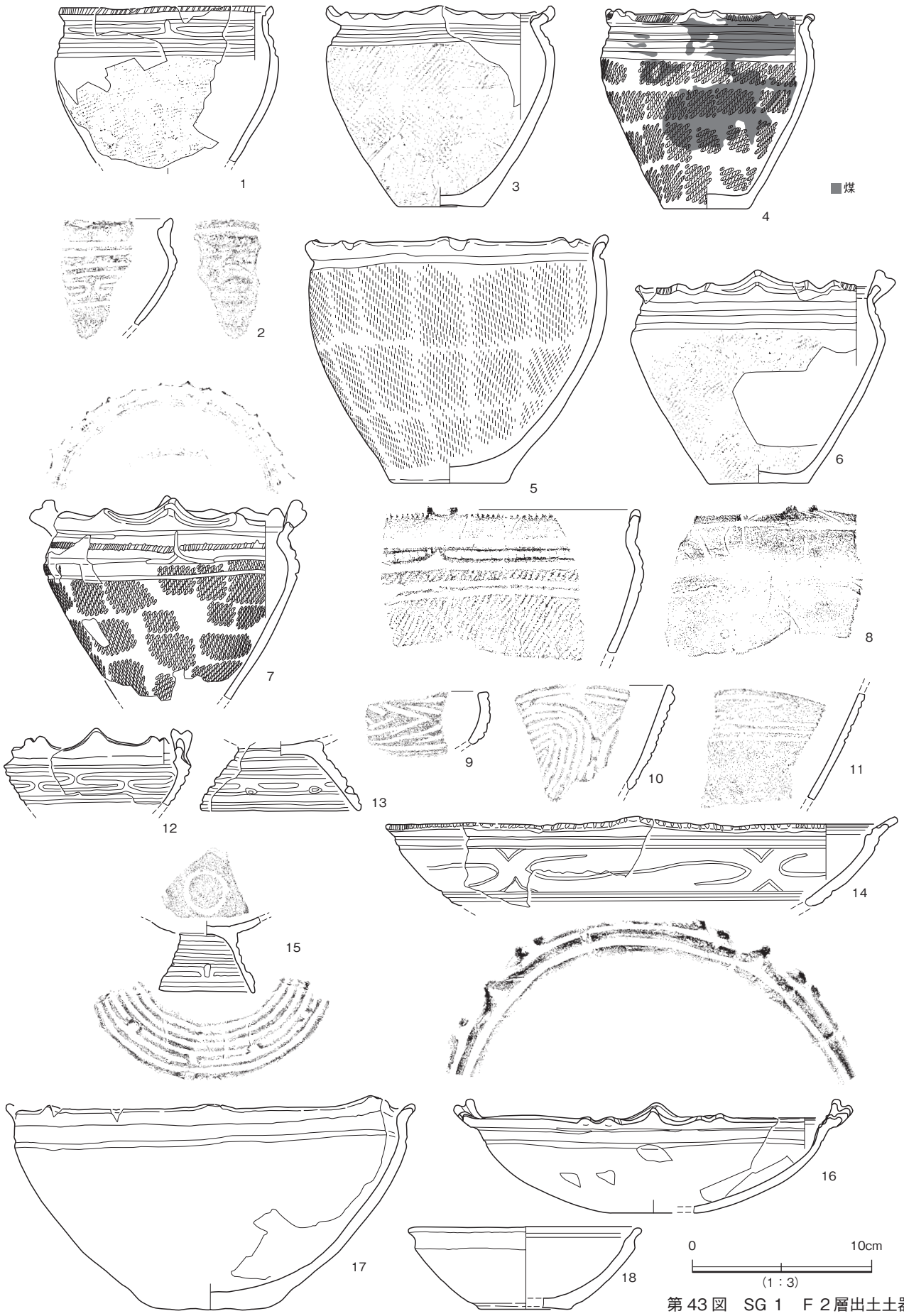
第40図　SG 1　F 1層出土土器



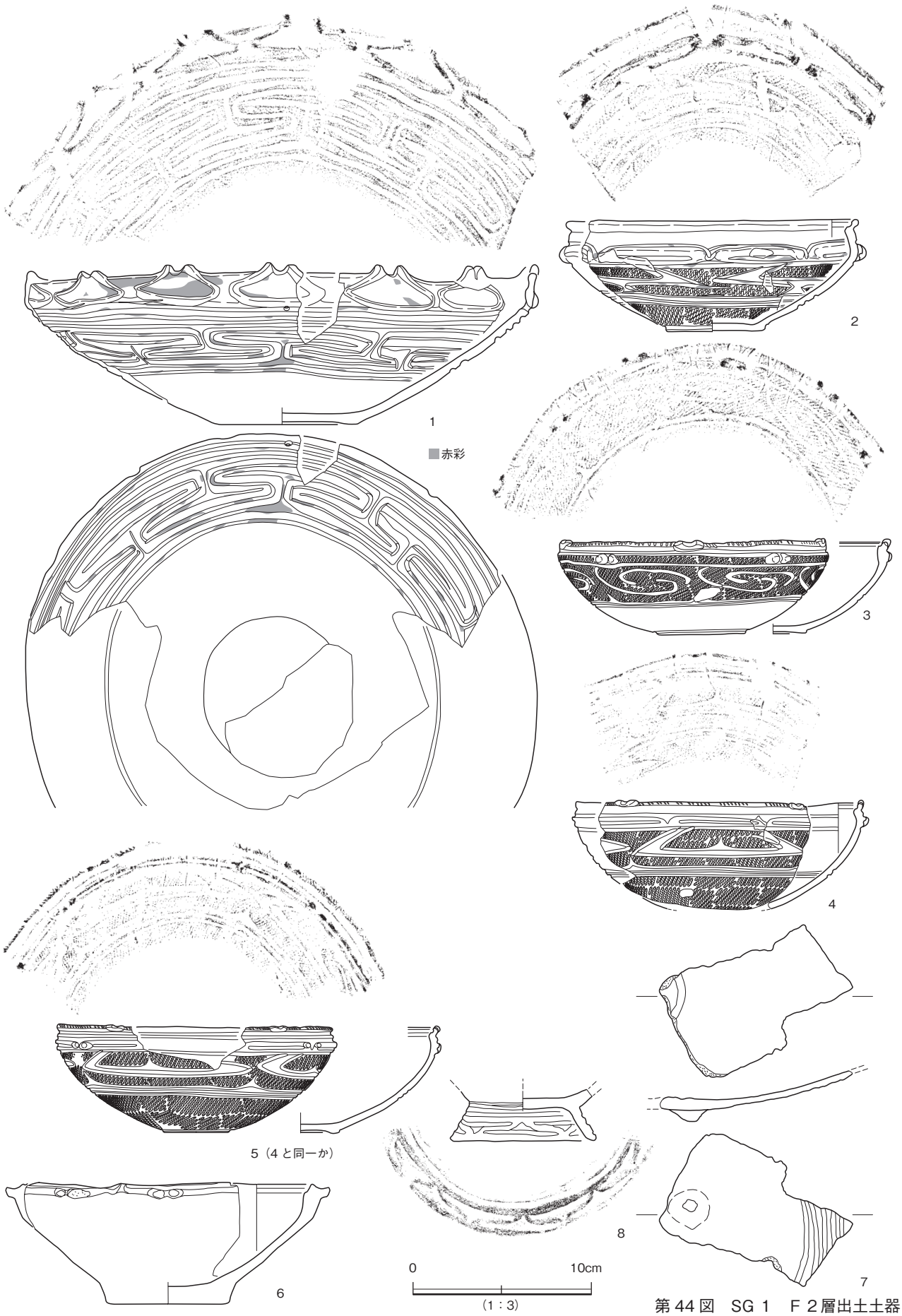
第 41 図　SG 1　F 1 層出土土器



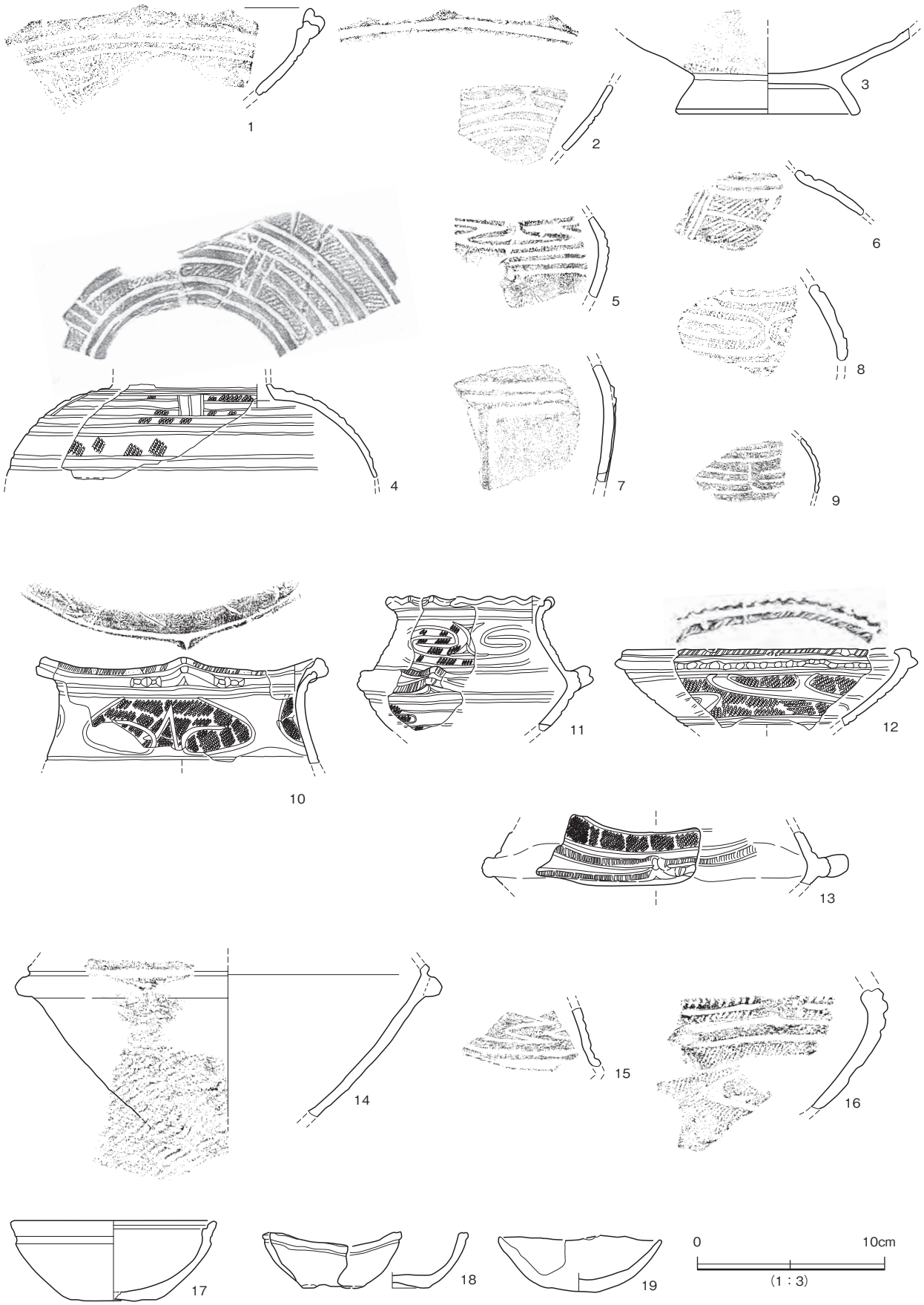
第 42 図　SG 1　F 1・F 2 層出土土器



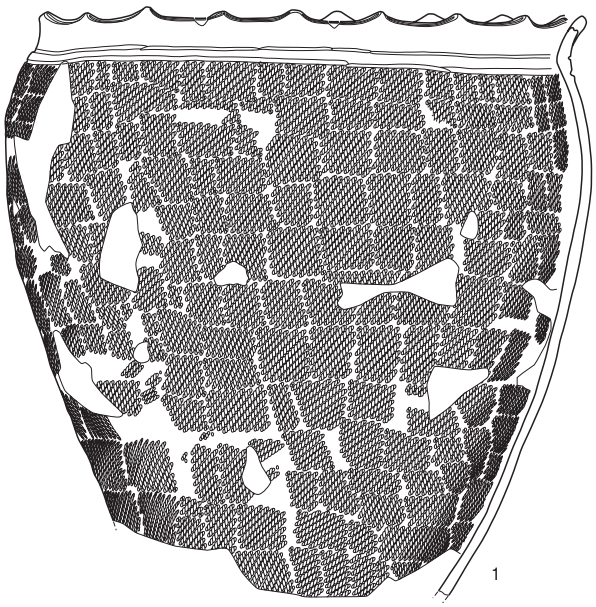
第43図　SG 1　F 2層出土土器

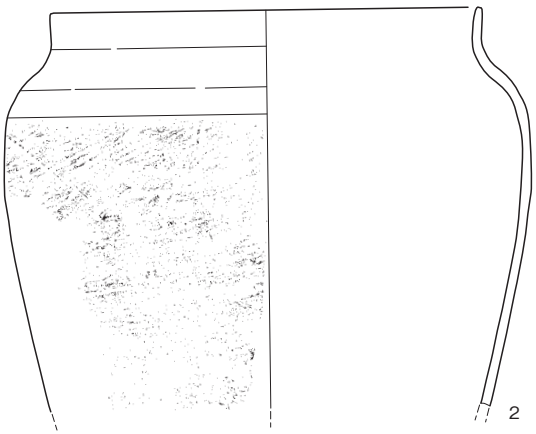


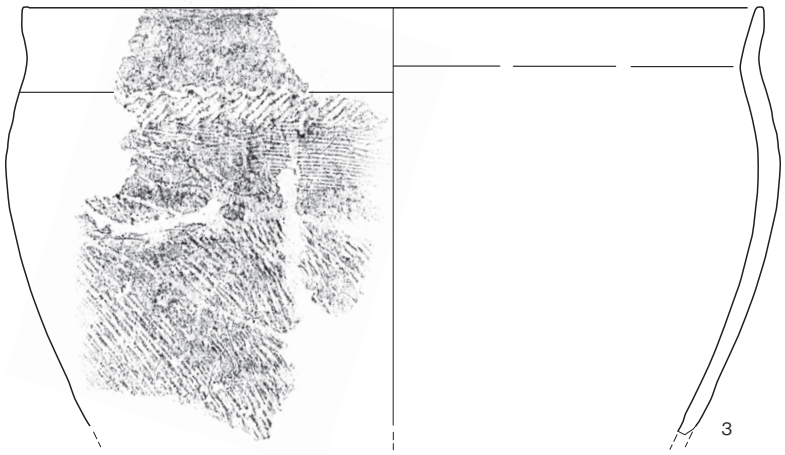
第44図　SG 1　F 2層出土土器

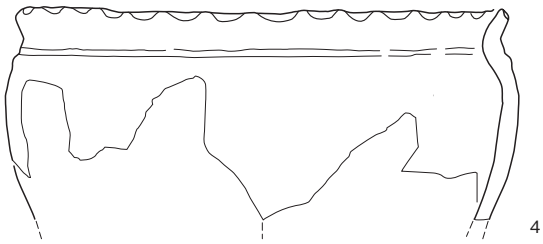


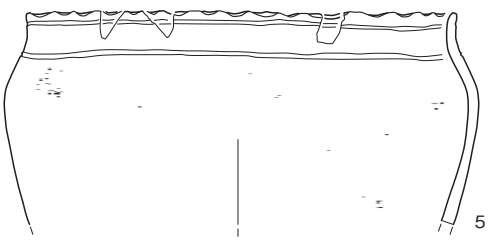
第45図　SG 1　F 2層出土土器

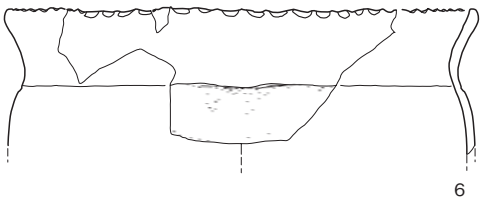








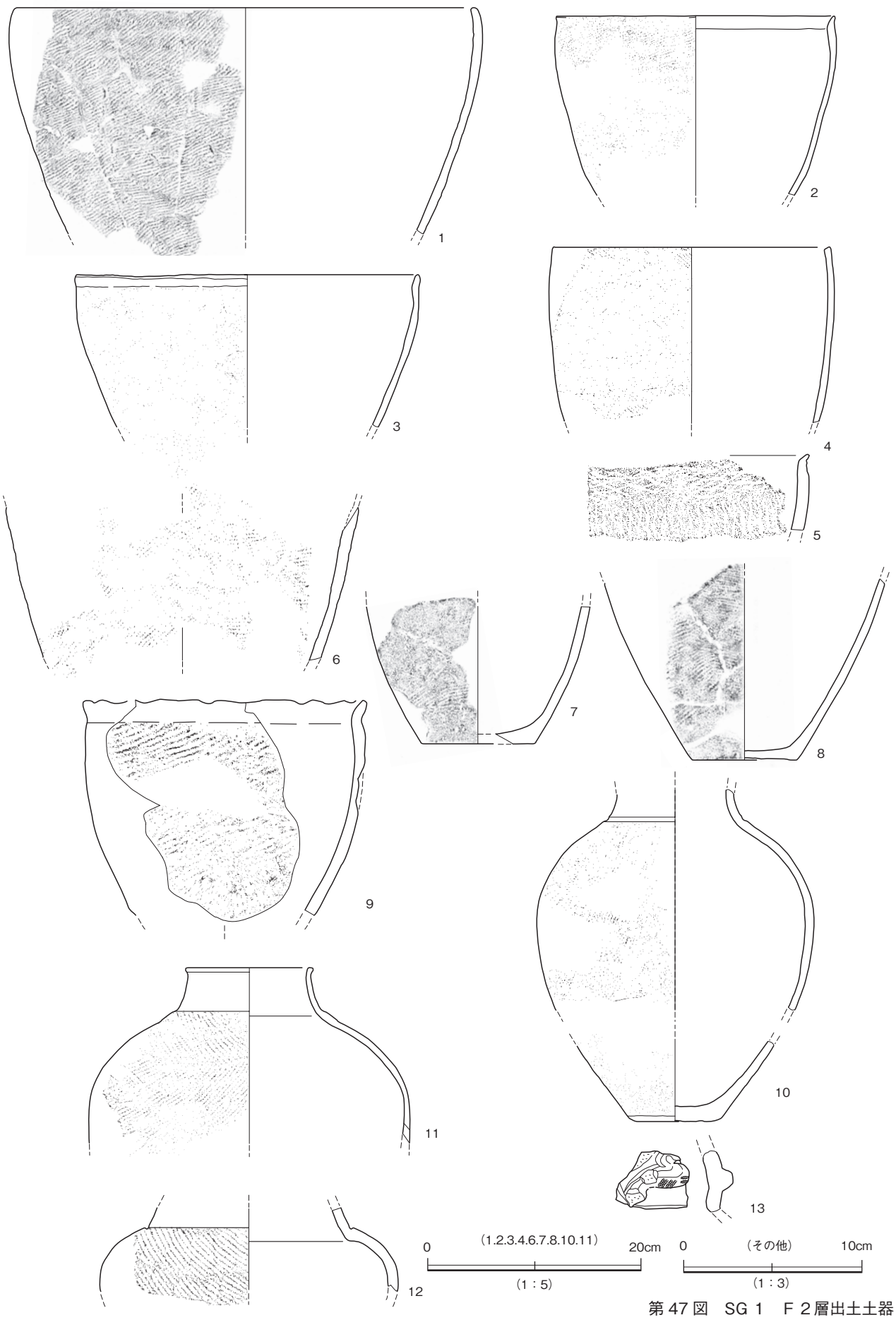




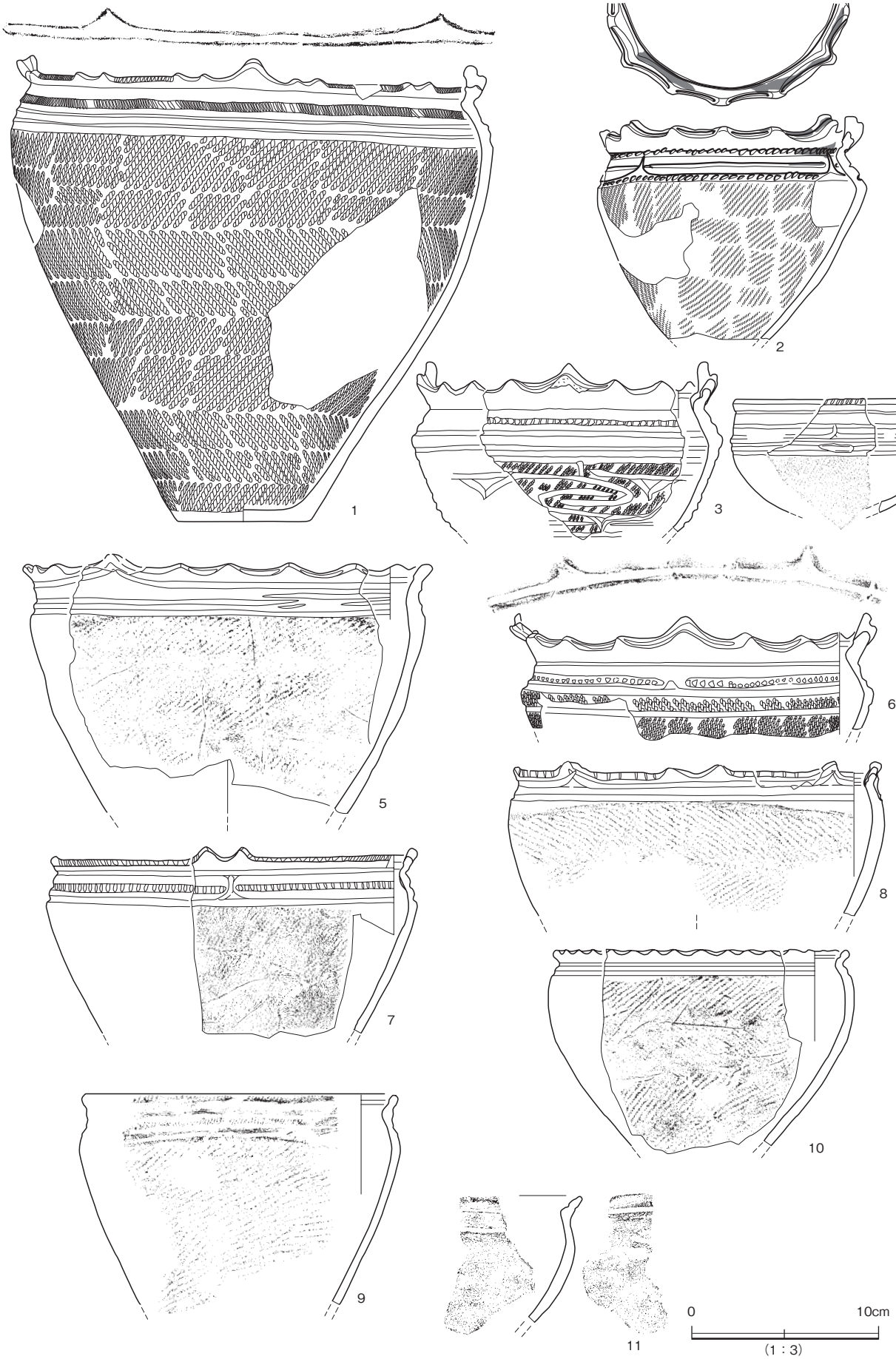
0 （その他） 20cm
（1：5）

0 (3.4) 10cm
（1：3）

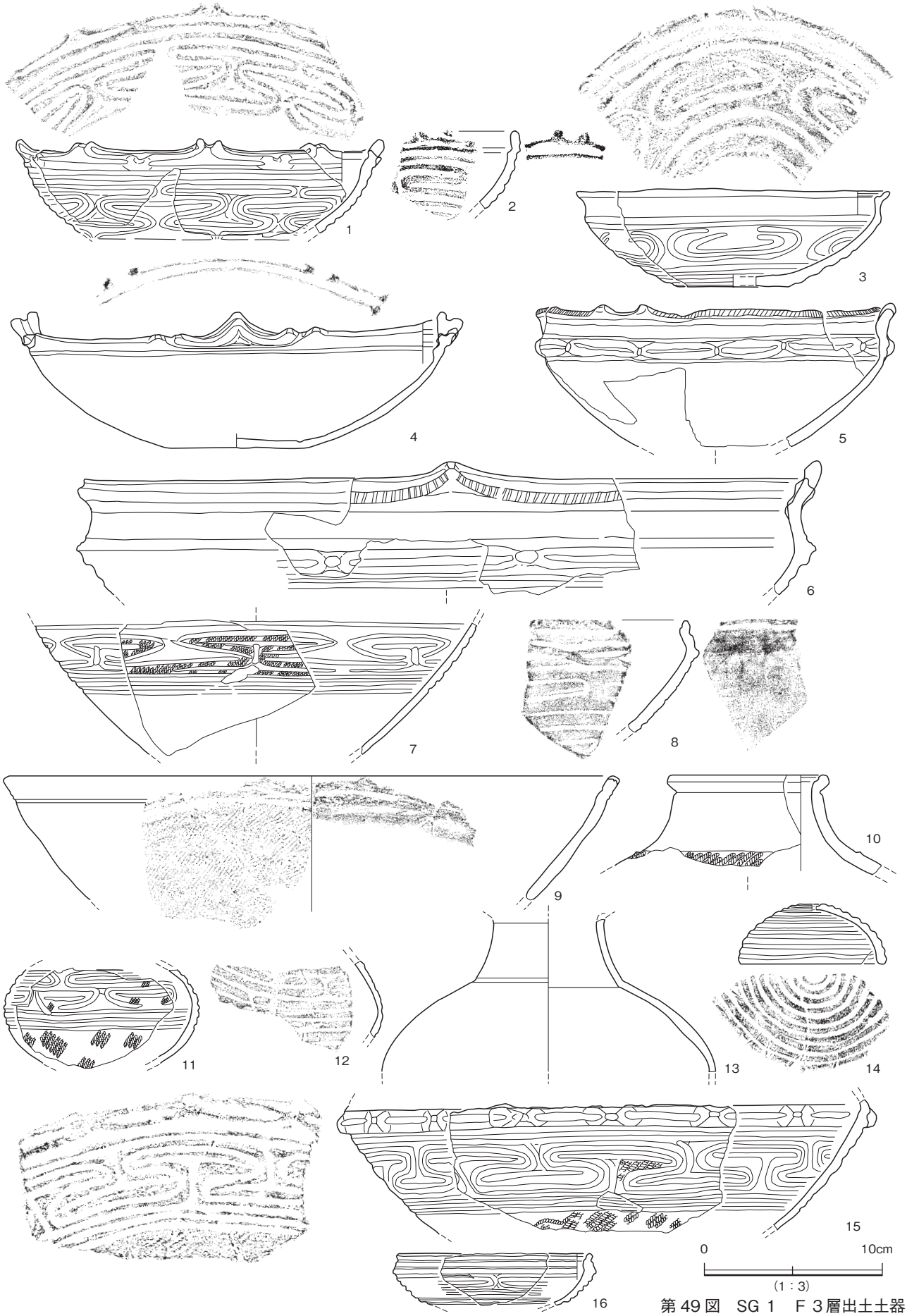
第46図　SG１　Ｆ２層出土土器



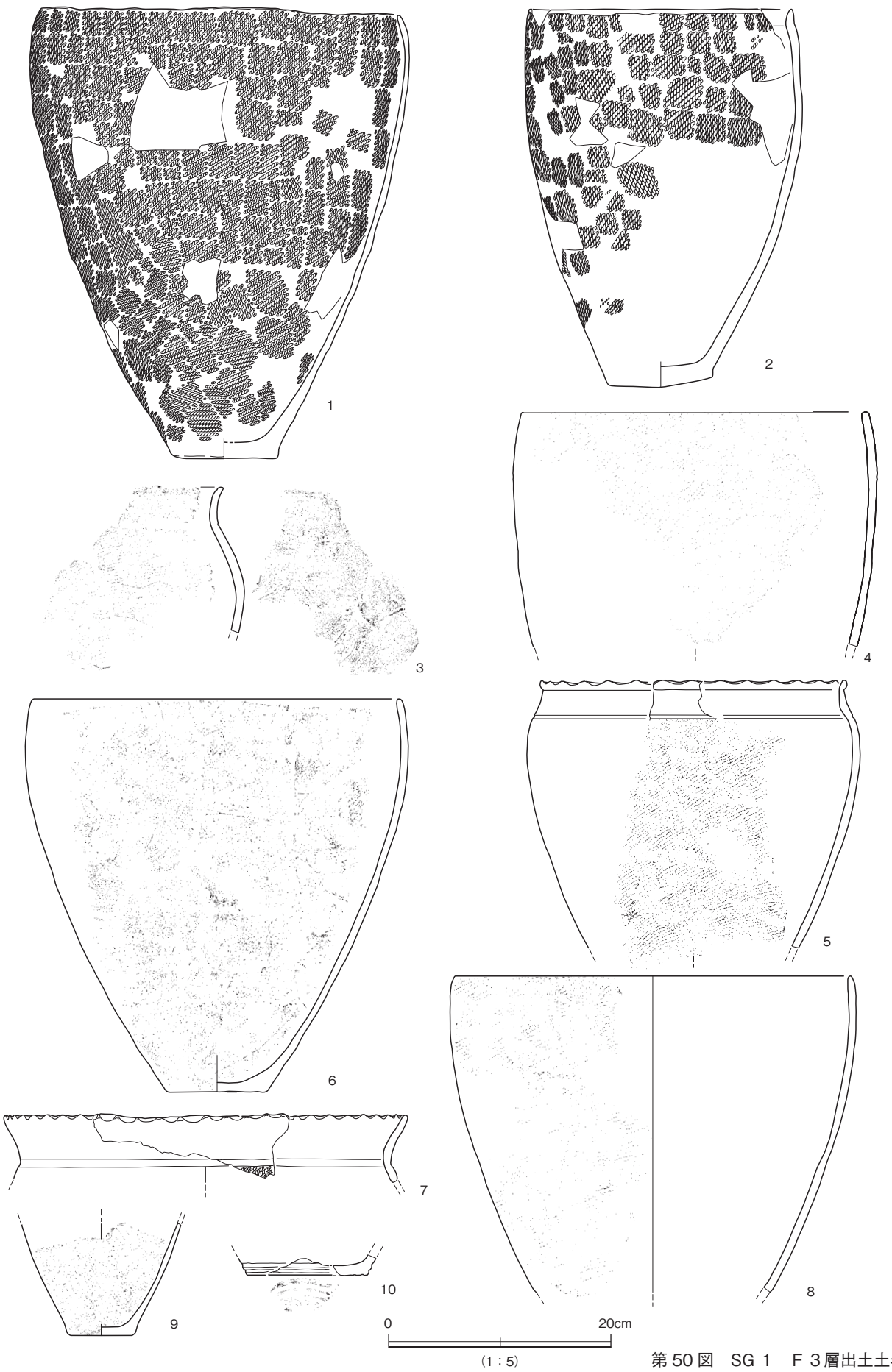
第 47 図　SG 1　F 2 層出土土器



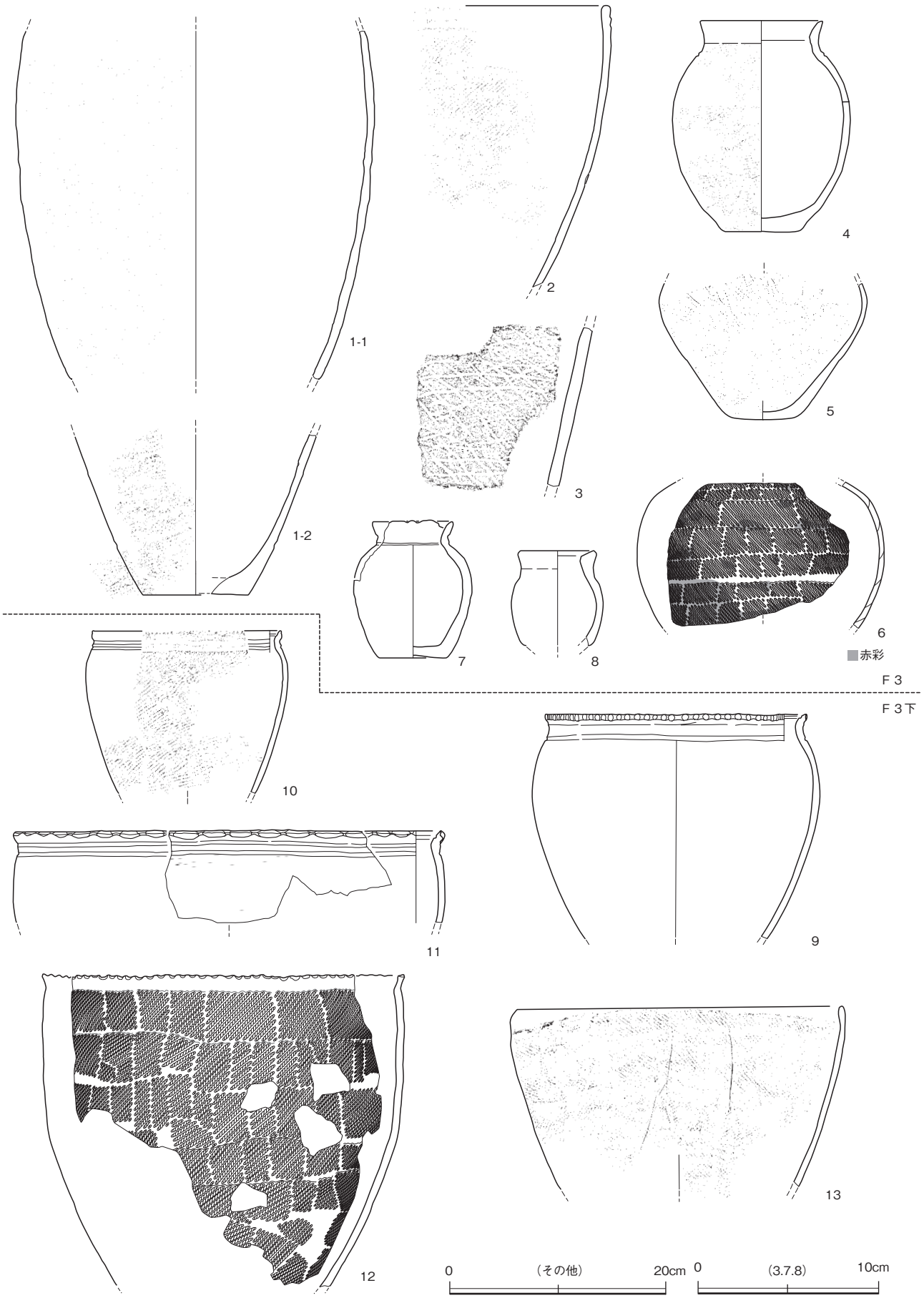
第48図　SG 1　F 3層出土土器



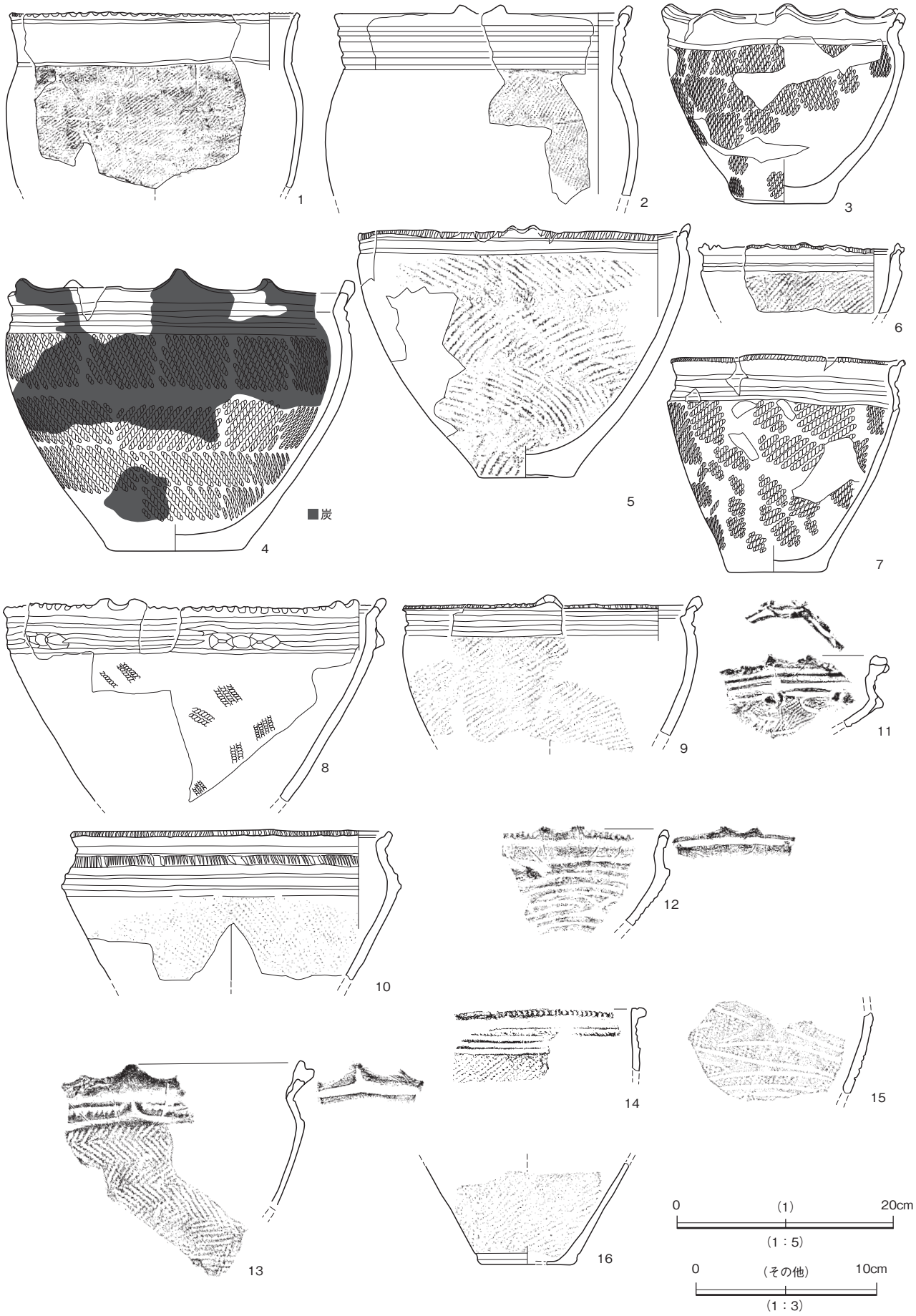
第49図　SG 1　F 3層出土土器



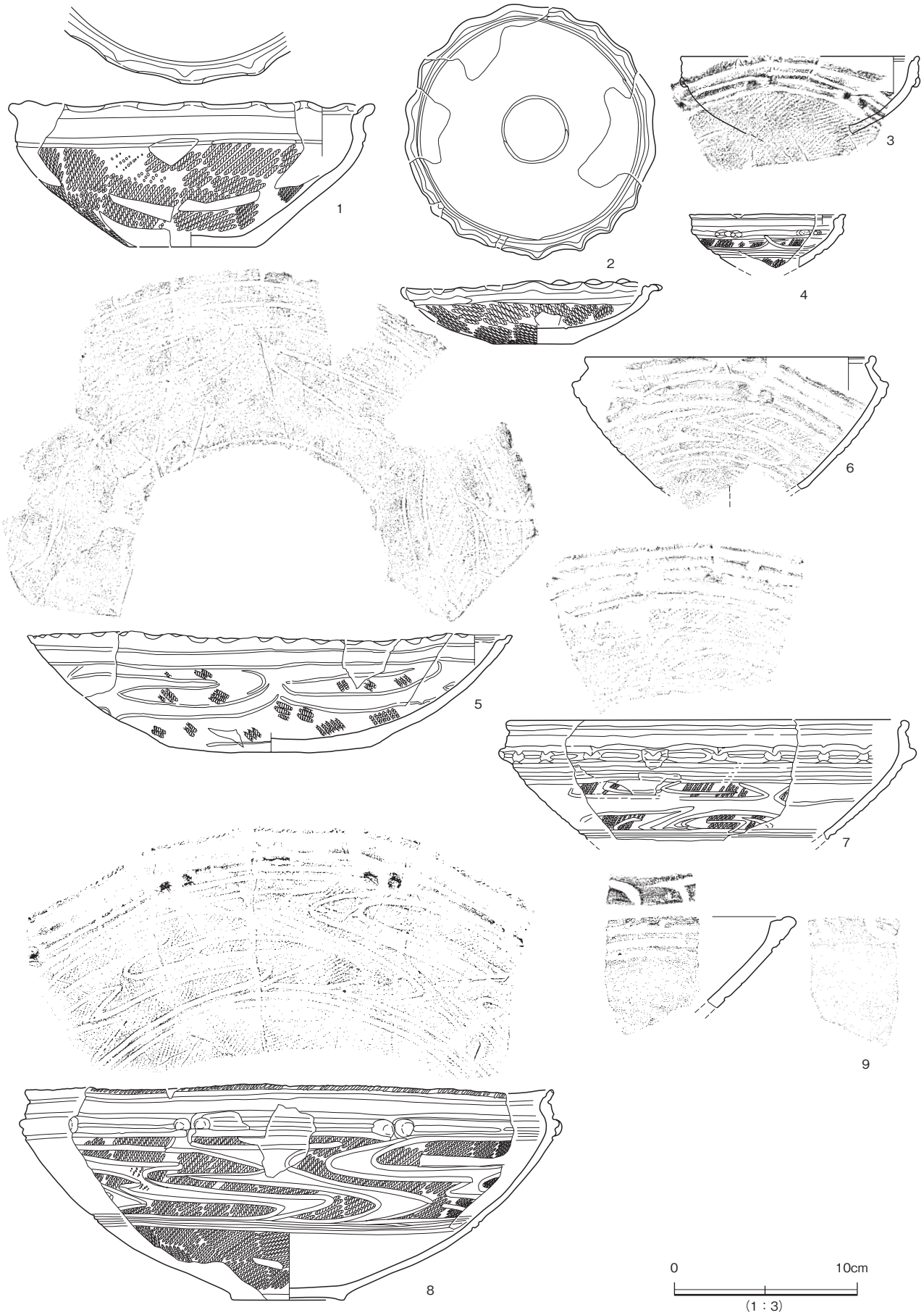
第 50 図　SG 1　F 3 層出土土器



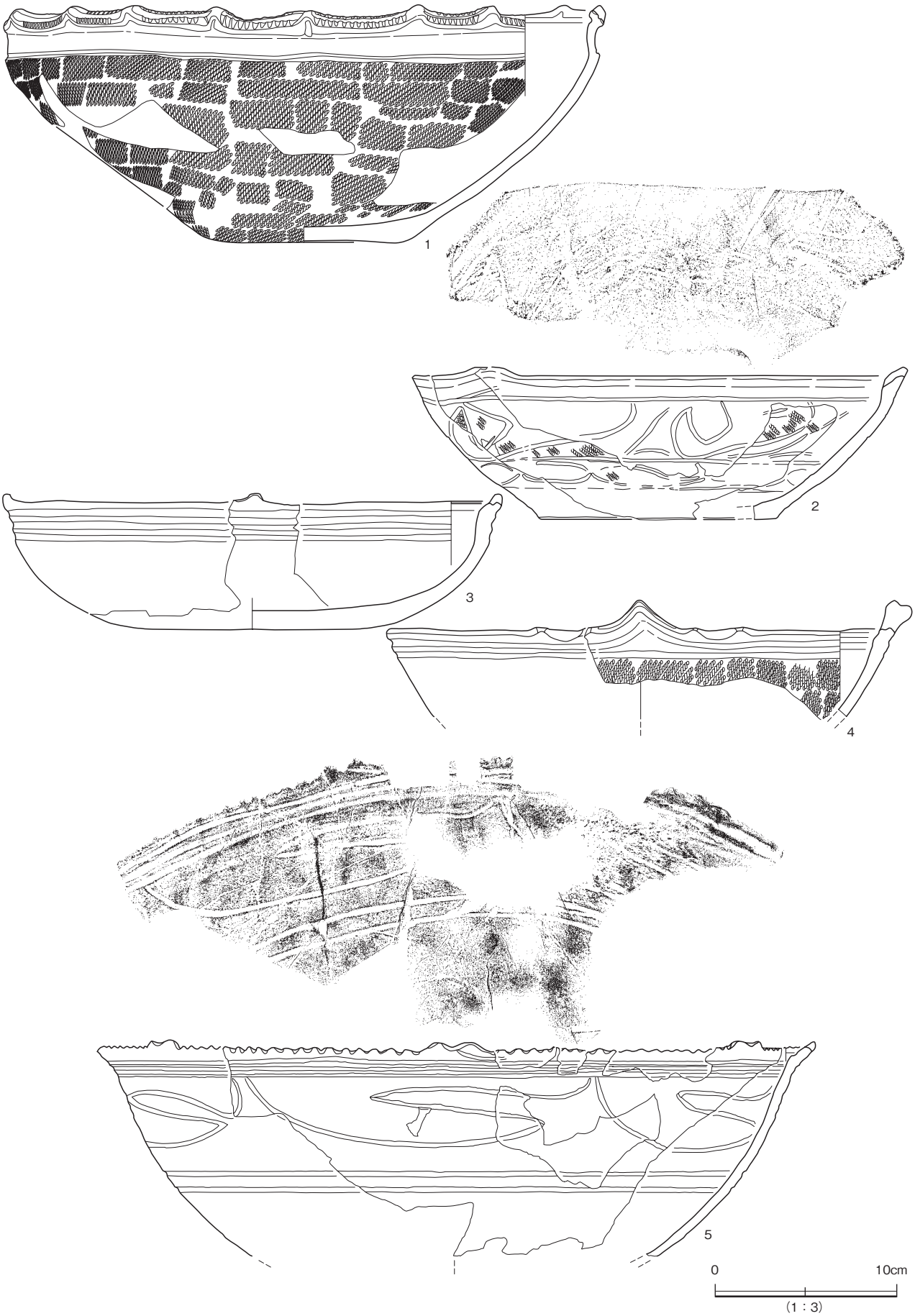
第51図　SG１　Ｆ３・Ｆ３下層出土土器



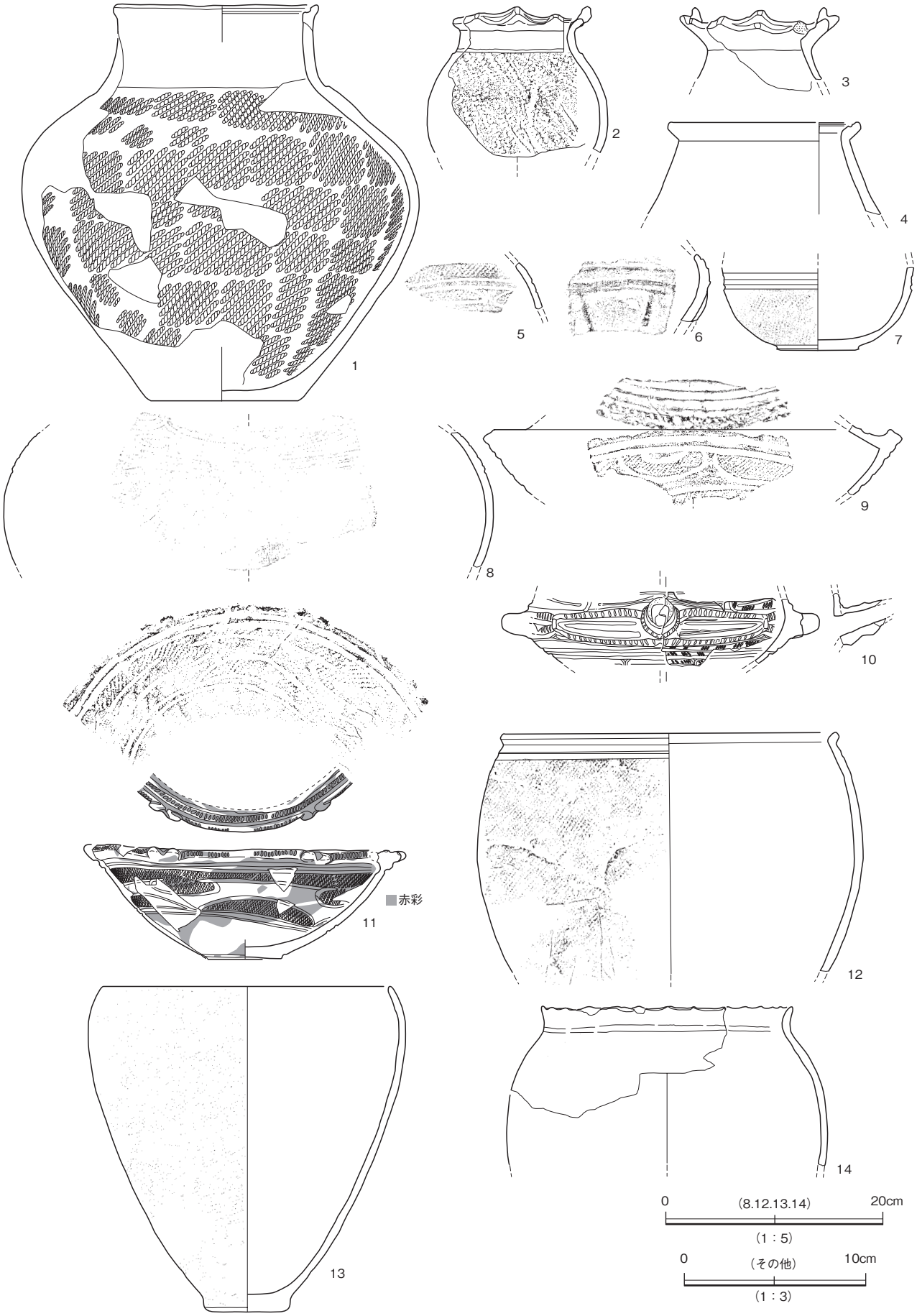
第52図　SG 1　F 3下層出土遺物



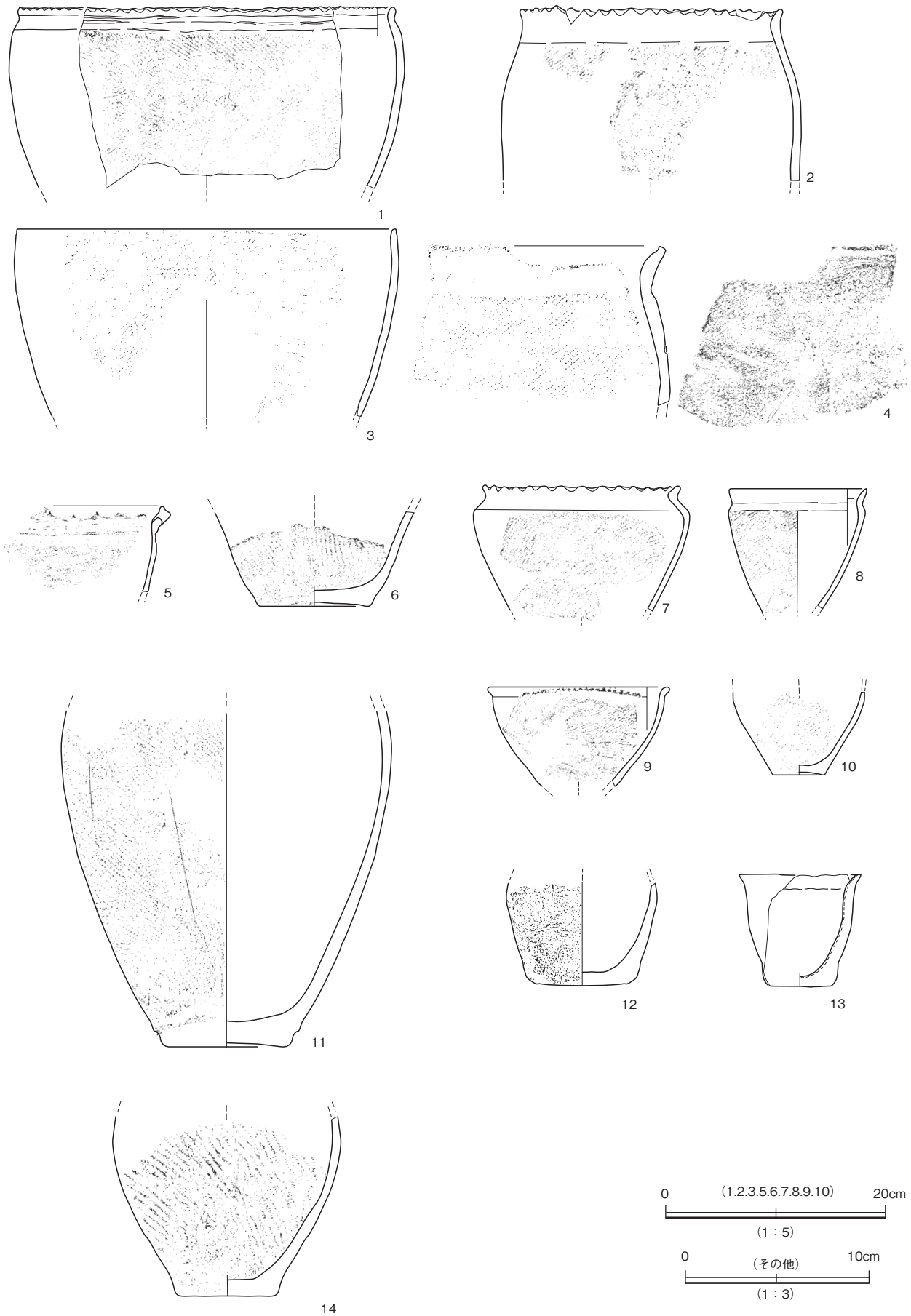
第53図　SG１　Ｆ３下層出土土器



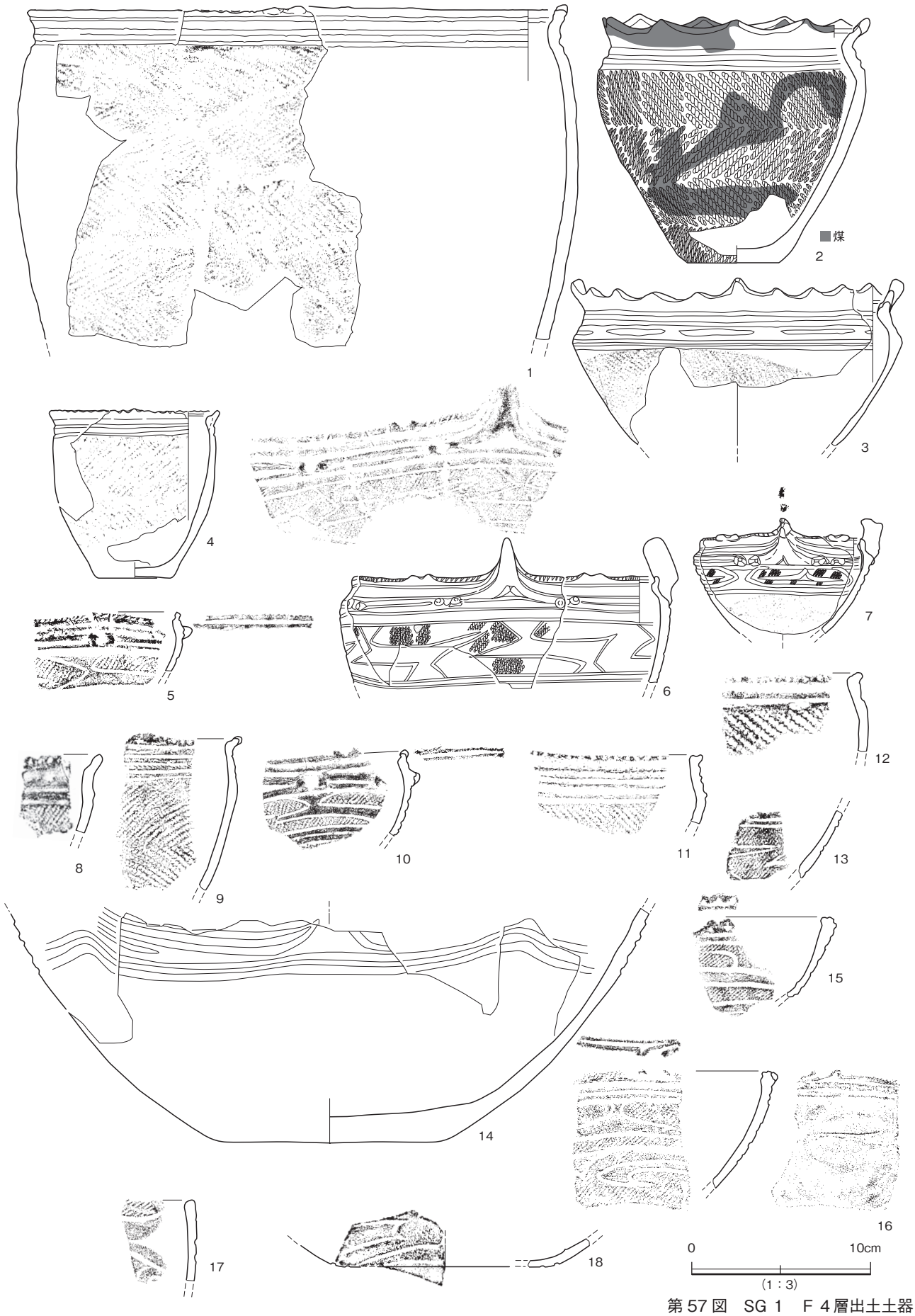
第54図　SG 1　F 3下層出土土器



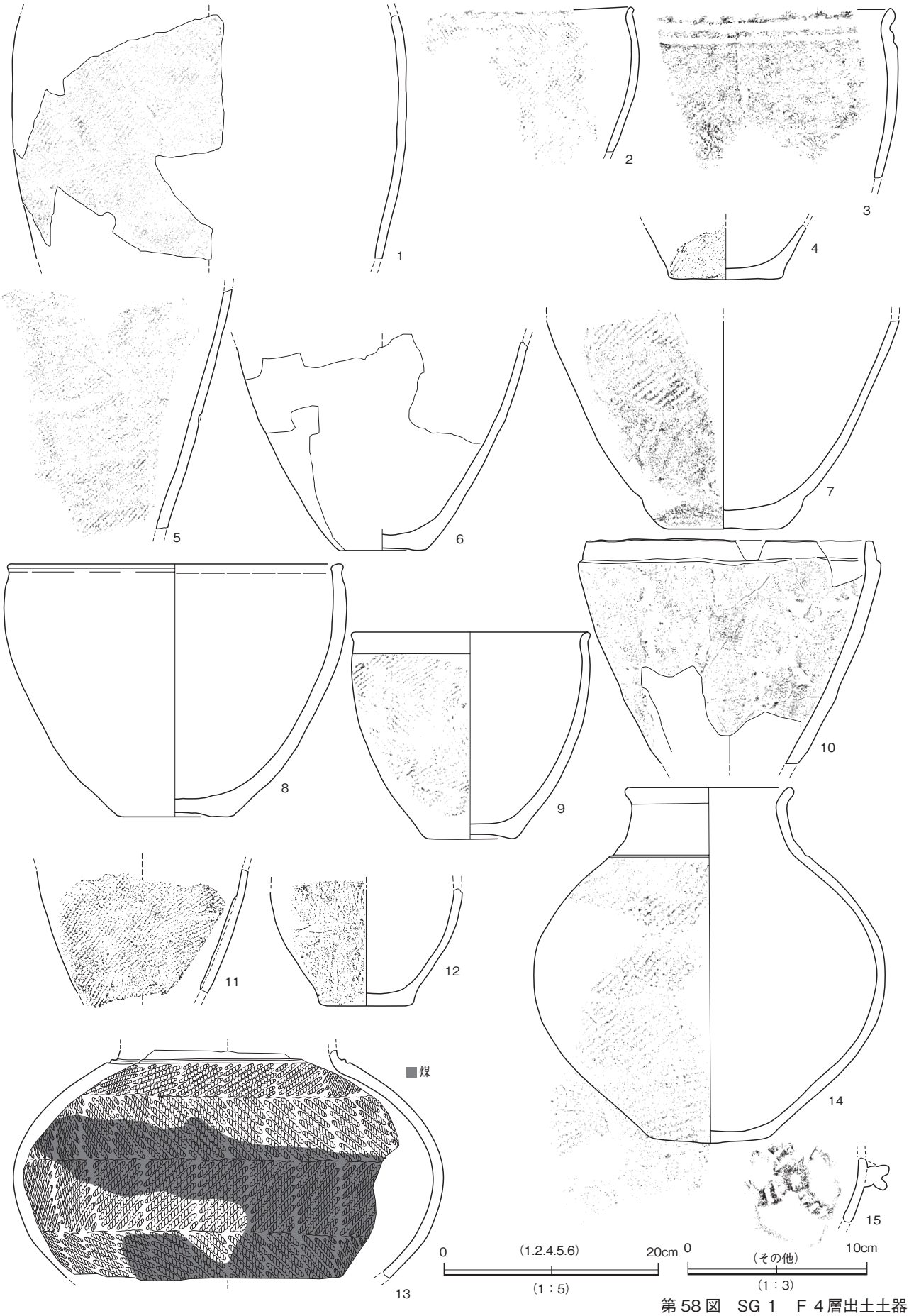
第 55 図　SG 1　F 3下層出土土器



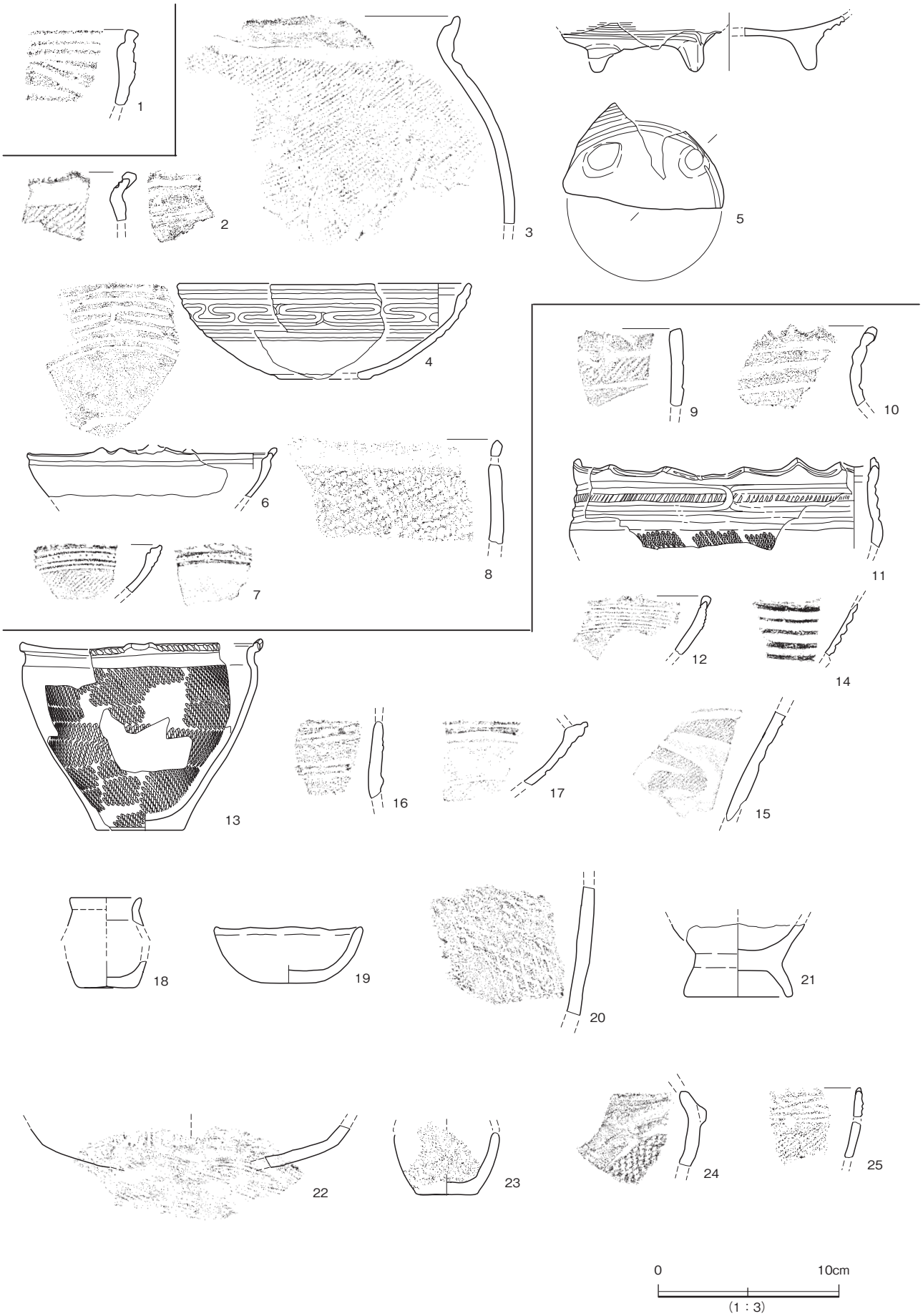
第56図　SG 1　F 3下層出土土器



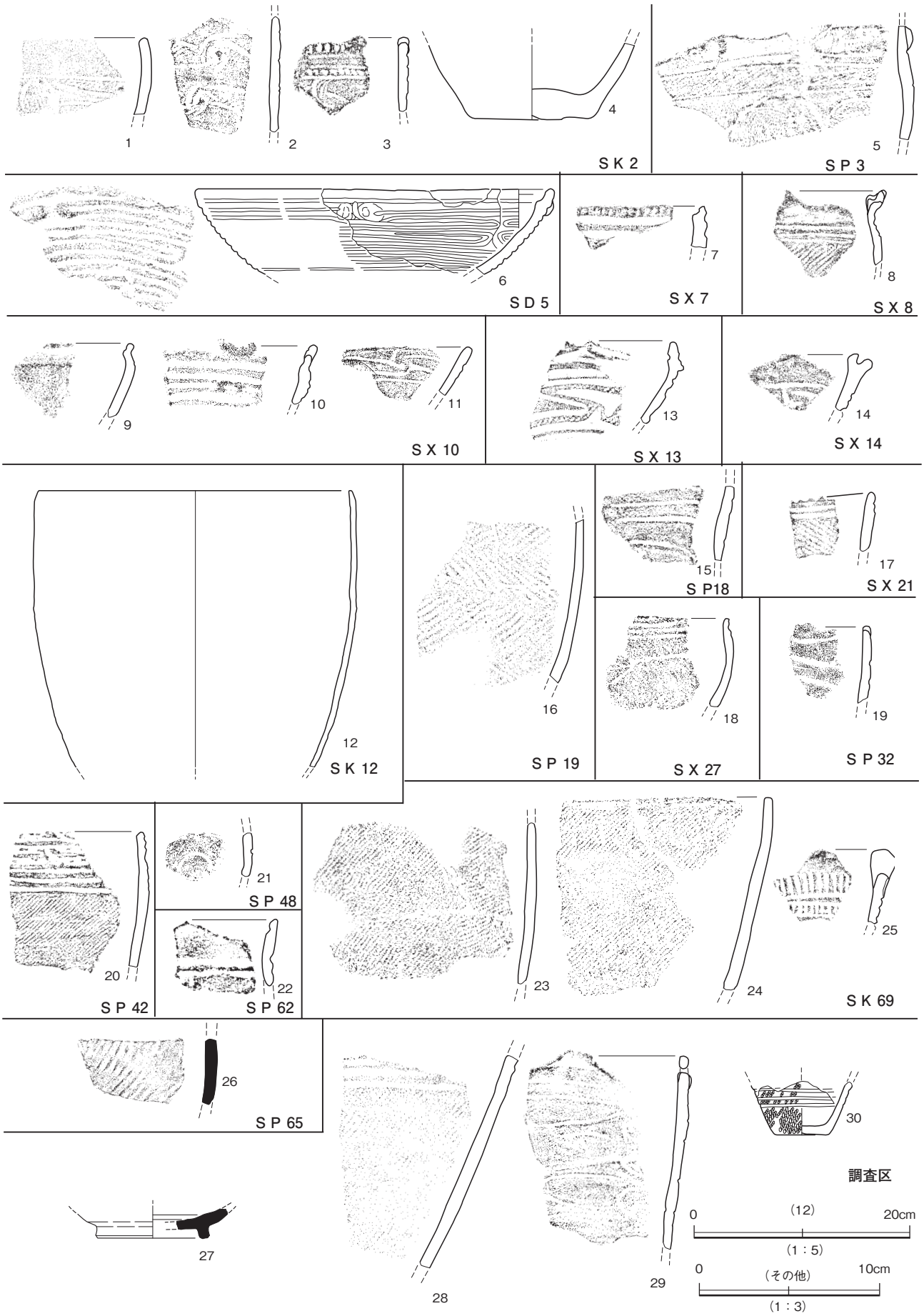
第 57 図　SG 1　F 4 層出土土器



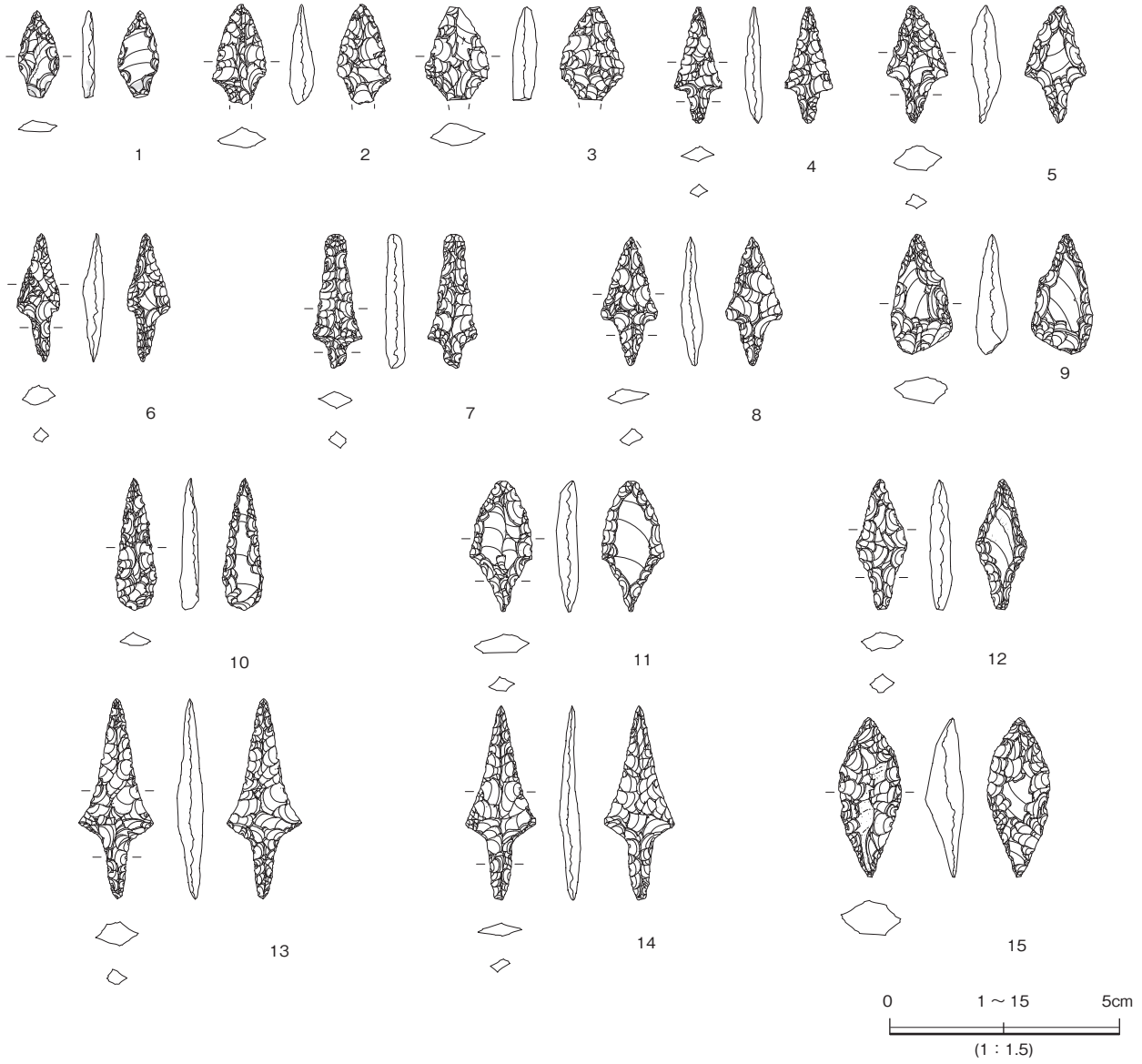
第 58 図　SG 1　F 4 層出土土器

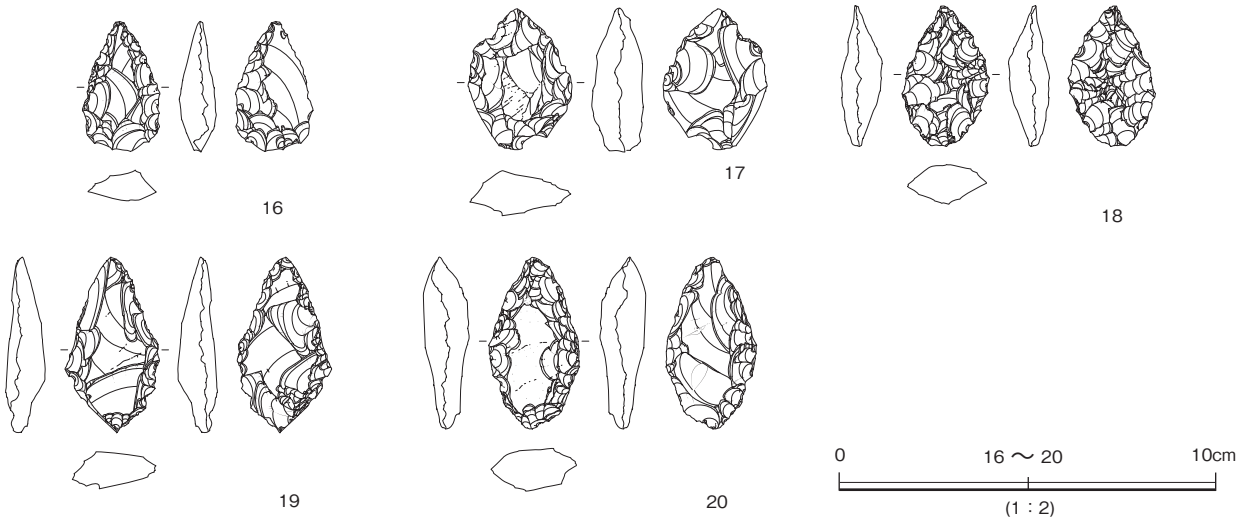


第 59 図　SG 1　上層・下層・SG 1 出土土器

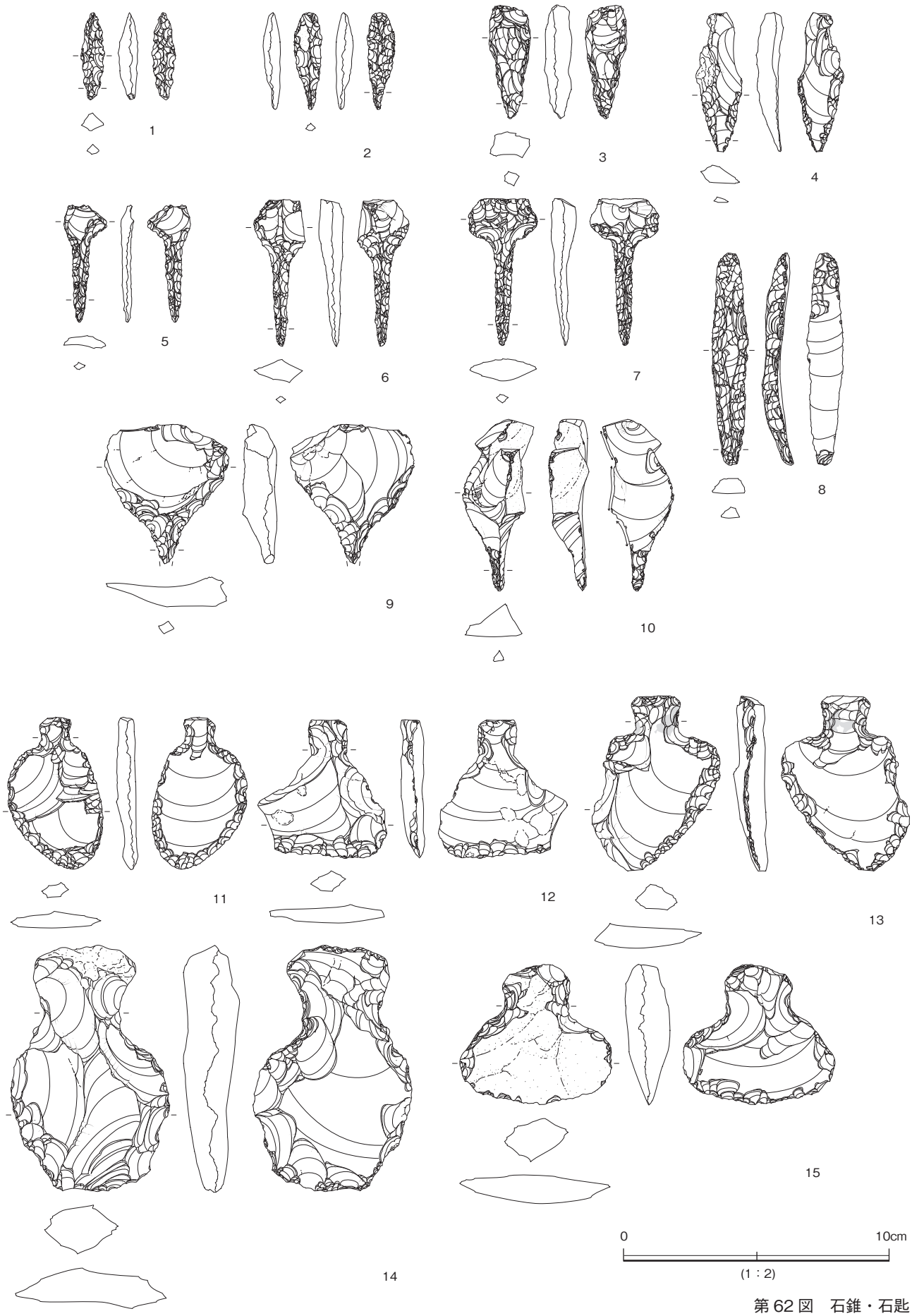


第 60 図　遺構・調査区出土土器


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
0
1～15
5cm
(1：1.5)


16
17
18
19
20
0
16～20
10cm
(1：2)

第 61 図　石鏃・石槍



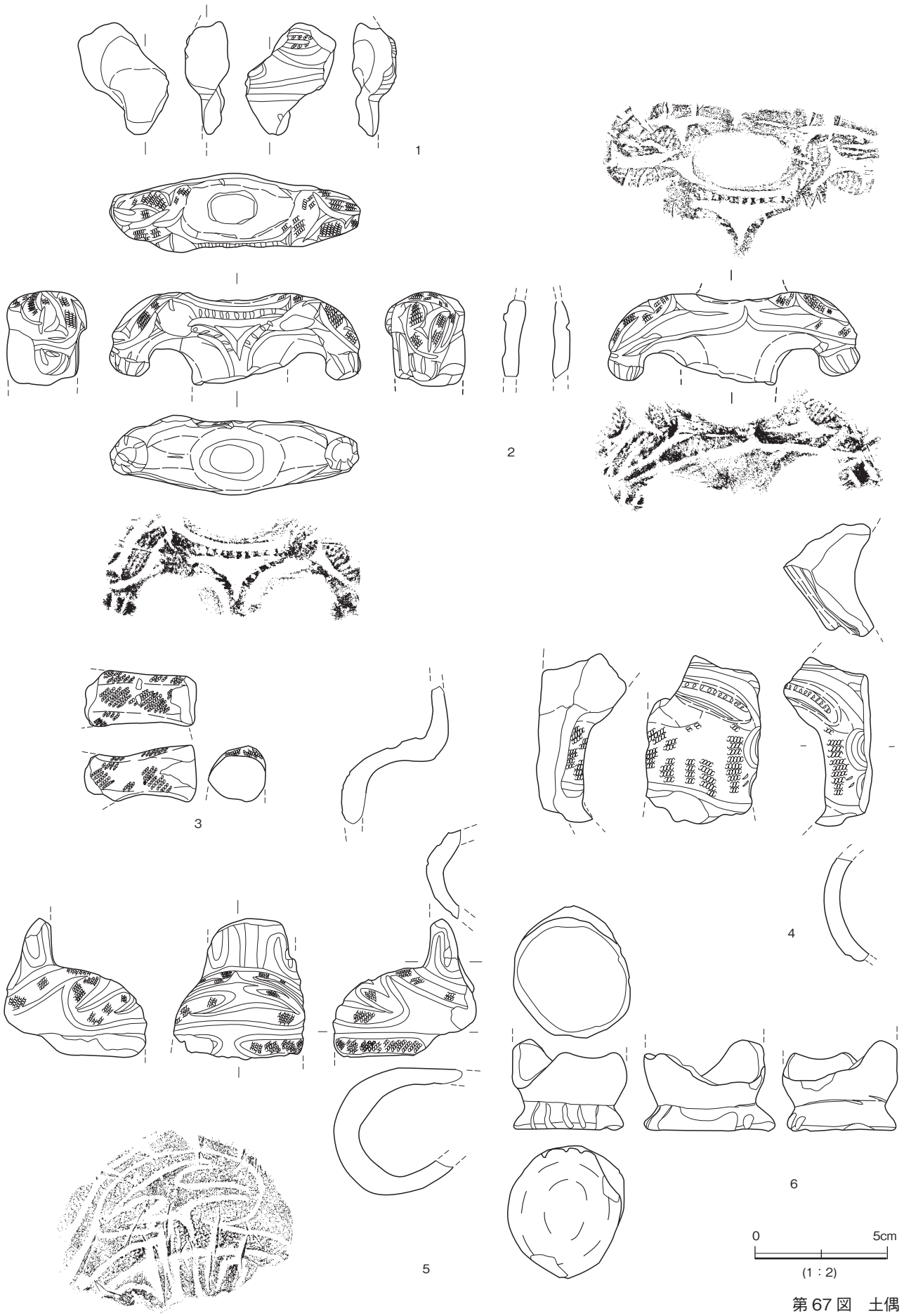
第 62 図　石錐・石匙

第 63 図　石箆・掻器・削器・石核・磨製石斧

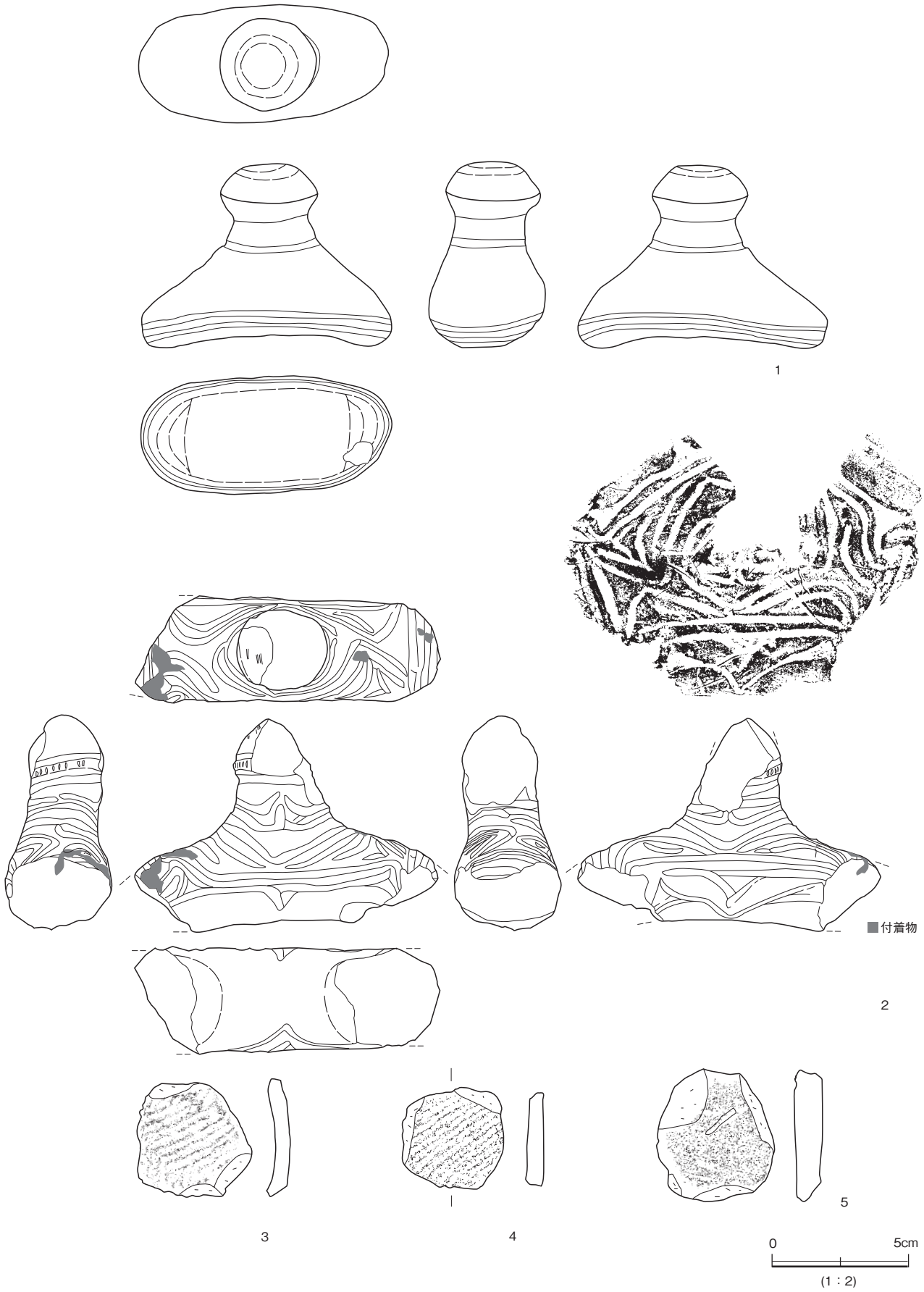
第 64 図　磨製石斧・凹石

第 65 図　磨石・敲石・砥石・石皿

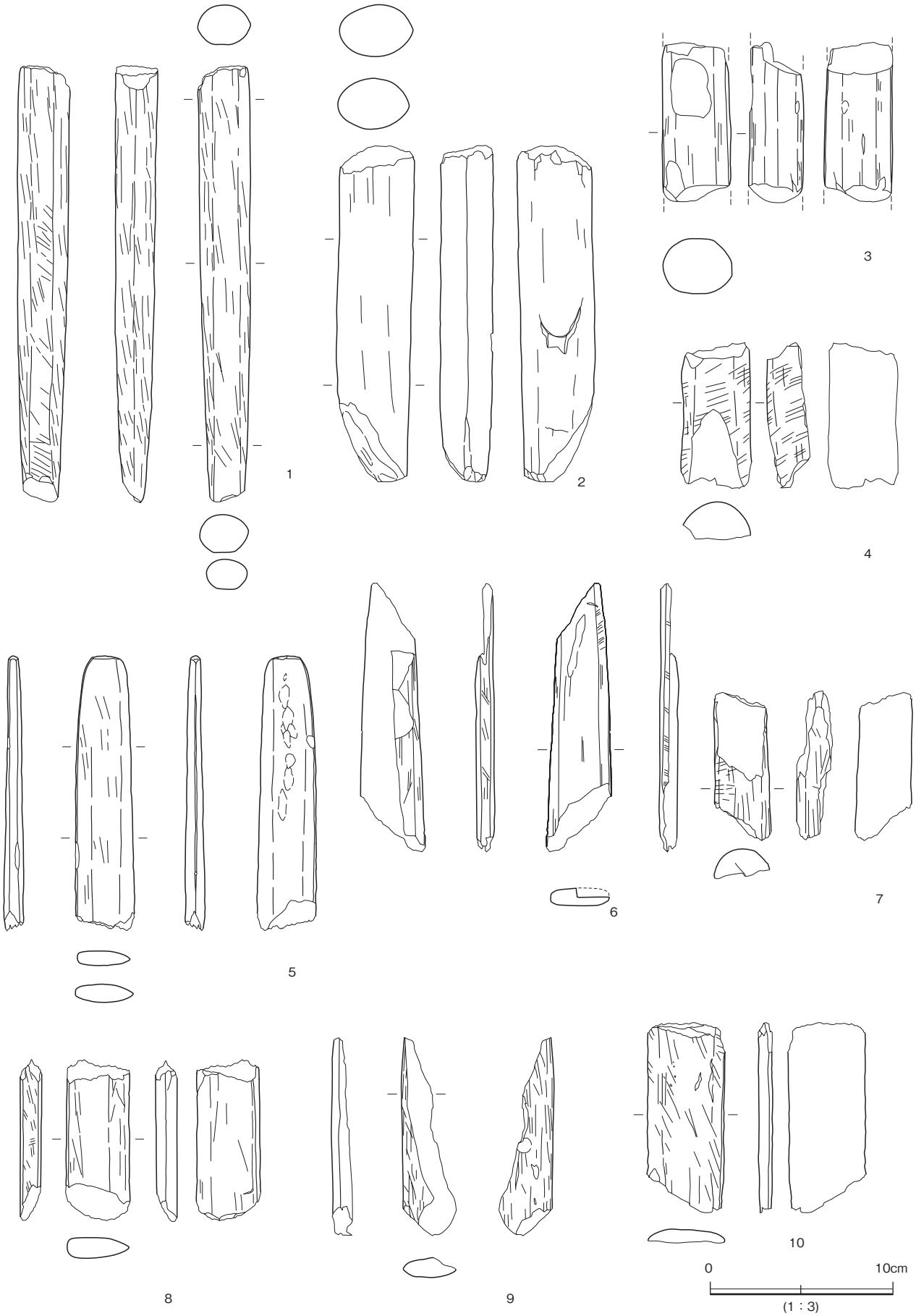
第 66 図　凹石



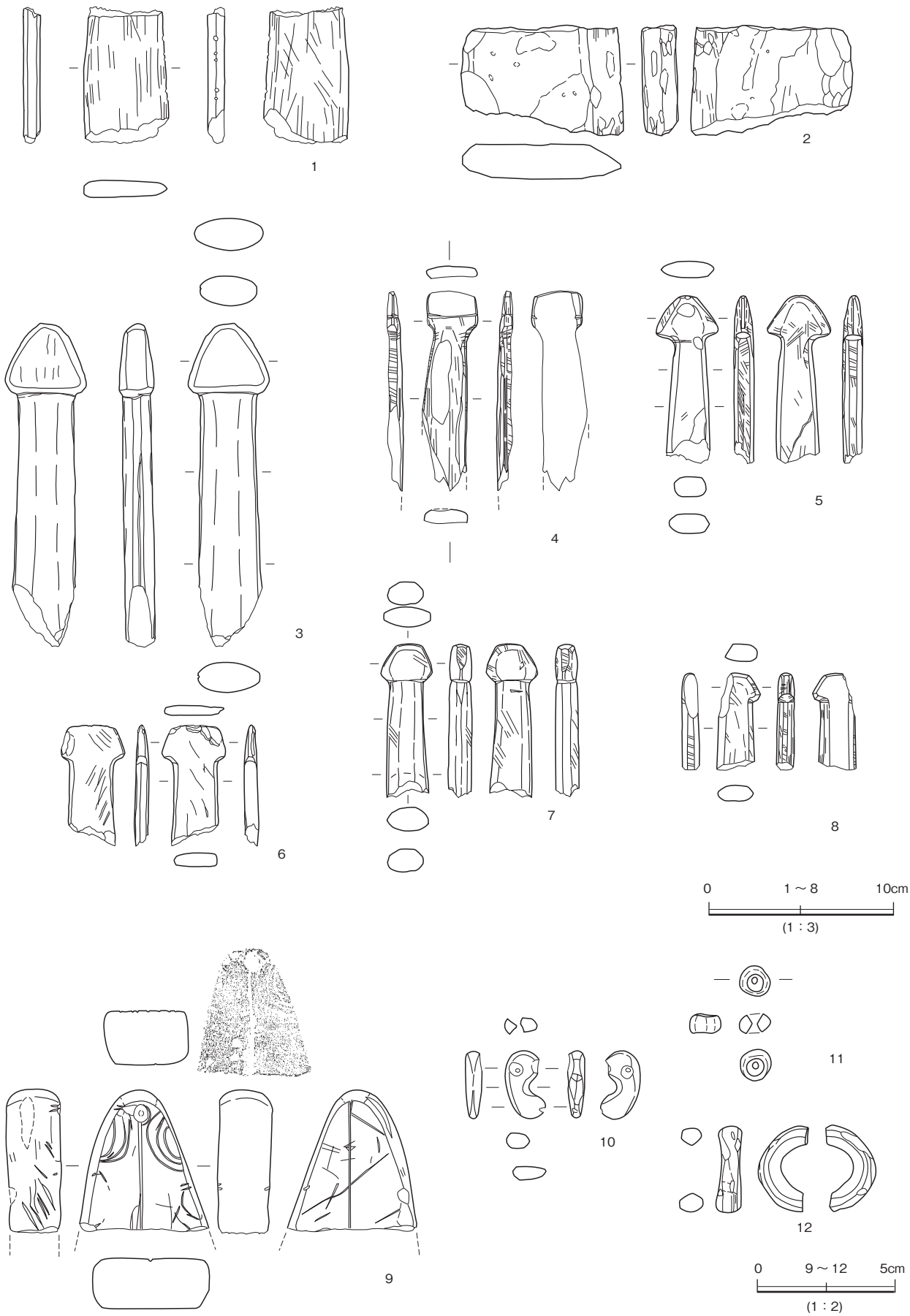
第 67 図　土偶



第 68 図　土冠・円盤状土製品



第69図　石棒・石刀



第 70 図　石刀・石製品・垂飾品

表 12　土器観察表

出土土器図版・観察表凡例

土器の観察表などの基準は、下記の通りである。

・本文中の遺物番号は、遺構挿図、遺物図版の遺物番号に共通し、遺物観察表に列記しており、「○－△」と略記した。
・遺物実測図・拓影図は、原則として土器は 1/3、粗製土器 1/5、石器は、1/1.5、1/2、1/4 を基本として採録し、それぞれにスケールを付した。遺物図版は、任意の縮尺とした。
・拓影図は、原則として、左側から内面・断面・外面を表している。
・表出土位置は、調査区・基本層序・包含層・遺構、グリッド、層位の順に記入した。
・表ブロックは、SG1 河川跡の集中出土ブロック域を表す。
・調査段階での取り上げの不備を防ぐため、上下層で遺物が接合した場合、上層に付した。
・表器種では、「注口」が注口土器、「小型」が小型土器、「多孔」が多孔土器を表す。
・表器種・形式・形態は、出土土器本文中の分類に準じる。「瘤」は瘤付土器Ⅰ～Ⅳ期（後期）を表す。「B・BC・C１・C２・A」は大洞Ｂ～Ａ式期（晩期）を表す。
・残存率は、復元などによる個体中の残存値を表し、小破片は 1/10 とした。
・出土土器観察表中の（　）内の数値は、図上復元による推定値、または残存値を示す。
・表部位・文様・備考では、「口」が口縁、「体」が体部、「底」が底部、「台」が台部と表し、「内」が内面、「外」が外面、「口内」が口縁内側などと表記した。
表備考では、登録番号を付し、特徴を記した。他に「補孔」が補修孔、土器の付着などは、「炭」が炭化物、「朱」が赤彩、「付着」が付着物と表記した。

図	No.		出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
39	1	SG1	DD29NEF1	深鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(320)		(335)	7	口～体	A突刻平	口内沈線	LR・RL（羽）	RP36 口縁上部に沈線 外炭
	2	SG1	EE29SWF1	深鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(279)		(148)	6	口～体	刻目平縁	多条平行沈線（沈線間に刻目）口内沈線	L|RRR	RP38
	3	SG1	東カベF1下	深鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(231)		(107)	5	口	B突刻平	多条平行沈線 口内沈線	LR	RP171 外炭
	4	SG1	東カベ	深鉢	C2	Ⅱ4	1/6	(290)		(182)	6	口～体	平縁	平行沈線	LR・RL（羽）	RP166 外炭
	5	SG1	F3DD29SE	深鉢	C2	Ⅲ4	1/4	(241)		(105)	6.0	口～体	刻目平縁	平行沈線 口内沈線	LR	RP30-1 埋甕
	6	SG1	DD29SE（W）	鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(190)		(54)	5.6	口～体	刻目平縁	平行沈線（刻目）工字状文 口内沈線	LR	内外炭多
	7	SG1	DD29SWF1	鉢	C2	Ⅲ4	1/4	214		(174)	4	口～体	A突波平	平行沈線 口内沈線	結節LR	RP35
	8	SG1	南カベEE30NWF1	浅台	A	Ⅱ5	1/2	(254)	108	138	5.5	口～底	平縁	工字文	LR	RP9・31 台に平行沈線 内面底部に沈線
	9	SG1	DD30NEF1	浅鉢	A	Ⅲ5	1/6	160		(54)	5.3	口～体	平縁	無文（ミガキ）工字文 口内沈線		
	10	SG1	D30NEF1	浅鉢	A	Ⅲ5	1/10			(72)	5.0	口～体	平縁	メガネ状浮文 平行沈線 口内沈線		
	11	SG1	東カベ	浅台	A	5	1/4	(62)		(29)	5	底		無文（ミガキ）工字文平行沈線		RP168-2 内側底部に沈線
	12	SG1	D30NEWカベF1	浅鉢	A	Ⅲ5	1/8			(40)	5.5	口～体	平縁	メガネ状浮文 口内沈線		
40	1	SG1	E29SE	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6	(220)		(59)	4.5	口～体	刻目平縁	メガネ状浮文 磨消縄文 口内沈線	LR	RP140-1
	2	SG1	DD29SWF1	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6	(240)		(46)	5.0	口～体	平縁	メガネ状浮文 磨消縄文 平行沈線 口内沈線	LR	
	3	SG1	EE29SWF1	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/6	(238)		(80)	6.5	口～体	波状	平行沈線 磨消縄文 口内沈線	LR	RP44
	4	SG1	南カベEE30NW	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/8	261		(70)	6	口～体	B突平縁	無文（ミガキ・ナデ）平行沈線 口内沈線		RP2
	5	SG1	EE29SWF1	小型	C2	4	1/2	(81)		(38)	4	口～底	B突刻平	無文（ナデ）平行沈線 口内沈線		浅鉢（台付）RP40-2
	6	SG1	DD29SF1	浅脚	C2	4	1/4	(163)	84	(54.5)	5.2	体～底		無文（ミガキ）平行沈線		
	7	SG1	ＤＤ30ＮＥＦ1	壺	C2	4	1/10			(20)	4.4	体		平行沈線（刻目）工字状文	LR	
	8	SG1	Ｄ30ＮＥＦ1	壺	C2	4	1/10			(28)	4.5	体		方形区画文（沈線）	LR	
	9	SG1	DD30NEF1	壺	C2	4	1/10			(26)	2.3	体		工字状文	LR	
	10	SG1	DD30NEF1	壺	C2	Ⅰ'4	1/6	(144)		(38.5)	6	口	B突刻平	無文（ミガキ）メガネ状浮文 口内沈線		RP33-2 広口壺
	11	SG1	EE29SWF1・DD29SWF2	壺	C2	Ⅰ	1/4	129		(63)	7.5	口	平縁	無文（ナデ）口内沈線 横位沈線		RP46・65
	12	SG1	E29SE東カベ	壺	C2	Ⅰ4	1/6	92		(55)	5	口	平縁	磨消縄文 平行沈線 口内沈線	LR	RP139
	13	SG1	EE29SWF1	蓋	C2	5	1/2	(27)	59	21	4	口～底		多条沈線		RP40-4
	14	SG1	EE29SWF1	注口	C2	Ⅱ4	1/2	122	62	114	5	口～底	B突刻平	工字状文 磨消縄文 口内沈線	LR	RP39 体部中央B突起付
41	1	SG1	EE29SWF1	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/1	155	70	173	6	完形	突起平縁		LRか	RP40 内炭多
	2	SG1	DD30NEF1・DD29SEF1	深鉢	粗製	Ⅲ1	1/2	(221)	76	(261)	6	口～底	平縁	絡条体条痕文		RP32・34 補孔 外炭

図	No.		出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
41	3	SG1	EE29SN	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/6	(360)		(285)	6	口～体	刻目平縁	横位沈線	LRか	RP40-3
	4	SG1	DD29SEF3・DD29SD	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/6	302		(200)	6	口～体	平縁		LR	RP30-2・RP140
	5	SG1	東カベSEカド	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/6	(286)		(228)	8	口～体	平縁	横位沈線	LR	RP168-1
	6	SG1	F3DD29SE	深鉢	粗製	Ⅲ4	1/6	(190)		(51)	8.0	口	小波状		LR	RP30-3
	7	SG1	DD30NEF1・西カベ下層(F3～4Y)	深鉢	粗製	Ⅲ4	1/4	(299)		(177)	0.5	口	平縁		L|RRR	RP32.33 外炭
	8	SG1	東カベ	深鉢	粗製	Ⅲ4	1/6	(303)		(109)	8	口～体	波状	平行沈線	LR	RP169 外炭
	9-1	SG1	E29SE・D29SE(W)F3・RP30すぐ下入子外SG南東カド	深鉢	粗製	Ⅱ4	1/4	(282)		(216)	6	口～体	平縁		LR	RP140-2 外炭
	9-2	SG1	E29SE・D29SE(W)F3・RP30すぐ下入子外SG南東カド	深鉢	粗製	4	1/4		86	(110)	8	底			LR	RP140-2
	10	SG1	西カベ・DD29SWF1	深鉢	粗製	Ⅱ4	1/6	378		(256)	6.3	口～体	平縁		LR	外炭
42	1	SG1	DD29SWF1・DD30NWF2・D29SWF1	深鉢	粗製	Ⅱ1	1/6	(289)		(162)	6.5	口～体	平縁	櫛歯条線文(箆描き)		RP42・54
	2	SG1	東カベ	深鉢	粗製	Ⅱ1	1/10			(179.5)	8.0	口～体	波状	櫛歯条線文(箆描き)		RP167
	3	SG1	EE30NWF1	鉢	粗製	Ⅲ4	1/4	184	68	167	7	口～底	波状	無文	LR	RP33-1 内外炭多 朱
	4	SG1	E29SE	鉢	粗製	Ⅱ4	1/8	(317)		(118)	6.5	口～体	平縁		LR	RP140-3・RP30の内
	5	SG1	中央トレンチEE29SW	深鉢	C2	Ⅲ4	1/2	(202)	(73)	233	7	口～底	B突刻平	口内沈線	LR	RP26 内外炭
	6	SG1	D,EE29SWF2	深鉢	C2	Ⅲ4	1/8	(257)		(74.5)	5	口	A突波平	多条平行沈線 口内沈線	LR	RQ80-2
	7	SG1	D,EE29SWF2	深鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(135)	7.0	口～体	波状	平行沈線 口内沈線	LR	RP75
	8	SG1	DD30NEF2	深鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(46)	4.0	口	刻目平縁	矢羽状沈線 平行沈線	LR	
43	1	SG1	D30NEF2	鉢	A	Ⅲ5	1/6	(117)		(87)	5	口～体	刻目平縁	工字文 口内沈線	LRか	
	2	SG1	DD29SE(W)F2	鉢	Aか	Ⅲ5	1/10			(59.5)	4.0	口～体	平縁	工字状文 平行沈線 口内沈線		
	3	SG1	南東角	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	125	48	112	6.5	口～底	A突波平	平行沈線 口内沈線	LR・RL(羽)	外炭
	4	SG1	DD29NE(E)F2	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	114	47	111	5	口～底	B突刻平	平行沈線 口内沈線	LR	RP62 内外炭多
	5	SG1	DD29SWF2	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	(165)	60	140		口～底	A突波平	口内沈線か	R	RP68
	6	SG1	DD29NEF2中央トレンチ	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	136	54	110	5	口～底	A突刻波	平行沈線 口内沈線	LR	内外炭多
	7	SG1	DD29SW(W)F2	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	(139)		(114)	5.5	口～体	A突波平	口内沈線 工字文(刻目)	LR	RP72-2 外炭
	8	SG1	DD30NEF2	鉢	C2	Ⅲ4	1/6			(79)	5.0	口～体	B突刻平	平行沈線(刻目) 工字状文(刻目) 口内沈線	LR	内炭多
	9	SG1	DE30NWF2	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(28)	5.5	体		矢羽状沈線		
	10	SG1	DE30HWF2	鉢	C2	Ⅱ4	1/10			(58)	5.0	口～体	平縁	メガネ状浮文 多条平行沈線		新潟県青田遺跡に類似か
	11	SG1	D,EE29SWF2	鉢	C2	4	1/10			(59.5)	4.0	体		平行沈線 工字状文		内外炭
	12	SG1	DEE30NW・D29SWF2～F3・D30NW	浅鉢	Aか	Ⅲ5	1/6	(96)		(43)	4	口～体	A・B平	無文 連結入組文		朱
	13	SG1	DEE30NWF2	浅台	C2	5	1/6		88	(39)	6.0	底		連結入組文		
	14	SG1	D,EE30NEF3下・D,EE29SE(W)F2～F3	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/8	279		(50)	6.0	口～体	A突刻平	無文 X字状文 口内沈線		
	15	SG1	南カベDD30NWF2	浅台	A	5	1/6		54	(42)	4	底		無文 工字文		RP11-1・台4単位
	16	SG1	DD29SE・DD30NEF3・中央トレンチ中層から下層・F2	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/2	223		(63)	5.0	口～底	A・B平	平行沈線 無文(ミガキ) 口内沈線		RP28 口縁突起 6単位か
	17	SG1	DE29SWF2	浅鉢	粗製	Ⅱ4	1/2	(230)	60	114.5	8	口～底	突起平縁	無文(ナデ・ミガキ)横位沈線		RP81 4単位か
	18	SG1	DD29SE(W)F2	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6	130	50	46	4.0	口～底	平縁	無文(ナデ・ミガキ) 口内沈線		RP56 小型か
44	1	SG1	DD30NEF2	浅鉢	A	Ⅱ5	1/4	(289)	78	91	5	口～底	B突平縁	無文(ミガキ・ナデ) 工字文 メガネ状浮文 口内沈線		RP71 朱 補孔
	2	SG1	DD29SWF2	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/2	(162)	(56)	(62)	4.3	口～底	平縁	メガネ状浮文 磨消縄文 口内沈線	LR	RP66-1 朱
	3	SG1	D,EE29SWF2	浅鉢	C2	Ⅲ4	1/2	150	50	53	3.5	口～底	B突刻平	磨消縄文 口内沈線	LR	RP76 外炭
	4	SG1	DD29SWF2	浅鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(162)		(61)		口～体	B突刻平	メガネ状浮文 磨消縄文 平行沈線 口内沈線	LR	RP67 44-5と同一か
	5	SG1	F29SWF2	浅鉢	C2	Ⅲ4	1/2	155	37	60.5	4	口～底	B突刻平	平行沈線 メガネ状浮文 磨消縄文 口内沈線	LR	RP94 44-4と同一か
	6	SG1	DD30NWF2・DD30NEF2Y・西カベ	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/2	(182)	62	67	6.0	口～底	A・B平	横位沈線 無文(ナデ) 口内沈線		

図	No.		出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
44	7	SG1	西カベ・DD30NEF2	浅脚	C2	4	1/8			(28)	5.0	底				内面底部に沈線 外面に平行沈線
	8	SG1	DD29SWF2・D、 EE29SWF2	浅台	C2	4	1/4		82	(30)	7.0	体～底		無文 工字状文		RP64
45	1	SG1	D,E29SWF2・D、 EE29SWF2～F3・ F3下	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/10			(40)	4.8	口～体	A突波平	磨消縄文 口内沈線	LR	
	2	SG1	DD29SE(W)F2	浅鉢	C2	4	1/10			(36)	3.6	体		工字状文		内外朱
	3	SG1	DD29SE(W)F2	浅台	C2	4	1/6	96	(152)	(46)	0.4	底		横位沈線 無文(ミガキ)	LR	RP73
	4	SG1	DEE30NEF2～F3・ 下DD29SE(W)	壺	C2	Ⅰ4	1/6			(49)	4.5	体		平行沈線 長方形区画文 (沈線)	LR	
	5	SG1	DD30NEF2	壺	C2	4	1/10			(43)	5	体		工字状文 平行沈線		
	6	SG1	DD29NEF2	壺	C2	4	1/10			(24)	5.7	体		方形区画文(沈線)	LR	
	7	SG1	DD30NWF2	壺	C2	4	1/10			(62)	5.0	体		方形区画文(隆帯・ ミガキ)		
	8	SG1	DD30NEF2	壺	C2	4	1/10			(42)	6.0	体		工字状文	LR	
	9	SG1	D30SWF2	壺	C2	4	1/10			(29)	2.8	体		工字状文	LR	
	10	SG1	DD30NWF2	注口	C2	Ⅱ4	1/6	156		58	5.5	口～体	A・B刻	平行沈線 磨消縄文 口内沈線	LR	RP57 45-13と同一か
	11	SG1	D,EE29SWF2	注口	C2	Ⅱ4	1/6	(94)		(72)	5	口～体	突起平縁	工字状文 磨消縄文 口 内沈線 体中央:刻目文	LR	RQ80-1 朱
	12	SG1	DD29SWF2	注口	C2	Ⅱ4	1/6	(153)		(41)	4	体		刻目文 磨消縄文 平行沈線	LR	RP66-2 朱
	13	SG1		注口	C2	Ⅱ4	1/6			(27)	4.2	体		体:刻目文(突起) 平行沈線	LR	RP57・57-2
	14	SG1	DD30NEF2	注口	粗製	Ⅱ	1/8	(216)		(82)	6	体		横位沈線 貼瘤 帯状文 (突起付)	LR	RP49
	15	SG1	D30NWF2～F3下	注口	C2	4	1/10			(31)	4.0	体		矢羽状沈線		
	16	SG1	D29SE(W)F2	注口	C2	4	1/10			(63)	7.0	体		メガネ状浮文(刻目) 磨 消縄文	LR	注口か 内外炭
	17	SG1	DD30NWF2・ DD29SE(W)F2	小型	C2	4	1/4	110	50	44	5	口～底	平縁	横位沈線 無文(ケズリ) 口内沈線		RP57
	18	SG1	DD30NEF2	小型	C2	4	1/6	(75)	30	29.5	4.3	口～底	平縁か	無文(ナデ)横位沈線 口内沈線		浅鉢(脚付)の形 態
	19	SG1	DE29SWF2～F3	小型	C2	4	1/2	85	17	30	5.5	口～底	平縁	無文(ナデ)		丸底
46	1	SG1	DD29SE(W)F2・ DD30NWF2	深鉢	C2	Ⅲ4	1/2	(364)		(385)	7	口～体	波状	平行沈線	L|RRR か	RP55・57・92 底 部別有り 外炭
	2	SG1	南カベEE30NWF2	深鉢	粗製	Ⅲ4	1/4	286		(26.4)	6.2	口～体	平縁		LRか	RP10 外炭
	3	SG1	D30NEF2	深鉢	粗製	Ⅲ1	1/6	(293)		(168)	7.0	口～体	平縁	絡条体条痕文 ←	結節LR	RP58 外炭
	4	SG1	DD29SWF2・D、 EE29SWF2	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/4	196		(83.5)	7.0	口～体	波状	横位沈線	LR	RP64 補孔
	5	SG1	DD29SEF1	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/4	(282)		(140)	6.5	口～体	波状	横位沈線	LR・RL (羽)	RP34 外炭
	6	SG1	DD29SE(W)F2	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/6	(308)		(96)	5.5	口～体	波状	横位沈線	LRか	
47	1	SG1	DD30NE・ DD30NWF2	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/6	(432)		(210)	8.0	口～体	平縁		L	RP162
	2	SG1	D,EE29SWF2・ EE30SWF2	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/6	(260)		(167)	6	口～体	平縁		LR	RP77
	3	SG1	D29SE(W)F2	深鉢	粗製	Ⅲ4	1/4	(320)		(144)	6.0	口～体	平縁	無文(ナデ)		RP55-2
	4	SG1	F29SWF2・ DEE29SW	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/6	(260)		(164)	5.5	口～体	平縁		LR・RL (羽)	RP94-2 外炭
	5	SG1	EE29SE南東カドF2	深鉢	粗製	Ⅱ3	1/10			(40)	6.4	口～体	平縁		網目状 撚糸	
	6	SG1	DD29SE(W)F2・ E29SE(W)F2	深鉢	粗製	2	1/4	(328)		(139)	10.0	体			LR	RP70・101 内外炭
	7	SG1	DD29SE(W)F2	深鉢	粗製	2	1/8	(210)	(106)	128	8.0	体～底			RLか	RP70
	8	SG1	西カベDD30NE・ DD29SWF2	深鉢	粗製	2	1/4	100		(169)	7.0	体～底			LR・RL (羽)	RP8-2
	9	SG1	D,EE29SWF2	鉢	粗製	Ⅲ2	1/8	(160)		(120)	6.6	口～体	波状		LR	RQ80 外炭
	10	SG1	DD30NWF2	壺	粗製	Ⅰ2	1/4	(110)	82	(310)	8.0	体・底		横位沈線	LR	RP54
	11	SG1	D,EE29SWF2～3	壺	粗製	Ⅰ2	1/4	(117)		(164)	6	口～体	平縁		LR・RL (羽)	RP77-1 外炭
	12	SG1	D,EE29SWF2	壺	粗製	Ⅰ2	1/6	(104)		(47)	6.3	体			RL	
	13	SG1	D,EE29SWF2		後期 か		1/10			(34)	9.3	体		粘土紐貼付		
48	1	SG1	F29SEF3	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	252	70	250	6	口～底	A・B刻	平行沈線(刻み有り) 口内沈線	LR・RL (羽)	RP110・111 内外炭 口4単位
	2	SG1	EE29SW(W)F3	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	(134)		(120)	5.2	口～体	A突波平	工字状文 口内沈線	L|RRR)	内外炭多
	3	SG1	西カベDD30NE	鉢	C2	Ⅲ4	1/6	162		(92)	5	口～体	A突波平	磨消縄文 口内沈線	LR	RP18 内付着
	4	SG1	中央トレンチF3	鉢	C2	Ⅲ4	1/8	(100)		(61)	4.5	口～体	刻目平縁	工字状文 口内沈線	LR	
	5	SG1	DD30NE・EE30NE (W)F3	鉢	C2	Ⅲ4	1/6	220		(133)	6.5	口～体	A突波平	平行沈線 口内沈線	LR	RP90-2・RP5・ RP116 内外炭

図	No.		出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
48	6	SG1	EE30NE(W) F3・DD30NE・ D30NEF3	鉢	C2	Ⅲ4	1/4	194		62.5	43.0	口～体	A突波平	工字状文(刻目) 口内沈線	LR・RL (羽)	RP89-1 内炭 口4単位
	7	SG1	EE30NE(W)F3・ DD30NEF3	鉢	C2	Ⅲ4	1/4	(197)		(100)	5	口～体	B突刻平	工字状文 烈点文 口内沈線	LR	RP90-1 内炭
	8	SG1	DE29SWF3	鉢	C2	Ⅲ4	1/4	194		(83)	7	口～体	A・B刻	平行沈線 口内沈線	LR・RL (羽)	内炭多
	9	SG1	F30NWF3	鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(170)		(112)	4.0	口～体	刻目平縁	多条平行沈線(沈線間 に刻目)口内沈線	LRか	RP83 内外炭
	10	SG1	E29SE(E)F3・ DD29SE	鉢	C2	Ⅲ4	1/6	155		(105)	5	口～体	波状	平行沈線 口内沈線	LR・RL (羽)	RP105 内炭多
	11	SG1	中央トレンチF3	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(71)	6.6	口	平縁	無文(ケズリ) 平行沈線 口内沈線		
49	1	SG1	西カベ・ 南カベ西角下層	浅鉢	Aか	Ⅱ5	1/6	(205)		(53)	5.5	口～体	B突平縁	無文(ナデ) 入組連結文 口内沈線		接合破片に 南西角F3を含む
	2	SG1	E30NEF3・DD30	浅鉢	Aか	Ⅲ5	1/10			(43)	5.5	口～体	B突平縁	無文工字文 口内沈線		RP85-2
	3	SG1	南カベEE30NW	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/4	176	62	54	4	口～底	平縁	C字状文 平行沈線 口内沈線		RP12
	4	SG1	DD29SE(W)F3下	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/2	250	76	76	4.5	口～底	A・B平	横位沈線 弧状沈線 無文(ミガキ) 口内沈線		RP113 補孔2 口4単位
	5	SG1	D,E29SWF3・ DD30NWF3～F3 下・DD29SWF2～ F3・DD30NE	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/4	(201)		(80)	6	口～体	B突刻平	無文(ミガキ)メガネ状 浮文 平行沈線		RP97・122-1
	6	SG1	SカベSWカド・Sカ ベトレンチF3～F3 下	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6	(410)		(73)	6.9	口～体	A突刻平	平行沈線 メガネ状浮文 口内沈線(刻目)		大型品
	7	SG1	E29SE(W)F3・ DD29SE	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/6	(250)		(75)	4	体	平縁	磨消縄文 工字状文	LR	RP99
	8	SG1	D30NEF3	鉢	C2	Ⅱ4	1/10			(63)	5.3	口～体	刻目平縁	メガネ状浮文 工字状文 口内沈線		
	9	SG1	D,EE30NWF3	浅鉢	C2	Ⅱ2	1/8	(346)		(70)	6.6	口～体	A・B平	平行沈線 口内沈線	Lか	
	10	SG1	E29SWF3・ DD30NE	壺	C2	Ⅰ4	1/6	92		(56)	7.2	口～体	平縁	頸部無文(ミガキ) 口内沈線	LRか	RP97-1
	11	SG1	E30NEF3・DD30	壺	C2	4	1/4	(86)		(52)	4	体		工字状文	LR	RP86-1 外炭
	12	SG1	中央トレンチF3	壺	C2	5	1/10			(43)	3.7	体		無文　入組連結文		破片に朱
	13	SG1	E29SE(W)F3・ DD29SE	壺	C2	Ⅱ7	1/6	(62)		(85)	4.5	体		無文(ミガキ)		RP100
	14	SG1	EE30NE(W) F3・DD30NE・ D30NEF3	蓋	C2	5	1/4	155	84	34	4	口～底		無文 多条平行沈線		RP89-2
	15	SG1	DD30NEF3	注口	C2	Ⅱ5	1/6	(292)		(72)	5.0	体			結節LR	朱
	16	SG1	D、E29SWF3・ DD30NE	小型	C2	5	1/8	(107)		(29)	4	口～体	平縁	入組連結文 口内沈線		RP97-3 朱
50	1	SG1	DD29SE(W)F2・ EE30NE(W)F3	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/2	(324)	(97)	406	6	口～底	平縁		LR	RP72・88
	2	SG1	D,E29SWF3・ DD29SE	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/2	(230)	(95)	340	7.5	口～底	平縁		LR	RP73・98-1・122 外炭
	3	SG1		深鉢	C2	Ⅲ4	1/8			(132)	8.0	口～体	刻目平縁	横位沈線 口内沈線	LR	RP101 外炭
	4	SG1	西カベDD30NE	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/6	(310)		(212)	7.5	口～体	平縁		LR	RP5 外炭
	5	SG1	EE30NE(W) F3・DD30NE・ D30NEF3	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/6	(276)		(240)	7	口～体	波状	横位沈線	LR	RP90-1 外炭
	6	SG1	DD30NWF2・ EE30NEF3・ DD30F3	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/2	(332)	90	354	6	口～底	平縁		LR	RP59・84 外炭
	7	SG1	D,E29SWF3・ DD29SE・ E29SE(W)	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/8	(364)		(56)	7.5	口	波状	横位沈線	LR	RP98
	8	SG1	E30NEF3・DD30・ 南カベEE30NW下 層下(F3下)	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/6	363		(284)	7	口～体	平縁		LR	RP85-1 外炭
	9	SG1	西カベDD30NE	深鉢	粗製	2	1/8	(143)	54	(100)	5.5	体～底			LR	RP16 漆 朱
	10	SG1	DD30NEF3	深鉢	粗製		1/10	(108)		(15)	8.0	底		底:平行沈線		
51	1-1	SG1	E30NEF3・DD30	深鉢	粗製	2	1/4	(165)		(325)	7	体			LR	RP86-2
	1-2	SG1	E30NEF3・DD30	深鉢	粗製	2	1/4		(98)	(146)	7	体～底			LR	RP86-2
	2	SG1	EE29SDF3下・SX13	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/10		(255)		7	口～体	平縁	平行沈線	結節LR	RP110 外炭
	3	SG1	DD30NWF3～F3下	深鉢	粗製	3	1/10			(87)	6.0	体			網目状 撚糸	
	4	SG1	EE30NE(W)F3・ DD29SE	壺	粗製	Ⅰ2	1/4		72	(194)	7	口～底	平縁		Lか	RP87
	5	SG1	西カベDD30NE	壺	粗製	2	1/4	(182)	60	(126)	7	体～底			RL	RP6 外付着

図	No.		出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
51	6	SG1	E29SE(E) F3DD29SE	壺	粗製	2	1/6	(156)		(137)	5	体			RL	RP103 内外朱 外炭
	7	SG1	E29SE(W)F3・ DD30NE	小型	粗製	4	1/2	44	38	76.5	5	口～底	平縁	無文(ケズリ・ナデ) 横位沈線		RP93 頸部に溝 体部に縦筋
	8	SG1	D,E29SWF3・ DD30NE	小型	粗製		1/4	43		(53)	3.5	口～体	平縁	無文(ナデ)		RP97-2 内外朱
	9	SG1	DE29SWF2～F3 下・F3下	深鉢	C2	Ⅲ2	1/6	242		(208)	6.5	口～体	刻目平縁	横位沈線 口内沈線	LR	補孔 外炭
	10	SG1	DD29SEF3下	深鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(174)		(150)	5.0	口～体	刻目平縁	平行沈線 口内沈線	LR	内炭多
	11	SG1	E30NEF3下	深鉢	C2	Ⅲ4	1/8	400		(85)	5.7	口～体	波状	平行沈線 口内沈線	RL・LR (羽)	RP123
	12	SG1	E29SWF3下	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/4	(335)		(290)	7	口～体	波状		L|RRR	RP129-2 外炭
	13	SG1	D,EE29SWF3下	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/2	(301)		(167)	5.5	口～体	平縁		LR・RL (羽)	RP129-1・RP154 (接) 内外炭
52	1	SG1	D29SE(W)F3下・ F2・F3	深鉢	C2	Ⅲ2	1/6	263		(162)	7.5	口～体	波状	横位沈線 口内沈線	LR	RP118-1 外炭
	2	SG1	DD29SE(W)F3～ F4	深鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(164)		(106)	5	口～体	B突刻平	多条平行沈線 口内沈線	LR	外炭多
	3	SG1	E29SWF3下	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	132	51	111	5.8	口～底	A突波平	平行沈線 口内沈線	LR	RP120・128
	4	SG1	D30NWF3下	鉢	C2	Ⅲ4	1/1	181	74	156	6	完形	突起平縁	平行沈線 口内沈線	LR・RL (羽)	RP122 内外炭多 口10単位か
	5	SG1	D,EE29SWF3下・ DE30NWF3下	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	181	52	139	0.8	口～底	B突刻平	口内沈線	LR・RL (羽)	外炭多
	6	SG1	EE29SWF3下	鉢	C2	Ⅲ4	1/6	108		(39)	5.5	口	A・B平	平行沈線 口内沈線	LR	RP115
	7	SG1	E30NEF3下	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	129	52	121	4.5	口～底	刻目平縁	平行沈線 口内沈線	LR	RP116 内外炭多
	8	SG1	南カベEE30NW・ F3下・DD29SE(W) F3～F4南カベトレ ンチ	鉢	C2	Ⅲ4	1/4	(209)		(112.5)	6	口～体	B突刻平	メガネ状浮文 平行沈線 口内沈線	LR(縦)	RP17
	9	SG1	F3下Y・DD30NEF3 下	鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(166)		(78)	6.5	口～体	A突刻平	多条平行沈線 口内沈線	LR	RP135 外炭
	10	SG1	F3下・EE30	鉢	C2	Ⅲ4	1/4	178		(82)	5	口～体	刻目平縁	刻目文(スキマ) 平行沈 線(幅広) 口内沈線	RL	RP134 内外炭
	11	SG1	DE29SWF3下	鉢	C2	Ⅲ4	1/8			(39)	9.0	口～体	A・B刻	烈点文 平行沈線 磨消縄 文 体:B突起 口内沈線	LR	
	12	SG1	DD29SE(W)F3下	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(54)	4.2	口～体	B突刻平	工字状文 口内沈線		内外炭
	13	SG1	D,EE30NWF3下	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(80)	4.5	口～体	A突波平	工字状文(刻目) 口内沈線	LR・RL (羽)	内外炭
	14	SG1	D,E29SWF3赤砂	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(34)	3.0	口	刻目平縁	多条平行沈線(刻目) 口内沈線	LR	内外炭
	15	SG1	E29SEF3下	鉢	C2	4	1/10			(44)	4.5	体		磨消縄文	LR	
	16	SG1	南カベEE30NW・ EE29SW	鉢	C2	4	1/8	(114)	52	(56)	0.4	体～底		横位沈線	LR	朱か 煤か RP13-2
53	1	SG1	南カベEE30NW	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/2	(197)	70	80	7.3	口～底	波状	平行沈線 口内沈線	LR	RP13 外炭
	2	SG1	D30NWF3下	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/2	144	32	36	4.5	口～底	波状	口内沈線	RL	RP122 内面底 部に沈線
	3	SG1	DEE29SWF3下	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6	(130)		(42)	4.5	口～体	刻目平縁	メガネ状浮文 平行沈線 口内沈線	LR	
	4	SG1	DE39SW	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/4	(86)		(29)	5	口～体	B突平縁	磨消縄文 平行沈線 口内沈線	LR	
	5	SG1	EE29SEF3下	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/2	265	70	64.5	4.5	口～底	刻目平縁	入組沈線文 磨消縄文 口内沈線	RL	
	6	SG1	DEE29SWF～F3下	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6	(160)		(72)	5.0	口～体	平縁	メガネ状浮文 平行沈線 口内沈線	LR	朱 外付着
	7	SG1	D30NWF3下	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6	(220)		(65)	4.5	口～体	平縁	メガネ状浮文 平行沈線 磨消縄文 口内沈線	LR	RP122周辺
	8	SG1	EE29SEF3下	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/2	(288)	(62)	(118)	4	口～底	刻目平縁	メガネ状浮文 平行沈線 磨消縄文 口内沈線	LR	
	9	SG1	D,EE29SWF3下	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/10			(49)	6.0	口～体	B突平縁	平行沈線 無文(ミガキ) 口内沈線		C1～C2 内外炭
54	1	SG1	南カベEE30NW	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/2	(332)	(90)	132	6	口～底	刻目突平	横位沈線 口内沈線	LR	RP17
	2	SG1	DD30NW	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6					口～体	平縁	弧線文 横位沈線 磨消縄文	RL	
	3	SG1	DE29SW南カベト レンチF3～F3下・S カベ下層カクラン XO	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/4	280		83	9.0	口～底	A突平縁	無文(ミガキ) 平行沈線 口内沈線		
	4	SG1	E30F3下直	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/6	(280)		(64)	5.5	口～体	A・B平	平行沈線 口内沈線	LR	
	5	SG1	E29SEF3下・Sカベ カクラン	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/6	(394)		(119)	5.0	口～体	B突刻平	入組沈線文 平行沈線 無文(ミガキ) 口内沈線		大型品 外付着
55	1	SG1	D,EE30NE・ D,EE29SE(W)F3下	壺	C2	Ⅰ4	1/2	(200)		218		口～底	平縁	口内沈線 頸部無文(ミ ガキ)	LR	
	2	SG1	Sカベ中央F3下・南 カベ下R	壺	C2	Ⅰ4	1/6	(76)		(82)	4.0	口～体	A突波平	横位沈線 口内沈線	RL	

図	No.		出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
55	3	SG1	DD29SEF3下・D30NW	壺	C2	Ⅰ4	1/6	(88)		(41)	3.3	口	A突波平	無文(ミガキ) 口内沈線		
	4	SG1	D,EE30NWF3下	壺	C2	Ⅰ4	1/6	(102)		(50)	5.5	口	平縁	無文(ミガキ) 口内沈線		広口壺
	5	SG1	D30NEF3下	壺	C2	4	1/10			(26)	3.0	体		平行沈線 磨消縄文	LR	
	6	SG1	D29SE(W)F3下	壺	C2	4	1/10			(36)	5.2	体				RP118-1 方形区画文(隆帯)ミガキ
	7	SG1	D,EE30NWF3下	壺	C2	4	1/6	(106)		(45)	0.4	底		平行沈線	LR	
	8	SG1	E29SEF3下	壺	C2	4	1/6	(385)		(125)	7.0	体		磨消縄文 入組文 C字状文 無文(ミガキ)	LR	RP30西下と接合
	9	SG1	DEE29SWF3下	注口	C2	4	1/6	(176)		(37)	6.0	体		平行沈線 磨消縄文 体部中央:B突起付刻目	LR	C1～C2
	10	SG1	DE30NEF3下・西カベ	注口	C2	4	1/6	(141)		(35)	20.0	注口部		工字状文 体部中央:刻目文(突起)	LR	
	11	SG1	D,EE29SWF3下・EE30SWF3下	注口	C2	4	1/2	179	42	61	4.5	体～底		磨消縄文	LR	朱 体部B突起付
	12	SG1	南カベEE30NW・西カベDD30NE・D,E30NEF3	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/2	(306)		(219)	8.5	口～体	平縁	平行沈線	L|RRR	RP13・19・126 内外炭
	13	SG1	D29SE(W)F3下	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/2	264	80	298	7.0	口～底	平縁		結節LR	RP118-3 外炭
	14	SG1	D30NEF3下の上・DD29SWF2～F3・DEE30NEF3	深鉢	粗製	Ⅲ4	1/6	230		(145)	8.0	口～体	波状	横位沈線	LR	RP131
56	1	SG1	E30NEF3下	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/6	(348)		(165)	7.5	口～体	波状		LR・RL (羽)	RP123
	2	SG1	F3下～F5	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/4	239		(156)	7.0	口～体	波状		LR	RP133-1 外炭
	3	SG1	D30・DD30NWF3～F3下	深鉢	粗製	Ⅱ2	1/6	(342)		(167)	7.0	口～体	平縁		結節LR	RP127・127-2 外炭
	4	SG1	D30NWF3下・E29SE(W)F2	C2	粗製	Ⅲ2	1/8			(87)	6	口	波状	横位沈線 口内沈線	LR	RP122-3
	5	SG1	D,EE30NEF3下	深鉢	粗製	Ⅲ2	1/10			(78)	9.5	口～体	A突波平	多条平行沈線	疑似縄文か	浅鉢か
	6	SG1	西カベ	深鉢	粗製	2	1/8		100	(84)	9.5	底			RL	RP174
	7	SG1	E30NEF3下	鉢	粗製	Ⅲ2	1/6	180		113	5	口～体	波状		LR	RP126 内外炭多
	8	SG1	D30NEF3下	鉢	粗製	Ⅲ2	1/2	125		109	4	口～体	平縁		LR	RP119
	9	SG1	D,EE30NWF3下	鉢	粗製	Ⅲ2	1/6	164		91	5	口～体	刻目平縁		L	
	10	SG1	DEE30NEF3下	鉢	粗製	2	1/4	(119)	46	75	5	体～底			LR	内外炭多
	11	SG1	D30・D,EE30NE	壺	粗製	2	1/4	(174)	64	(182)	6.0	体～底			RL	RP127 外炭
	12	SG1	D,EE30NWF3下	小型	C2	4	1/6	(79)	54	(55.5)	5.5	底～体		無文(ナデ)		
	13	SG1	D,EE30NWF3下	小型	C2	4	1/2	(66)	34	61	6.0	口～底	平縁	無文(ナデ)		内面に漆と朱
	14	SG1	F3下～F5	深鉢	粗製	2	1/2	(121)	54	(96)	0.5	底			RL	RP133-2 内外炭多
57	1	SG1	DD30NE	深鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(303)		(188)	6.5	口～体	B突刻平	平行沈線 口内沈線	LR・RL (羽)	RP162 外炭
	2	SG1	D29SE(W)F4	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	(159)	60	140		口～底	波状	平行沈線 口内沈線	LR・RL (羽)	RP142 内外炭多 口10単位
	3	SG1	DD29SE	鉢	C2	Ⅲ4	1/4	179		(93)	5	口～体	A突波平	平行沈線 メガネ状浮文か 口内沈線	RL	RP151-2
	4	SG1	EE29WE・DE29SW	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	95	43.5	94	5	口～底	刻目平縁	平行沈線 口内沈線	LR・RL (羽)	RP153
	5	SG1	D,E29SWF4	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(33)	3.0	口	刻目平縁	メガネ状浮文 磨消縄文 口内沈線　貼瘤	LR	内外炭
	6	SG1	EE29SW	鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(171)		(81)	6.0	口～体	A・B刻	平行沈線 メガネ状浮文 磨消縄文 口内沈線	LR	RP155 内外炭多
	7	SG1	D30NF4	鉢	C2	Ⅲ4	1/4	(110)		(65)	5	口～体	突・B刻	メガネ状浮文 口内沈線 平行沈線 磨消縄文	LR	
	8	SG1	DD30NE	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(44)	4.3	口	刻目平縁	平行沈線 口内沈線	LR	RP148-2 外炭
	9	SG1	DE29SWF4	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(86)	5.35	口～体	B突平縁	平行沈線(刻目) 口内沈線	LR・RL (羽)	内外炭
	10	SG1	DE29SWF4	鉢	C2	Ⅲ4	1/8			(48)	4	口～体	B突平縁	磨消縄文	LR	
	11	SG1	DE29SWF4	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(39)	5.5	口～体	刻目平縁	多条平行沈線 口内沈線	RL	内外炭
	12	SG1	D29SE(W)F4	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(44)	4.6	口～体	刻目平縁	平行沈線 口内沈線	RL	外炭
	13	SG1	D,E29SWF4	鉢	C2	4	1/10			(38)	5.0	体		平行沈線 磨消縄文	LR	
	14	SG1	DD29SE	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/2	(358)	121	(132)	7	体～底		無文 工字状文 平行沈線		RP150
	15	SG1	EE29SWF4	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/10			(45)	6.0	口～体	刻目平縁	磨消縄文 口内沈線	LR	
	16	SG1	D29SE(W)F4・DD29SE(W)F3下	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/10			(65)	5.65	口～体	B突刻平	磨消縄文 口内沈線	LR	RP142 C1～C2
	17	SG1	D29SE(W)F4	深鉢	B		1/10			(44)	3.7	口	波状	入組文 三叉文	LR	
	18	SG1	東カベF4'の下(最古)カベ崩落土	浅鉢	C2	Ⅰ4	1/8			(15.5)	5.0	体		入組沈線文 底:内に沈線		
58	1	SG1	DD29SE	深鉢	粗製		1/6	(352)		(225)	7.0	体			LR	RP151 外炭

図	No.		出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
	2	SG1	DE29SWF4	深鉢	粗製	Ⅱ	1/10			(134)	7.5	口～体	刻目平縁		LR・RL(羽)	
	3	SG1	DD29SE	深鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(93)	6.0	口～体	波状	平行沈線	LR・RL(羽)	RP151-3
	4	SG1	DD30NE・D29SE(W)	深鉢	粗製	2	1/8	(150)	98	(50.5)	9.5	底			LR	RP147 網代
	5	SG1	E30NE・DD30NE	深鉢	粗製	2	1/10			(230)	9.5	体			結節LR	RP146 内外炭
	6	SG1		深鉢	粗製	2	1/4	(272)	80	(193)	7.5	底～体			RL	RP161
	7	SG1	EE29SWF4	深鉢	粗製	2	1/4	(196)	67	(116)	0.5	底			LR	RP158
	8	SG1	EE29SW	鉢	粗製	Ⅲ4	1/4	184	64	141	7.3	口～底	平縁	無文(ナデ)		RP158 内朱外炭
58	9	SG1	D,E29SWF・E29F4Y	鉢	粗製	Ⅲ2	1/4	(134)	49	114.5	6	口～底	平縁		LR・RL(羽)	内外炭多
	10	SG1	EE2EE29SW・E29F4Y	鉢	粗製	Ⅲ4	1/2	161		(125)	8.0	口～体	平縁	無文(ナデ) 横位沈線		RP153・154・165
	11	SG1	D29SE(W)F4	鉢	粗製	2	1/8	(118)		(69)	3.7	体			LR	漆
	12	SG1	DD30NE・E29SE	鉢	粗製	3	1/2	(107)	48	(65)	4.6	底～体			網目状撚糸	RP148・149 内外炭
	13	SG1	EE29SW	壺	粗製	Ⅰ2	1/6	(121)		(128)	6	体			LR・RL(羽)	頸部沈線RP152 内外炭多
	14	SG1	D29SE(W)F3下～F4・DD30NE	壺	粗製	Ⅰ2	1/2	96	65	198	5	口～体	平縁		LR	RP143・148
	15	SG1	F4	注口	後期	4	1/10			(36)		体			円文貼付	RP162
	1	SG1	上層	深鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(42)	7.5	口	平縁	工字状文 平行沈線 口内沈線		
	2	SG1	中央トレンチ中から下層	深鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(28)	6.5	口	A突刻平	口内沈線	LR	補孔
	3	SG1	西カベ下層一括	深鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(115)	6.0	口～体	波状	横位沈線 口内沈線	LR	
	4	SG1	中央トレンチ下層	浅鉢	A	Ⅰ5	1/6	(160)	(52)	53	4.0	口～底	平縁	工字文 口内沈線		朱
	5	SG1	中央トレンチ中から下層	浅脚	C2～A	4	1/6			(30)	4.0	底		平行沈線		
	6	SG1	南カベ下層上	浅鉢	A	Ⅱ4	1/6	(140)		(28)	3.0	口	A・B平	無文(ナデ) 口内沈線		
	7	SG1	西カベ下層	浅鉢	C2	Ⅰ2	1/10			(26)	4.0	口	B突平縁	烈点文 平行沈線 口内沈線(刻目)	LR	
	8	SG1	南カベ下層	深鉢	C2	Ⅱ4	1/10			(57)	5.5	口	波状		LR	補孔
	9	SG1	中央トレンチ	深鉢	B	Ⅱ1	1/10			(42)	7.0	口	突起平縁	三叉文	LR	
	10	SG1		深鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(43)	6.8	口～体	波状	多条平行沈線 口内沈線		
	11	SG1	中央トレンチ中から下層	鉢	C2	Ⅲ4	1/6	(165)		(50)	5	口	波状	工字状文(刻目) 口内沈線	LR	
	12	SG1	Wカベ	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(32)	5.6	口～体	B突平縁	多条平行沈線(突起付)		
59	13	SG1	Sカベカクラン	鉢	C2	Ⅲ4	1/2	(132)	(48)	104	4.5	口～体	B突刻平	横位沈線 口内沈線	LR・RL(羽)	内外炭
	14	SG1		浅鉢	A	5	1/10			(29)	3.0	体		多条平行沈線		
	15	SG1		浅鉢	C2	3	1/10			(60)	6.0	体		磨消縄文	LR	
	16	SG1	中央トレンチ	深鉢	後期		1/10			(42)	6.5	体		平行沈線(貼瘤)		瘤Ⅱ～Ⅲ
	17	SG1		注口	C2	Ⅱ4	1/10			(35)	4.7	体		磨消縄文 体部中央:刻目文	LR	朱
	18	SG1	SカベXO	小型	C2	4	1/4	(40)	35	(50)	4.5	口・底	平縁			同一個体か
	19	SG1		小型	C2	4	1/2	82	30	31	5.0	口～底	平縁	口:粘土紐痕 無文(ナデ) 横位沈線		
	20	SG1	SENカベ	深鉢	粗製	3	1/10			(69)	8.0	体			網目状撚糸	
	21	SG1	Wカベ	浅台	粗製		1/8		60	(40)	7.0	体～底				内炭
	22	SG1	Wカベ	浅鉢	粗製	1	1/6	(176)		(22)	6.6	体～底		櫛歯縄文か		
	23	SG1	Sカベ	小型	C2	4	1/4	(58)	32	(33)	5	体～底			RL	朱
	24	SG1	D,E29SWF1	深鉢	中期		1/10			(42)	7.0	体		渦巻隆帯	RL	キャリパー型縄文中期
	25	SG1	北カベ	鉢	BC	Ⅱ2	1/10			(39)	4.5	口～体	刻目平縁	羊歯状文	LRか	補孔
	1		SK2	鉢	B	Ⅱ1	1/10			(43.5)	5.5	口～体	平縁	三叉文 貼瘤 無文(ミガキ)	LR	
	2		SK2	深鉢	後期	Ⅱ2	1/10			(62)	(5.5)	体		入組文(貼瘤)	LR	炭化物
	3		SK2	深鉢	後期か	Ⅱ4	1/10			(41)	5.2	口	刻目突平	磨消縄文 烈点文	LR	
	4		SK2	深鉢	粗製	4	1/10	(114)	64	(42)	8.0	底		無文(ナデ)		RP21
60	5		SP3	深鉢	後期	Ⅰ1	1/10			(61)	7	体		帯状文 貼瘤(縦長) 弧線文		
	6	SG1	SD5・DE29SWF3	浅鉢	A	Ⅰ5	1/6	(196)		(47)	5.1	口～体	平縁	平行沈線 工字文 メガネ状浮文 口内沈線		RP24
	7		SX7	鉢	C2	Ⅱ4	1/10			(23)	8.0	口	刻目平縁	工字状文 口内沈線		C2～A
	8		SX8	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(41)	4.1	口	A・B平	平行沈線(刻目) 口内沈線	LR	外炭
	9		SX10	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(41)	5.5	口	平縁	横位沈線 無文(ナデ) 口内沈線		

図	No.	出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
60	10	SX10	浅鉢	C2	Ⅲ5	1/10			(32)	6.4	口	B突平縁	メガネ状浮文 平行沈線 口内沈線		C2～A
	11	SX10	浅鉢	B	Ⅰ1	1/10			(26.5)	5.5	口～体	平縁	入組文 三叉文		
	12	SK12	深鉢	粗製	Ⅱ4	1/6	(290)		(256)	5.5	口～体	平縁		結節LR	外炭
	13	SX13Nカベ	浅鉢	A	Ⅲ4	1/10			(46)	4.8	口～体	B突平縁	磨消縄文 工字状文 口内沈線	LR	
	14	SX14	浅鉢	A	Ⅰ5	1/10			(31)	8.5	口	突起	口:A突起付 工字文		
	15	SP18	深鉢	後期か	Ⅰ3	1/10			(41)	6.5	体		入組沈線文		
	16	SP19	深鉢	粗製	2	1/10			(90)	5.0	体			LR・RL (羽)	
	17	SX21	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(30.5)	6.0	口～体	刻目平縁	平行沈線	RL	
	18	SX27	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(49)	5.05	口～体	波状	平行沈線	RL	
	19	SP32	深鉢	B	Ⅱ1	1/10			(42)	5.5	口～体	波状	弧線文 三叉文		
	20	SP42	深鉢	BC	Ⅱ2	1/10			(75)	5.5	口	刻目平縁	烈点文 平行沈線	LR	内炭
	21	SP48	深鉢	B	1	1/10			(24)	5.0	体		円文(2条)	RL	
	22	SP62	鉢	C2	Ⅲ4	1/10			(37)	5.9	口	波状	平行沈線 口内沈線	LR	C2～A
	23	SK69	深鉢	粗製	4	1/10			(88)	6.0	体			LR	
	24	SK69	深鉢	粗製	Ⅱ4	1/10			(107)	6.8	口～体	平縁		結節LR	
	25	SK69	深鉢	後期	6	1/10			(41)	5.5	口	波状	平行沈線 刻目文		
	26	SP65	壺	平安 (須恵器)		1/10			(36)	7.0	体		外面:タタキ		
	27	表土	高台 付坏	平安 (須恵器)		1/10			(16)	5.5	体～底		内外:ロクロ 底部ヘラ切		
	28	S(南半)	鉢	C2	4	1/10			(115)	7.2	体		平行沈線	LR	
	29	北半	深鉢	後期	Ⅱ5	1/10			(107)	6.0	口～体	突起	三叉文 弧状沈線		
	30	Sカベ下層	小型	C2	4	1/6	(56)	29	(29)	3.0	体～底		平行沈線	LR	

表 13　石器観察表

出土石器観察表の凡例

・表器種・分類は、出土石器の本文中の分類に準拠する。

・観察表中の計測値、長さ・幅は全長ならびに最大幅である。厚さは最大厚を測定した。
但し、石匙は、長さを左右のノッチの最深部を結んだ線に垂線を引き、上端、下端の最も突出する位置から、垂線に平行な線を引き、その距離を計測した。石箆は、石器の軸線を基準として、その全長を長さ、みかけの最大幅を幅とした。掻器・削器は、素材の背面側を表、主要剥離面を裏とし、打点を上位に置いた時の全長を長、最大幅を幅とした。加工痕のある石器は、長さ、幅、厚さとも最大値を測定した。括弧内の数値は残存値を示す。

・表石材については、下記の括弧内のように省略した。
珪質頁岩（珪頁）、黒色頁岩（黒頁）、黄色頁岩（黄頁）、砂岩（砂岩）、凝灰岩（凝灰）、緑色凝灰岩（緑凝）、流紋岩（流紋）、安山岩（安山）、玄武岩（玄武）、花崗岩（花崗）、片岩（片岩）、玉髄（玉髄）、鉄石英（鉄石）、珪岩（珪岩）、瑪瑙（瑪瑙）、黒曜石（黒曜）である。

・表備考は、登録番号（ＲＱ）を付した。土器と供伴したものは、その登録番号（ＲＰ）を付した。他に「アス」は、アスファルトが付着するもの、付着物のあるものは「付着物」と示した。アスファルトなど付着物は、図上でも網掛けなどし、適宜示した。

	種別	分類	出土地区			遺物番号	計測値（mm）			重量(g)	石材	備考	図	No
			出土地点	グリッド	層位		長さ	幅	厚さ					
1	石鏃	Ⅰ	残土				(24.4)	14.3	8.3	2.6	瑪瑙			
2	石鏃	Ⅱa	西カベ(北)				26.0	13.5	6.5	2.0	頁岩		61	9
3	石鏃	Ⅱb	残土				35.0	15.3	6.4	3.0	頁岩			
4	石鏃	Ⅱb	SG1	D･EE29SW	F3下		28.8	19.0	8.3	4.5	玉髄			
5	石鏃	Ⅱb	SG1南カベ				28.6	9.0	4.0	0.9	頁岩		61	10
6	石鏃	Ⅱb	SG1	E29SE	F1か	RQ138	37.2	21.5	6.4	5.5	頁岩			
7	石鏃	Ⅲ	残土				36.2	15.8	11.2	3.6	頁岩	付着物		
8	石鏃	Ⅲ	SG1	D･EE30NE	F3下		34.6	13.6	7.6	3.0	頁岩			
9	石鏃	Ⅳa	残土				29.0	9.0	3.6	0.7	頁岩		61	15
10	石鏃	Ⅳa	残土				(19.7)	8.0	5.0	0.8	頁岩			
11	石鏃	Ⅳa	SG1残土				18.8	9.0	2.4	0.5	頁岩	アス	61	1
12	石鏃	Ⅳa	SG1		F3		29.8	9.9	5.5	1.3	頁岩			
13	石鏃	Ⅳa	SX12				21.7	11.6	5.0	0.9	頁岩		61	2
14	石鏃	Ⅳa	SG1東カベ				23.2	10.9	4.3	1.2	瑪瑙		61	11
15	石鏃	Ⅳa	SG1南カベ				28.4	13.8	4.3	1.6	頁岩		61	12
16	石鏃	Ⅳb	SG1残土				25.2	10.0	3.2	0.5	玉髄		61	4
17	石鏃	Ⅳb	SG1残土				31.4	15.2	8.6	2.3	頁岩			
18	石鏃	Ⅳb	SG1残土				27.6	9.6	4.5	0.7	頁岩		61	6
19	石鏃	Ⅳb	SG1	D･EE29SW	F3下		43.2	16.0	5.2	1.7	瑪瑙		61	13
20	石鏃	Ⅳb	SG1	DD30NE	F3		29.2	10.5	4.0	1.0	頁岩	アス	61	7
21	石鏃	Ⅳb	北半				21.4	13.3	4.6	1.0	瑪瑙			
22	石鏃	Ⅳb	SG1	D･EE29SW		RQ45	27.7	12.0	4.3	0.8	瑪瑙		61	8
23	石鏃	Ⅳb	SG1	D･EE29SW	F1		25.5	13.2	5.8	1.4	頁岩		61	5
24	石鏃	Ⅳb	SG1	DD29SE	F3下Y	RQ132	42.2	15.2	4.0	1.3	頁岩		61	14
25	石鏃	Ⅴ	残土				29.6	13.4	7.0	2.4	頁岩			
26	石鏃	Ⅴ	SG1	DD29SW	F3	RQ107	20.3	13.8	5.4	1.3	頁岩か		61	3
27	石槍	Ⅰa	SG1	D30NE	F4か	RQ144	34.2	20.5	9.2	5.8	頁岩		61	16
28	石槍	Ⅰa	残土				36.2	24.4	9.0	7.0	頁岩			
29	石槍	Ⅰb	SG1	D･EE29SW	F3下		37.0	27.2	13.3	10	瑪瑙	翡翠か	61	17
30	石槍	Ⅰb	X-O				37.0	23.0	11.5	7.7	緑凝		61	18
31	石槍	Ⅰb	SG1	E29SW	F3	PP128	28.6	22.9	7.0	4.9	玉髄			
32	石槍	Ⅱ	SG1				45.1	23.6	11.3	11.2	珪岩		61	20
33	石槍	Ⅱ	SG1	EE29SE	F3下		35.0	18.2	6.5	3.6	頁岩			
34	石槍	Ⅱ	SG1	D･EE29SE（W）	F2～F3		46.2	25.1	10.5	9.5	頁岩		61	19
35	石槍	Ⅱ	残土				23.5	36.0	6.0	4.7	玉髄			
36	石槍	Ⅲ	SG1				33.2	16.9	10.3	10.8	頁岩か			
37	石槍	Ⅲ	X-O				(18.9)	19.5	7.5	2.4	頁岩			
38	石錐	Ⅰa	残土				(33.5)	24.0	6.2	3.4	頁岩			
39	石錐	Ⅰa	SG1	DD29SW	F3	RQ109	55.3	25.9	9.3	6.3	頁岩		62	7
40	石錐	Ⅰb	SG1	DD30NW	F1		43.8	15.9	4.1	1.6	瑪瑙		62	5
41	石錐	Ⅰb	SG1	D･EE29SW	F3下		55.8	13.7	8.9	5.3	頁岩		62	6
42	石錐	Ⅱa	SG1	D･EE29SW	F3下		32.5	9.0	7.0	1.8	頁岩		62	1
43	石錐	Ⅱa	SG1	D･EE30NW	F3下		79.4	13.5	6.8	8.8	頁岩		62	8
44	石錐	Ⅱb	ツボ7				42.2	16.0	9.5	6.7	玉髄		62	3

	種別	分類	出土地区			遺物番号	計測値（mm）			重量(g)	石材	備考	図	No
			出土地点	グリッド	層位		長さ	幅	厚さ					
45	石錐	Ⅱb	SG1	D30NE	F3下	RQ121	36.4	10.5	6.7	2.0	頁岩		62	2
46	石錐	Ⅲ	SG1	EE29SE（W）	F2		64.4	23.6	14.3	14.9	頁岩		62	10
47	石錐	Ⅲ	SG1	D･EE29SW	F2		35.3	22.4	18.4	7.5	瑪瑙か			
48	石錐	Ⅲ	SG1	D･EE30NW			52.2	17.4	9.7	5.8	頁岩		62	4
49	石錐	Ⅲ	SG1 中央トレンチ				35.5	25.0	10.9	7.7	頁岩			
50	石錐	Ⅲ	東カベ				53.0	47.0	12.8	21.4	頁岩		62	9
51	石錐	Ⅲ	SG1	DD30NE	F2	RQ49	47.8	15.5	8.8	4.7	頁岩			
52	石錐	Ⅳ	残土				25.6	12.4	8.7	2.1	頁岩			
53	石匙	Ⅰ	SG1	E29SW		RQ125	92.7	58.5	20.0	100.1	頁岩	アス	62	14
54	石匙	Ⅱa	SG1	EE30SW	F2	RQ48	52.4	57.2	16.5	39.2	頁岩		62	15
55	石匙	Ⅱb	SG1	DD29SW	F3	RQ108	51.0	(49.5)	8.3	15.8	頁岩		62	12
57	石匙	Ⅲa	SG1 南カベ南西角				67.5	43.9	8.9	27.2	頁岩	アス	62	13
58	石匙	Ⅲb	SG1	DD29SE	F3下Y	RQ136	57.5	34.2	7.0	14.4	頁岩	アス	62	11
59	石匙	Ⅳ	残土				(47.2)	52.7	14.6	31.6	頁岩			
60	石篦	Ⅰ	SG1 中央トレンチ				(30.9)	25.0	9.3	6.3	頁岩	アス		
61	石篦	Ⅰ	SG1上層				40.5	20.3	10.1	7.6	頁岩		63	2
62	石篦	Ⅰ	SG1	E29SW	F3下	RQ124	55.2	23.6	9.2	12.4	頁岩			
63	石篦	Ⅱa	SG1	EE29SW	F2	RQ79	36.0	18.4	9.1	5.7	頁岩		63	1
64	石篦	Ⅱa	SG1	E29SW	F3下	RQ117	43.8	19.0	9.3	7.7	頁岩		63	3
56	石篦	Ⅱb	SG1残土				(23.7)	25.5	10.0	8.2	頁岩			
65	石篦	Ⅱb	SG1	DD30NE	F1		58.2	29.0	16.2	26.1	頁岩		63	5
66	石篦	Ⅲ	SG1 南カベ南東角				(36.4)	30.6	11.7	16.5	頁岩			
67	石篦	Ⅳ	北カベ				97.8	28.2	22.2	64.3	頁岩		63	7
68	石篦	Ⅴ	ツボ１				78.5	56.8	23.9	75.8	頁岩			
69	石篦	Ⅵ	SG1残土				44.0	23.0	12.0	9.3	頁岩		63	4
70	掻器	Ⅰa	SG1	DD30NE	F2		111.0	52.2	22.4	116.5	頁岩		63	8
71	掻器	Ⅰb	表土				51.0	28.0	10.0	18.3	頁岩		63	6
72	削器	Ⅰa	南カベ		下層		63.8	57.2	10.3	33.7	頁岩			
73	削器	Ⅰb	SG1 南カベ南西角				37.7	15.5	8.0	4.7	頁岩			
74	削器	Ⅰb	SG1	D30NE	F1		27.2	43.9	11.6	12.6	頁岩			
75	削器	Ⅰb	SX13				52.6	32.4	13.4	19.0	頁岩			
76	削器	Ⅱa	SG1				40.4	36.3	10.5	15.2	頁岩		63	11
77	削器	Ⅱb	SG1	DD30NE(W)	F2	RQ69	55.1	41.0	35.8	37.2	頁岩		63	10
78	削器	Ⅱb	SX13 北カベ				12.4	35.3	7.9	5.6	頁岩			
79	削器	Ⅲa	SK2				37.0	50.9	10.0	23.2	頁岩		63	12
80	削器	Ⅲb	SG1	D･EE29SW	F4		42.7	52.8	7.9	15.2	頁岩		63	13
81	加工痕		SG1				39.0	40.3	11.5	15.2	頁岩	一縁のみ		
82	加工痕		SG1	EE29SE	F3下		40.5	44.6	14.5	21.4	頁岩	一縁のみ		
83	加工痕		SG1	EE29SE	F3下		22.9	37.6	10.3	8.7	頁岩	小短加工		
84	加工痕		SG1荷札なし				(43.6)	23.2	8.0	7.3	頁岩	一縁のみ		
85	加工痕		残土				(19.8)	18.2	6.7	2.0	頁岩	一縁のみ		
86	加工痕		残土				(38.8)	23.7	10.0	8.8	頁岩	１次調整		
87	加工痕		SP45				32.4	15.0	8.0	3.5	頁岩	一縁のみ		
88	加工痕		残土				24.6	17.5	6.8	2.3	頁岩	掻器状		
89	加工痕		SG1				22.8	36.6	13.8	17.1	頁岩	１次調整		
90	加工痕		SG1				30.2	32.6	6.2	6.7	頁岩	一縁のみ		
91	加工痕		SG1				39.6	30.0	8.0	9.1	頁岩	ノッチ		
92	加工痕		SG1	D･EE29SW	F1		21.0	33.0	7.5	4.6	頁岩	小短加工		
93	加工痕		SG1	D･EE29SW	F1		42.3	49.2	14.2	21.9	頁岩	掻器状		
94	加工痕		SG1	D･EE30NE	F3下		38.2	37.9	12.3	14.3	頁岩	１次調整		
95	加工痕		SG1	DE30NW	F3下		32.9	24.5	9.4	5.5	頁岩	ノッチ		
96	加工痕		SD5				37.9	36.8	11.5	12.6	頁岩	１次調整		
97	加工痕		残土				30.0	47.5	17.4	28.6	玉髄	１次調整		
98	加工痕		SX13				30.4	30.2	13.3	13.7	頁岩	１次調整		
99	加工痕		SG1	DD30NEF2			23.4	17.6	6.7	3.1	黒曜石	一縁のみ		
100	加工痕		西カベ				28.7	18.5	13.0	6.0	黒曜石	一縁のみ		

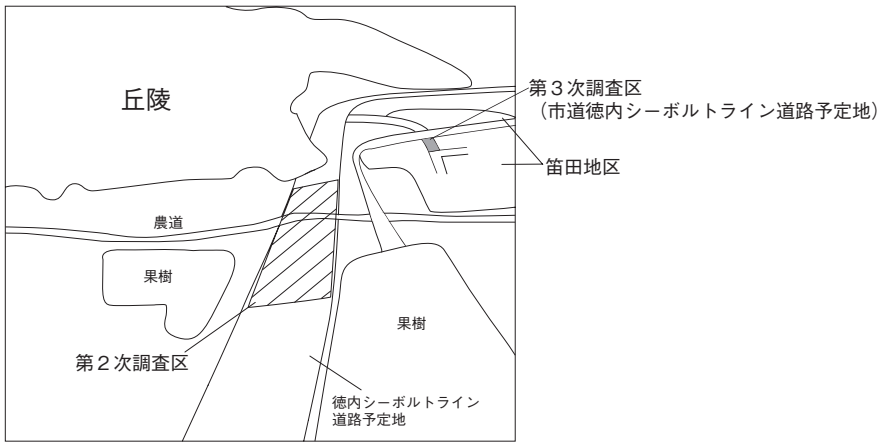
	種別	分類	出土地区			遺物番号	計測値(mm)			重量(g)	石材	備考	図	No
			出土地点	グリッド	層位		長さ	幅	厚さ					
101	磨斧	Ⅰ'a	SG1				(51.5)	64.0	28.0	143.8	花崗岩		64	7
102	磨斧	Ⅰ'a	SG1	DD29SW	F2～F3		(50.0)	37.1	28.0	67.9	花崗岩			
103	磨斧	Ⅰ'a	SG1				(84.0)	45.0	30.0	172.5	安山岩		64	1
104	磨斧	Ⅰ'a	SG1				(55.0)	40.0	26.0	83.3	安山岩		64	5
105	磨斧	Ⅰ'a	SG1	D･EE30NW	F2	RQ82	(89.2)	59.0	32.8	227.8	安山岩		63	14
106	磨斧	Ⅰ'a	西カベ		下層		(56.0)	54.0	28.0	109.4	安山岩		64	6
107	磨斧	Ⅰb	SG1				86.0	49.5	20.0	146.9	閃緑岩		64	4
108	磨斧	Ⅰ'b	SG1	E29SE	F3か	RQ159	90.0	48.8	22.3	155.9	安山岩か		64	2
109	磨斧	Ⅱ	SG1	EE29SW	F2	RQ80	(110.0)	48.3	26.0	251.3	安山岩		64	3
110	凹石	Ⅰ	SG1 中央トレンチ		下層		134.0	44.4	32.0	270.3	安山岩		64	9
111	凹石	Ⅰ	SG1３次サンプリング		北斜面		103.0	107.4	4.3	474.0	砂岩		64	11
112	凹石	Ⅰ	SG1西カベ				105.0	223.0	164.5	3349.0	安山岩			
113	凹石	Ⅱ	SX6　SG1 西カベ				72.4	83.4	35.0	161.0	シルト			
114	凹石	Ⅱ	SK2　西カベ				109.0	90.0	50.0	731.5	安山岩	付着	64	8
115	凹石	Ⅱ	SG1	DD29NE(E)	F2	RQ51	115.0	68.0	29.0	244.8	シルト		64	10
116	凹石		SK2				145.0	399.3	191.5	10,311	緑色凝灰岩	蜂の巣状	66	1
117	凹石		SK2				90.0	178.5	178.0	2,602	砂岩	蜂の巣状	66	2
118	磨石	Ⅰ	SG1	D･EE29SE(W)	F3		67.0	53.4	57.0	456.1	シルト		65	4
119	磨石	Ⅱ	SG1	DD29SE(W)	F3下～F4		50.0	41.0	34.0	66.0	シルト		65	1
120	磨石	Ⅱ	SG1	DD30NE	F3	RQ95	56.0	53.4	42.5	145.2	安山岩		65	2
121	敲石	Ⅰ	SG1 中央トレンチ		F3		79.0	72.4	77.0	456.2	緑色凝灰岩		65	3
122	敲石	Ⅰ	SG1	E29SE	F4	RP148下	44.0	65.5	56.0	240.6	緑色凝灰岩			
123	敲石	Ⅰ	SG1	D･EE29SW	F3下		101.5	118.7	106.2	1223.0	緑色凝灰岩			
124	敲石	Ⅰ	SG	D･E29SW	F3下		84.0	93.0	99.0	780.6	緑色凝灰岩			
125	敲石	Ⅱ	SG1	EE29SW	F2	RQ53	93.0	95.0	59.0	494.0	凝灰岩		65	5
126	石皿		SG1	EE29SW	F4か	RQ164	54.0	164.0	126.9	627.3	砂岩	破片と接合	65	7
127	砥石		SG1	D･EE29SW	F2～F3		37.0	27.1	13.3	11.9	砂岩		65	6
128	石核		SG1	DD30NE	F2		34.2	44.1	22.4	37.1	頁岩		63	8
129	石核		SP25				39.0	47.3	24.2	39.7	頁岩	SP25		

表 14　土偶・土製品・石製品観察表

	種別	分類	出土地区			遺物番号	計測値（mm・g）			重さ	石材	備考	図	No
			出土地点	グリッド	層位		長さ	幅	厚さ					
1	土偶		SG			RP115	(33.0)	93.4	30.2	52.5			67	2
2	土偶		SG1	DD30NE	F1		(64.0)	32.5	(44.0)	26.4			67	4
3	土偶		SK12の南西 X-O				(21.0)	(42.0)	21.5	16.3			67	3
4	土偶		SX13				(34.0)	43.0	49.0	34.0			67	6
5	土偶		南カベ		下層		(53.0)	(54.0)	49.0	42.0			67	5
6	土偶		SG1	DD29SE（W）	F4		(42.0)	(34.0)	(17.0)	11.7			67	1
48	土冠		SG1			RP114	78.0	(111.0)	38.0	188.9			68	1
49	土冠		SG1			RP141	67.0	91.0	42.0	155.0		付着	68	2
45	円盤状土製品		SG1				41	42	6	14		LR	68	3
46	円盤状土製品		SG1		上層		34	37	6.4	10		LR	68	4
47	円盤状土製品		SG1	中央トレンチ			47	43	9	21		LR	68	5
7	石棒・石刀		SG1	DD29SE（W）	F3下		(38.2)	34.4	17.2	45.1	黒色粘板岩	付着		
8	石棒・石刀		SG1	D・EE29SW	F3下		(37.6)	23.5	5.3	5.8	黒色粘板岩			
9	石棒・石刀		SG1　赤砂	D・EE29SW	F4		(67.0)	29.2	4.5	9.2	黒色粘板岩			
10	石棒・石刀		SG1	EE30直下			(40.3)	22.9	3.7	3.8	黒色粘板岩	付着		
11	石棒・石刀		SG1	D・EE29SW	F3下		(83.4)	28.0	12.8	43.2	砂岩		70	7
12	石棒・石刀		SG1	D・EE29SW	F3下		(38.0)	19.6	5.8	4.2	黒色粘板岩			
13	石棒・石刀		SG1	D・EE29SW	F4		(58.4)	85.6	18.6	134.9	流紋岩		70	2
14	石棒・石刀		SG1	DD29SE（W）	F2		(57.3)	46.8	9.5	39.0	黒色粘板岩	付着か		
15	石棒・石刀		SG1中央トレ ンチ中～下層				(35.8)	34.3	2.4	4.0	黒色粘板岩			
16	石棒・石刀		表土				(29.8)	30.0	14.6	22.0	黒色粘板岩			
17	石棒・石刀		残土				(53.5)	46.3	7.6	27.2	黒色粘板岩			
18	石棒・石刀		SG1		F2		(80.9)	39.6	20.3	90.9	黒色粘板岩		69	4
19	石棒・石刀		SG1			RQ25	(88.2)	35.0	12.0	62.2	粘板岩		69	8
20	石棒・石刀		SG1			RQ52	(86.8)	36.6	29.9	120.3	粘板岩		69	3
21	石棒・石刀		SG1			RQ78	(104.0)	42.5	7.8	58.0	黒色粘板岩		69	10
22	石棒・石刀		SG1			RQ104	(150.4)	32.2	11.0	85.6	凝灰岩		69	5
23	石棒・石刀		SG1			RQ106	(109.5)	28.9	11.7	32.6	黒色粘板岩		69	9
24	石棒・石刀		SG1			RQ132	(148.0)	33.7	10.2	60.5	黒色粘板岩		69	6
25	石棒・石刀		SG1			RQ137	(73.8)	41.4	9.0	62.7	黒色粘板岩		70	1
26	石棒・石刀		SG1	DD29NE（E）	F2	RQ50	(82.0)	29.9	17.7	53.4	粘板岩		69	7
27	石棒・石刀		SG1			RQ91	(186.0)	40.7	28.7	327.0	粘板岩		69	2
28	石棒・石刀		SG1			RQ145	(108.7)	27.6	7.4	30.0	黒色粘板岩		70	4
29	石棒・石刀		SG1			RQ157	(240.0)	28.3	22.9	263.3	黒色粘板岩		69	1
30	石棒・石刀		SG1南東角			RQ1	(65.4)	34.7	8.2	25.6	黒色粘板岩		70	6
31	石棒・石刀		SG1			RQ160	(175.0)	43.9	19.0	185.0	安山岩		70	3
32	石棒・石刀		SG1 （西トレンチ）				(91.0)	33.5	11.0	39.2	黒色粘板岩		70	5
33	石棒・石刀		ツボ９				(37.0)	18.2	13.5	13.1	粘板岩			
34	石棒・石刀		SG1	DD29NE	F1		(53.3)	20.2	9.3	16.7	泥岩		70	8
35	垂飾品		SG1	中央トレンチ			30.2	9.0	7.9	3.1	凝灰岩		70	12
37	垂飾品		SG1	DD29SE（W）		RQ102	50.8	37.3	20.0	47.4	凝灰岩		70	9
38	垂飾品		SX37		F2	RQ22	25.0	13.2	5.8	2.9	緑色凝灰岩	翡翠か	70	10
39	垂飾品		SG1	中央トレンチ	F3	RQ27	12.0	11.5	6.5	1.1	翡翠		70	11
40	石錘		SG1南カベ	DD30NE			71.0	38.2	20.0	70.7	砂岩		65	8
41	円盤状石製品		SG1	DD30NE	F3		56.8	51.6	9.1	50.0	泥岩			
42	円盤状石製品		SG1	EE29SW（W）	F3		50.6	40.1	16.0	28.4	頁岩			
43	円盤状石製品		SG1	DD30NE	F1		60.6	53.6	21.9	100.8	安山岩			
44	円盤状石製品		SG1西カベ		下層		85.9	69.4	18.2	117.9	凝灰岩			

写真図版

調査区 全景（北から）
※⇩が調査区



調査区 遠景（南から）

調査前全景（南東から）

遺構検出全景（北から）

遺構完掘全景（SG1谷跡は除く：南西から）

遺構完掘状況（北西から）

遺構完掘状況（南東から）

遺構検出状況　北部（北西から）

遺構半截状況　北部（北西から）

遺構完掘状況　北部（南東から）

遺構完掘状況　中央部（北西から）

遺構完掘状況　中央西部（南東から）

遺構完掘状況　中央部（北西から）

遺構完掘状況　中央～南部（南東から）

遺構完掘状況　南部（南東から）

SG1東壁　基本層序（南から）

SG1西壁　基本層序（北東から）

SG1中央トレンチ　基本層序（北東から）

SG1中央トレンチ西壁　基本層序（東から）

調査区北部東壁　基本層序（西から）

SG1F1層出土状況（南東から）

SG1F1層出土状況（南東から）

RP31・32・33出土状況（北西から）

SG1北西側 F1層出土状況（西から）

RP38・39・44出土状況（北西から）

RP35・42出土状況（南東から）

RP141土冠出土状況（南から）

RP32・33・34（北西から）

RP35出土状況（南東から）

RP131出土状況（北西から）

RP30出土状況（南から）

RP30・138・140出土状況（南東から）

RP139・RP140出土状況（南から）

SG1F2層出土状況（西から）

SG1F2層出土状況（南東から）

SG1西側F2層出土状況（南西から）

SG1東側F2層出土状況（南から）

RP92・96・97・98出土状況（南東から）

RP66・67・68出土状況（南から）

RP68・78出土状況（南西から）

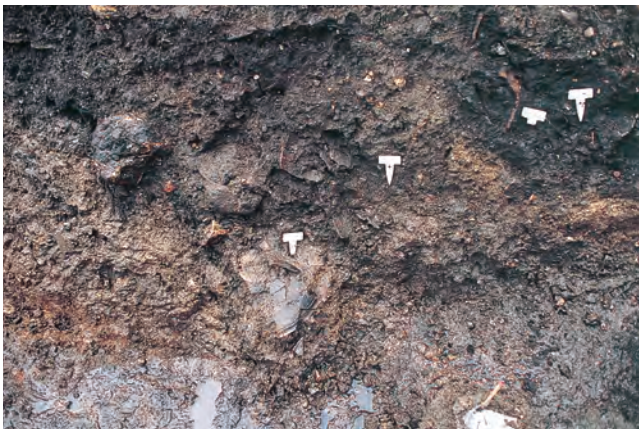
RP68・76・RQ78出土状況（西から）

RP76出土状況（南西から）

RP64・65出土状況（南東から）

RP65・66・67出土状況（南東から）

RQ78・RP76出土状況（南西から）



RP81出土状況（南から）

RP81出土状況（南から）

RP59出土状況（北東から）

RP28・70出土状況（東から）

RQ49・RP57・58・71出土状況（西から）

RQ49・RP57・58・71出土状況（南西から）

RP55・73出土状況（南東から）

RP56出土状況（南西から）

RP54出土状況（南東から）

SG1F3層出土状況（南から）

SG1F3層出土状況（北から）

SG1F3層西側出土状況（南から）

SG1F3層出土状況（西から）

SG1F3層出土状況（北東から）

RP85・86・88出土状況（南東から）

RP103（赤彩）・104・105出土状況（南西から）

RP29・101出土状況（南から）

RP100・RQ102岩版出土状況（南から）

RP85・86・88出土状況（南から）

RP86・89・91出土状況（南東から）

RP87・88・89出土状況（北西から）

SG1西側北F3出土状況（南東から）

RP92・93・96・97・RQ95出土状況（南東から）

RP114土冠出土状況（北西から）

SG1F3下層出土状況（西から）

SG1F3下層出土状況（西から）

SG1F3下層出土状況（東から）

RP115土偶出土状況（北西から）

RP123出土状況（西から）

RP118・133（北から）

RP118出土状況（北西から）

RP116出土状況（南西から）

RP119出土状況（北西から）

RP122・127・131（南東から）

RP135出土状況（東から）

SG1F3下層（F4層上面）出土状況（南東から）

RP129・130・132出土状況（西から）

SG1F4層出土状況（西から）

SG1F4層出土状況（南東から）

SG1西側F4層出土状況（北東から）

RP148・149・150出土状況（南東から）

RQ157出土状況（南東から）

RP152・158（北から）

RP152・153・154・155・156・RQ157出土状況（北西から）

RP160出土状況（西から）

SG1床面直上出土状況（西から）

SG1完掘（南東から）

SG1床面直上出土状況（南東から）

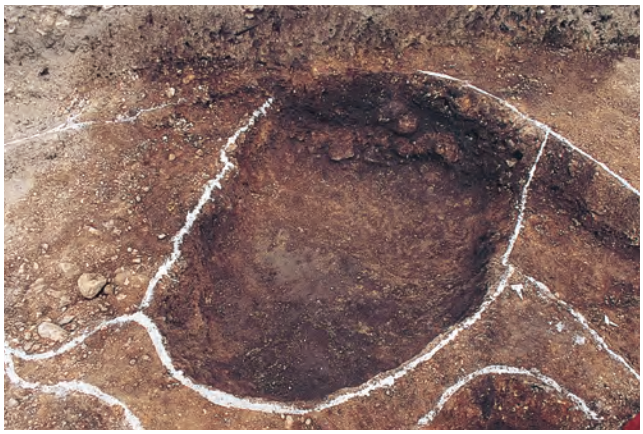
RP162出土状況（北西から）

RP163・165・RQ164出土状況（南西から）

SP3半截（西から）

SP3完掘（北西から）

SK2半截（南西から）



SK2完掘（西から）

SK69半截（南から）

SK69完掘（南から）

SK12半截（南から）

SD5（RP24）出土状況（北東から）

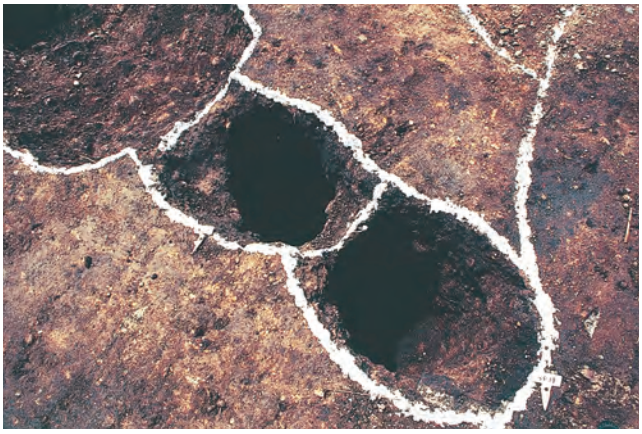
SK51完掘（南から）

SK51半截（南から）

SK9土層断面（南より）

SK9完掘状況（南より）

SP19半截（南西から）



SP18・19完掘状況（東より）

RQ22（SX31）出土状況（東より）

同左

表土除去状況（北から）

面整理状況（北から）

遺構精査状況（南から）

SK2土抗精査状況（西から）

SG1谷跡下層（F3層）精査状況（南から）

SG1谷跡掘り下げ状況（西から）

SG1谷跡出土遺物の記録状況（東から）

調査説明会

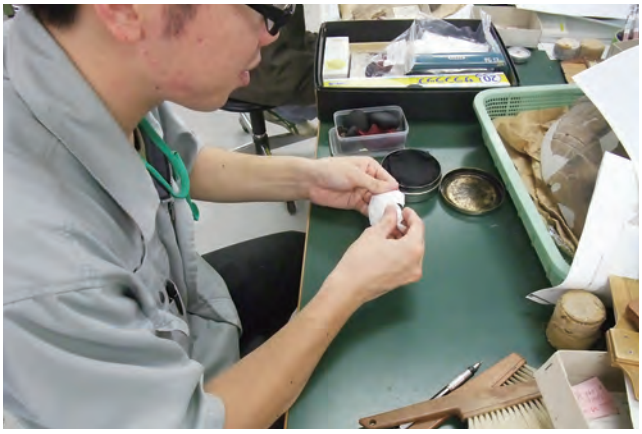
遺物洗浄作業

遺物注記作業

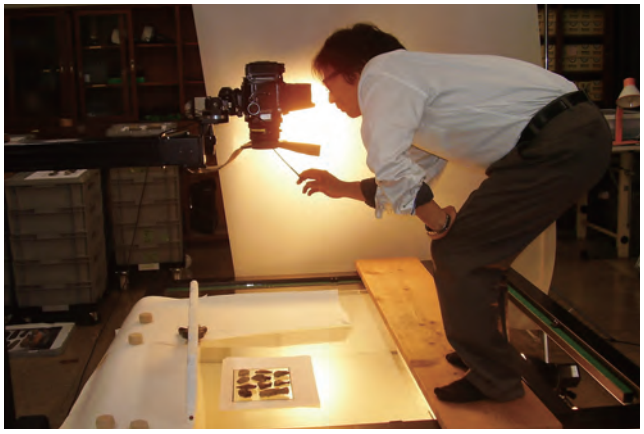
遺物接合作業

土器復元作業

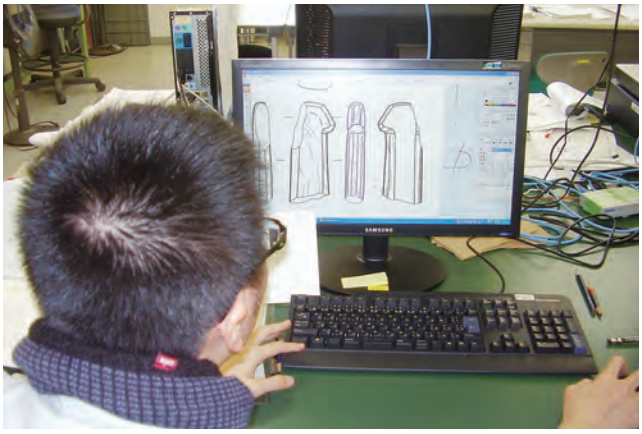
遺物実測作業



遺物拓本作業

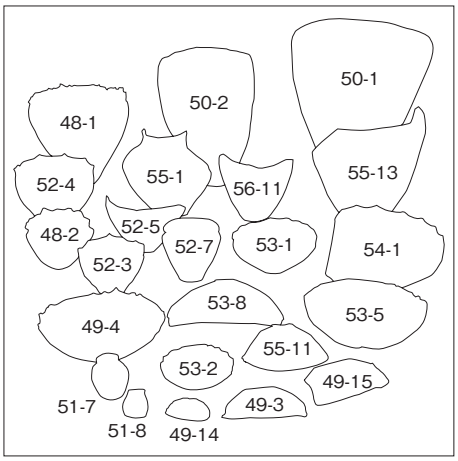


遺物写真撮影



遺物トレース編集作業

SG1 谷跡 F3・F3 下層出土遺物集合



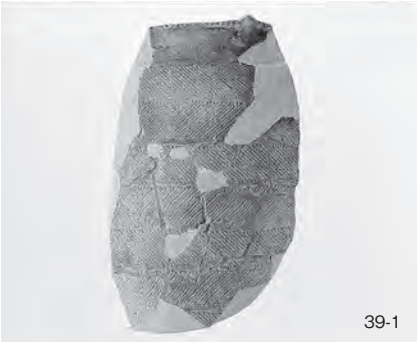
土偶・石棒・石刀・土冠・玉類・石製品集合

赤彩土器・漆付着土器集合

46-1

42-5

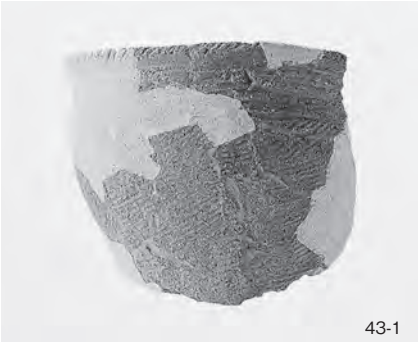
41-1


39-1

39-3

52-2

39-2


43-1

51-9

39-5

55-14

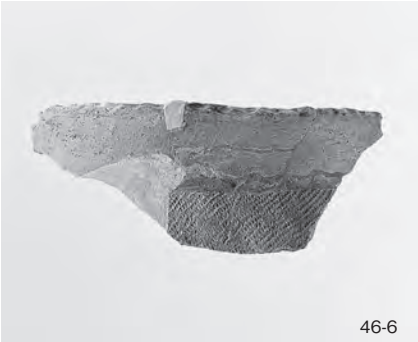
55-12

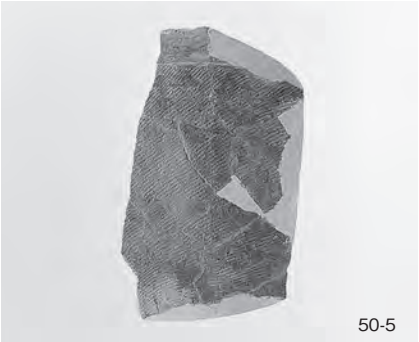
56-2

46-5

46-4

縄文時代晩期　深鉢


46-6


50-5

41-7

46-2

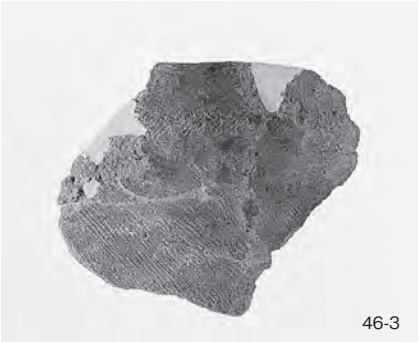
41-5

39-4

41-8

51-11

50-12


46-3

51-2

50-1

41-2

50-6

50-2

縄文時代晩期　深鉢

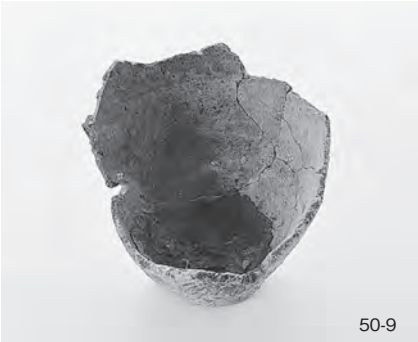
55-13

51-13

41-4

42-1

47-3


50-9

43-7

43-6

48-2

52-3

57-2

52-4

43-3

39-7

57-3

縄文時代晩期　深鉢・鉢

48-6

48-3

43-5

59-11

48-8

48-5

57-6

48-1

43-4

48-7

52-10

52-7

59-13

52-5

48-10

縄文時代晩期　鉢

58-9

58-10

57-4

42-3

58-8

52-8

58-11

39-8

43-15

43-1

43-1

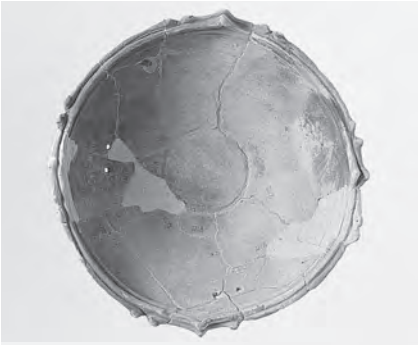
43-1

44-1

39-9

54-3

縄文時代晩期　鉢・台付浅鉢・浅鉢



49-4

43-16

53-8

49-5

44-3

44-5

44-2

49-3

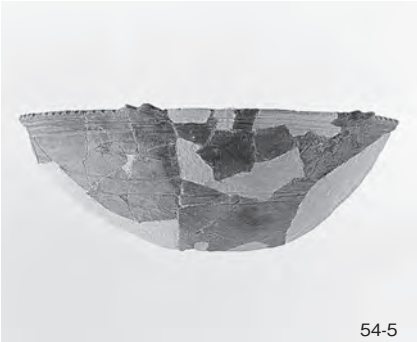
44-4

53-7

53-6

49-7

縄文時代晩期　浅鉢


54-5

53-5

57-14

54-2

54-1

49-6

53-1

53-2

43-17

44-6

43-18

40-12

40-11

45-4

49-13

縄文時代晩期　浅鉢・壺

55-8

55-7

40-10

40-6

55-1

58-14

47-11

49-10

47-10

51-6

58-13

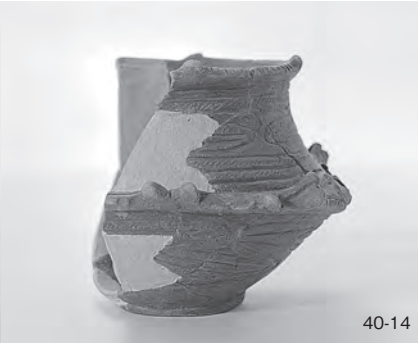
51-4

47-10

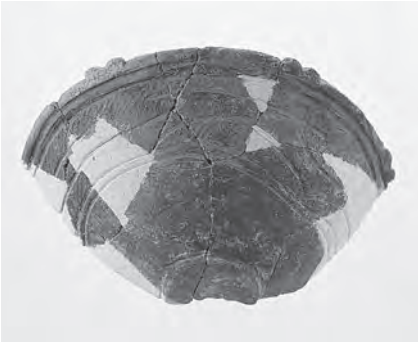
49-14

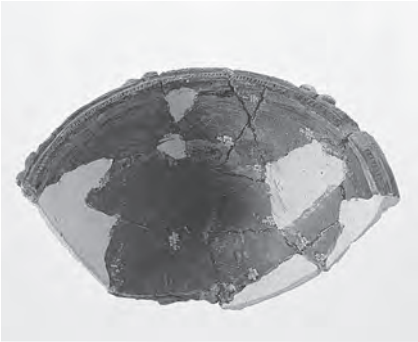
縄文時代晩期　壺・蓋

40-13


40-14

49-15





45-10

40-5

55-11

59-19

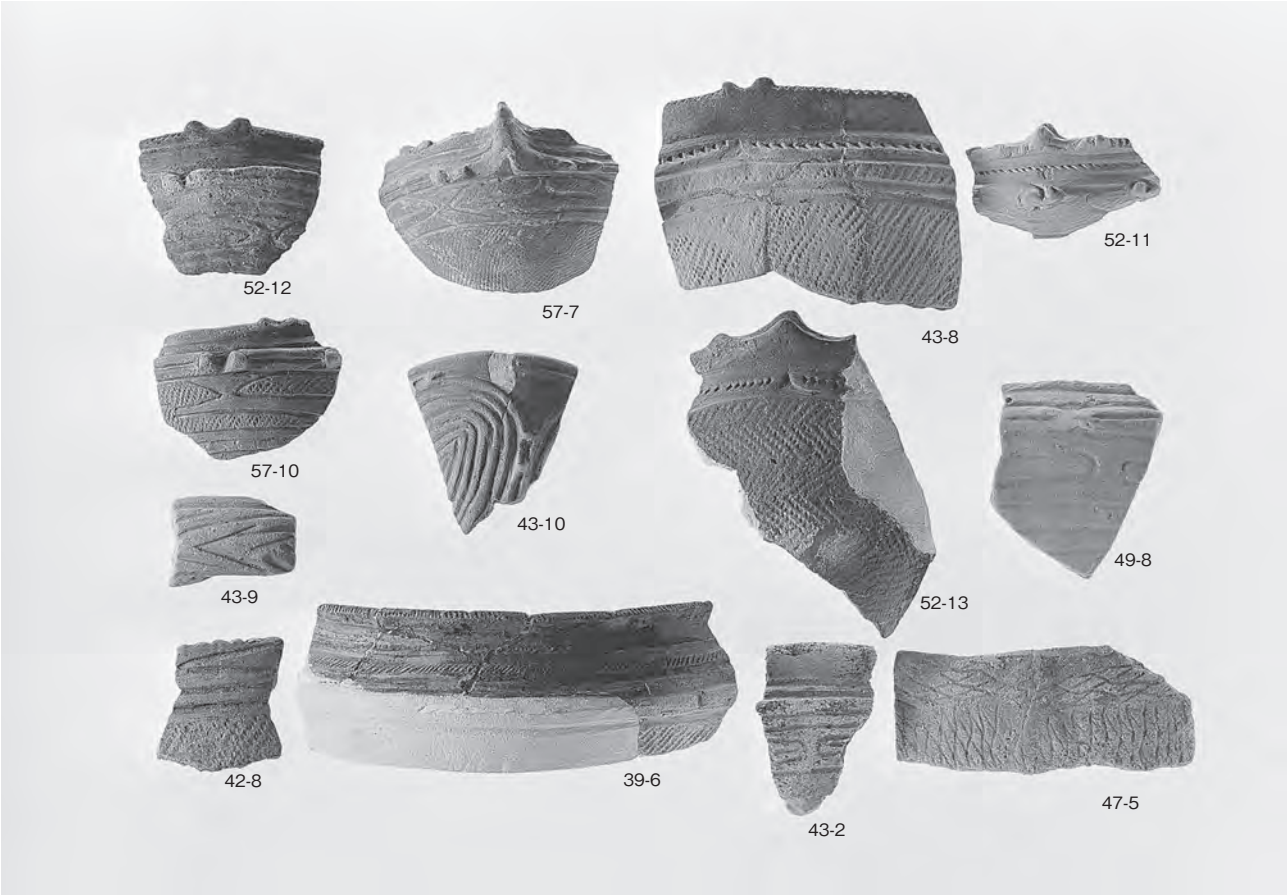
56-13

56-12

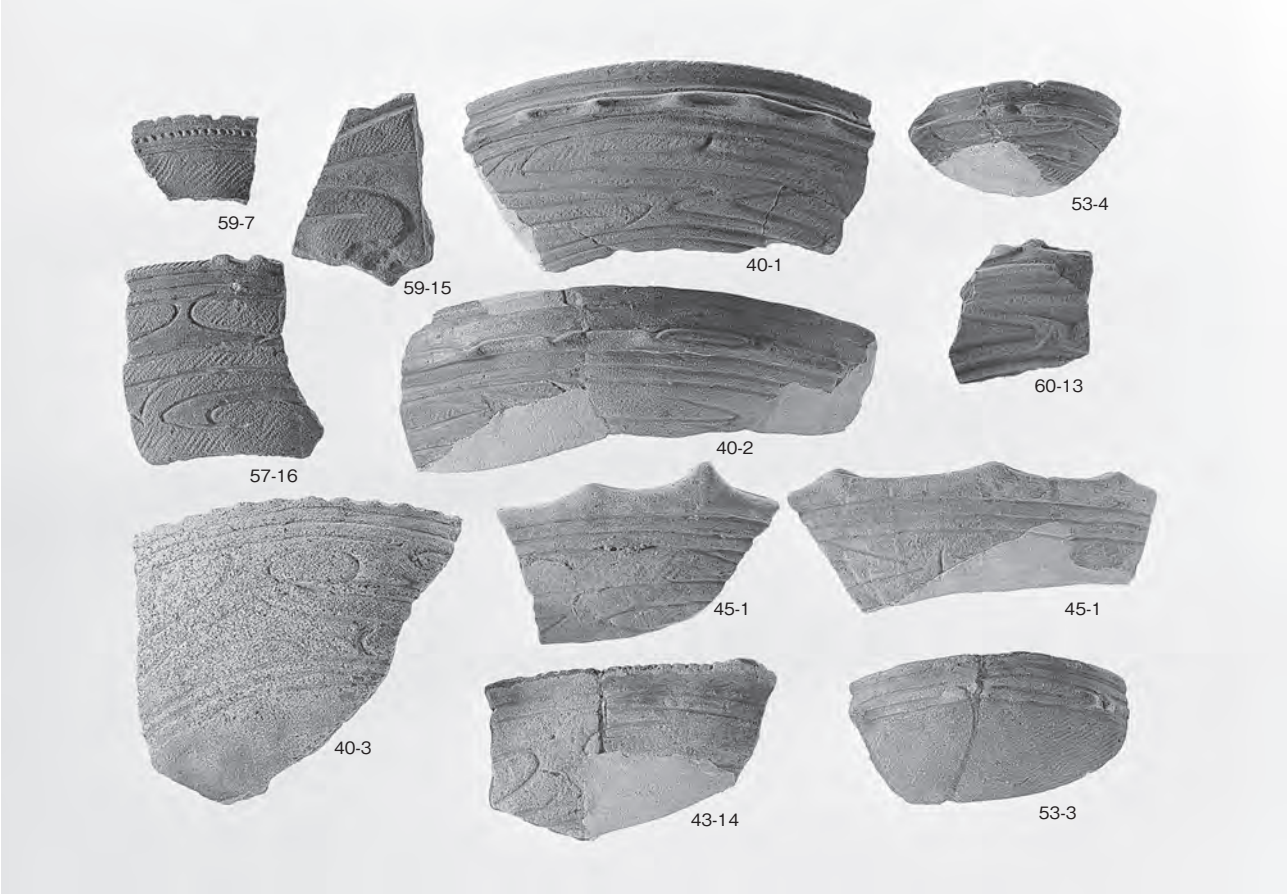
51-7

51-8

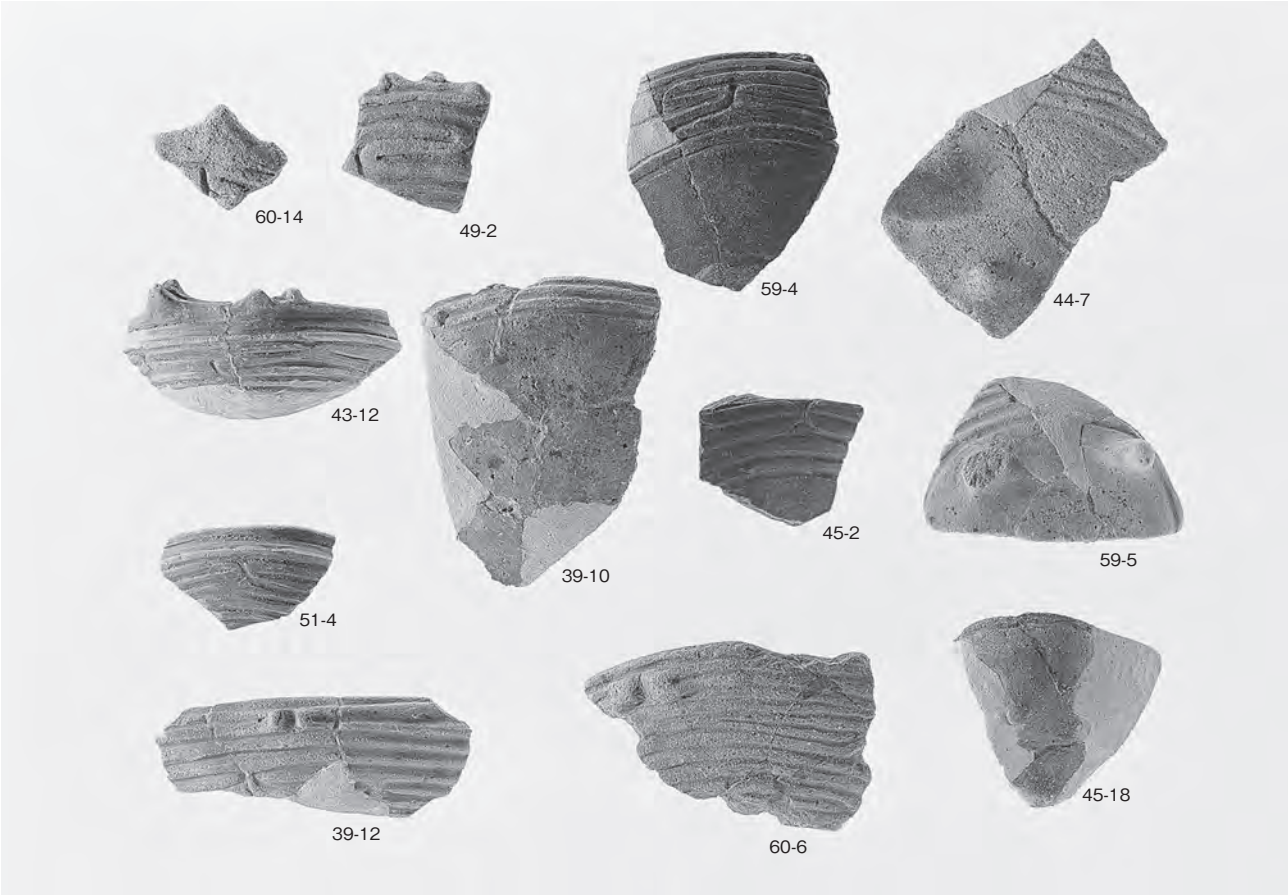
縄文時代晩期　壺・注口・小型土器



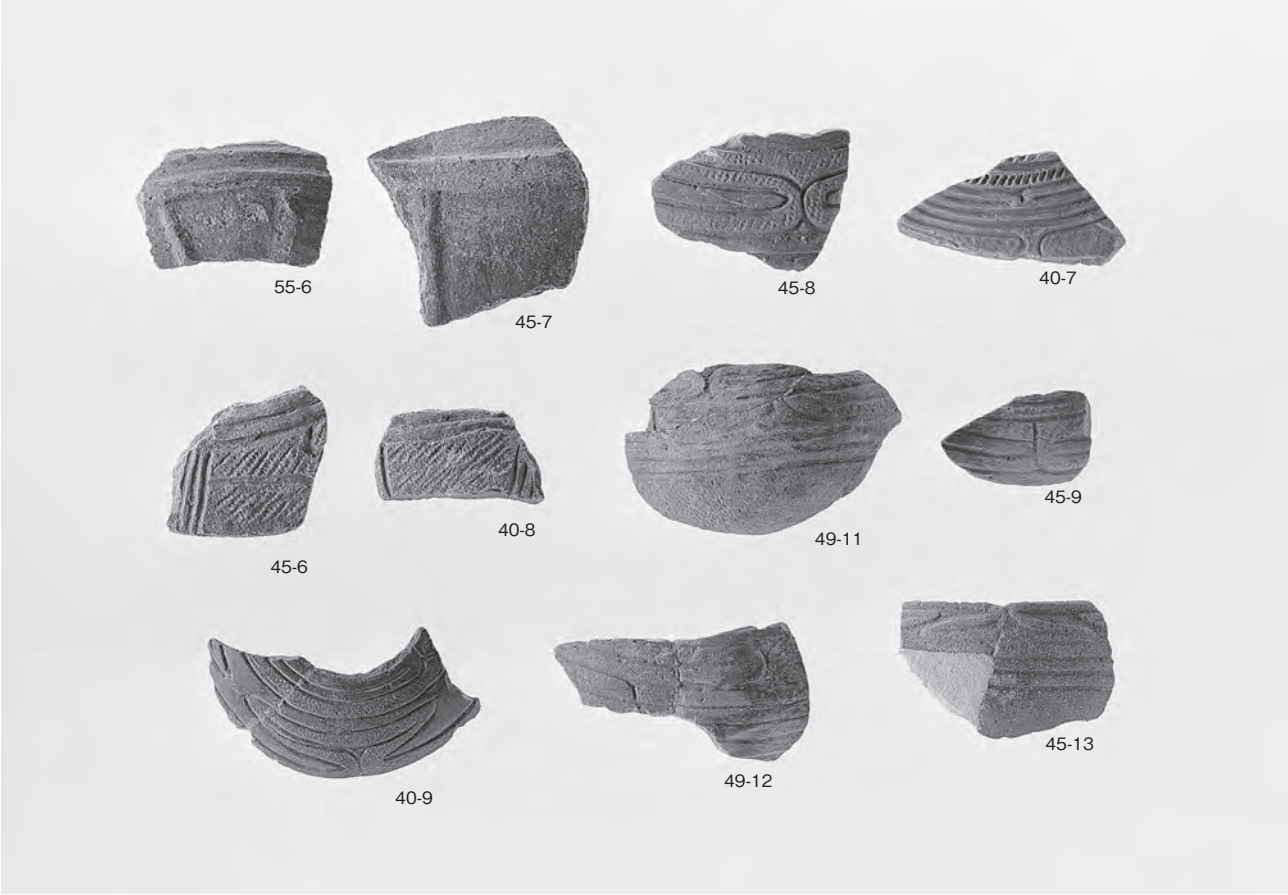
縄文時代晩期　鉢



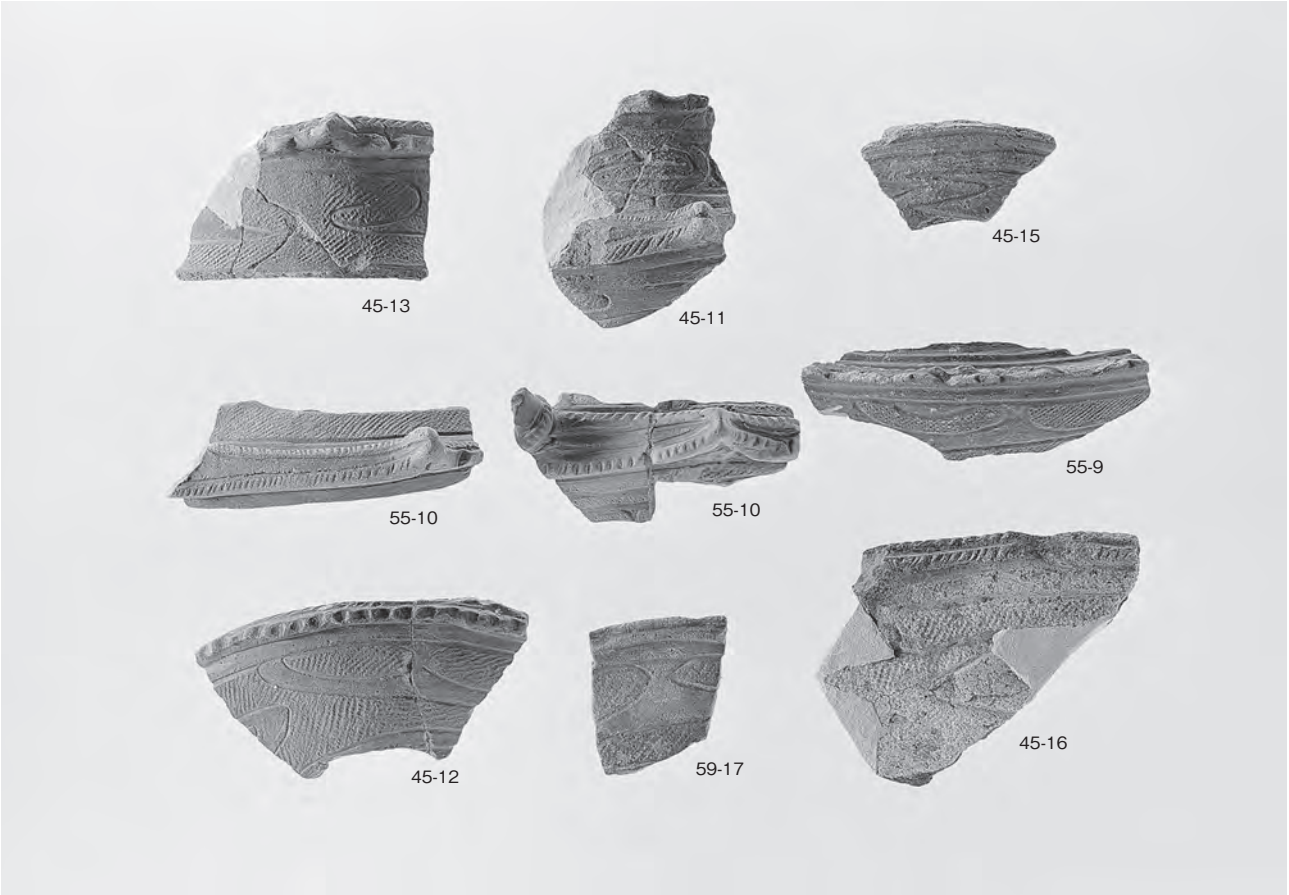
縄文時代晩期　浅鉢



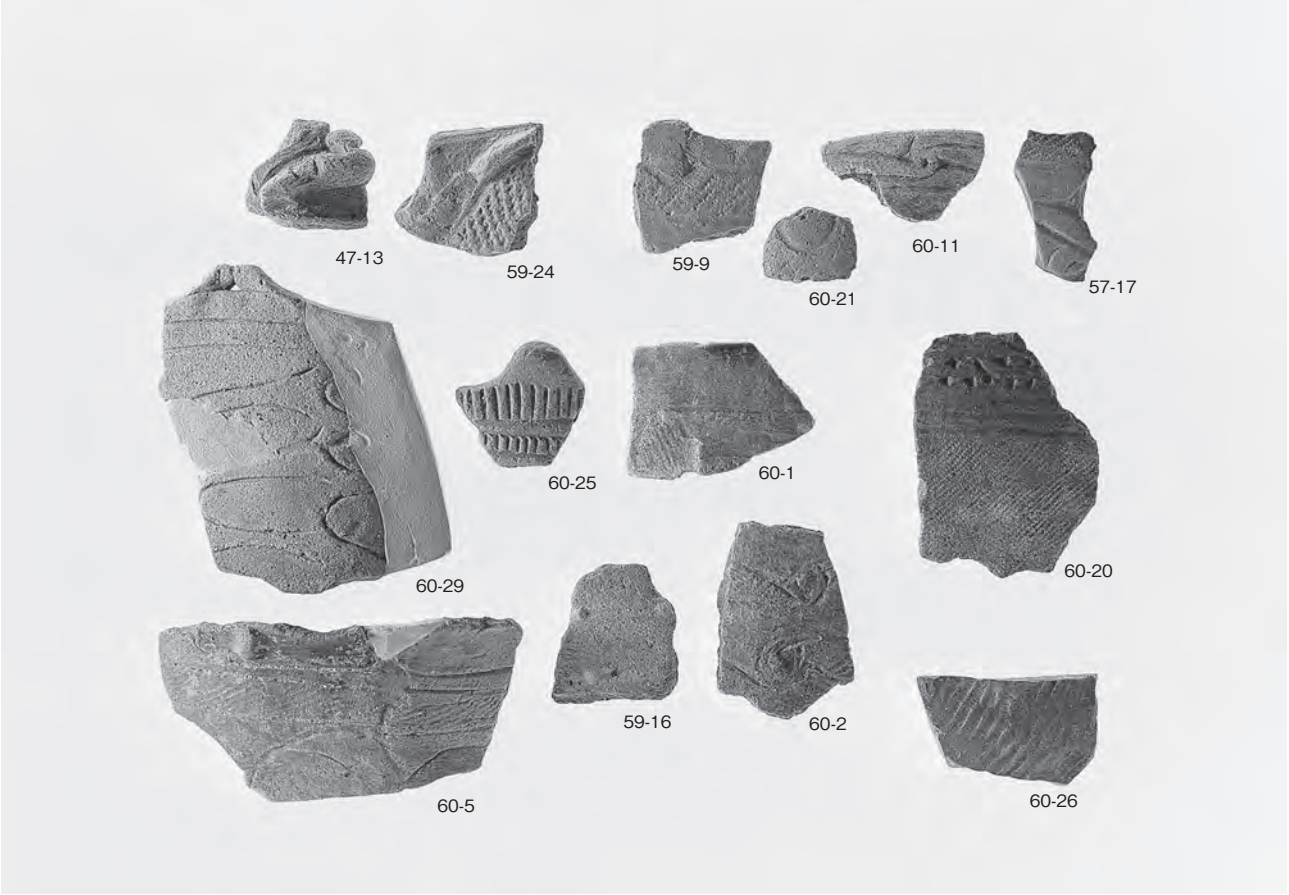
縄文時代晩期　浅鉢



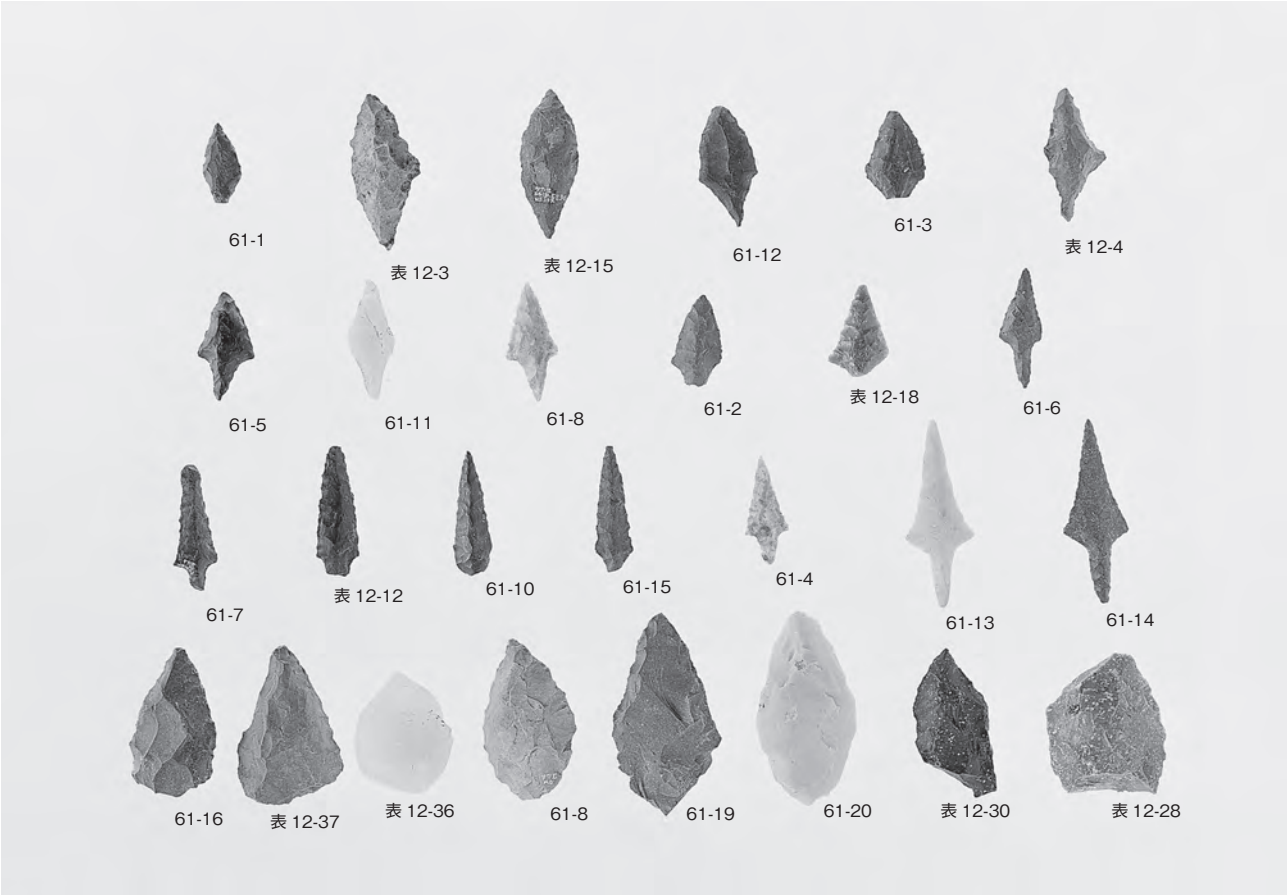
縄文時代晩期　壺



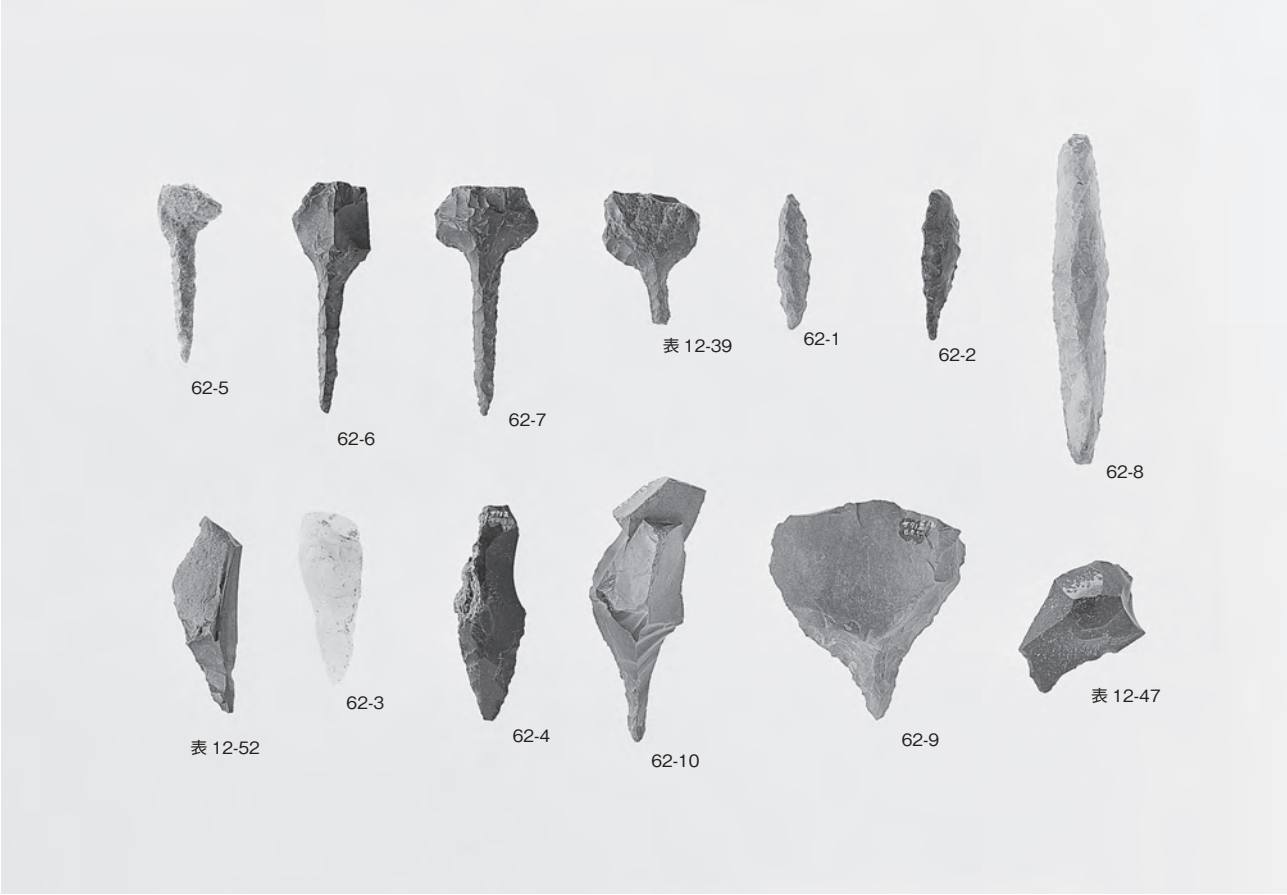
縄文時代晩期　注口



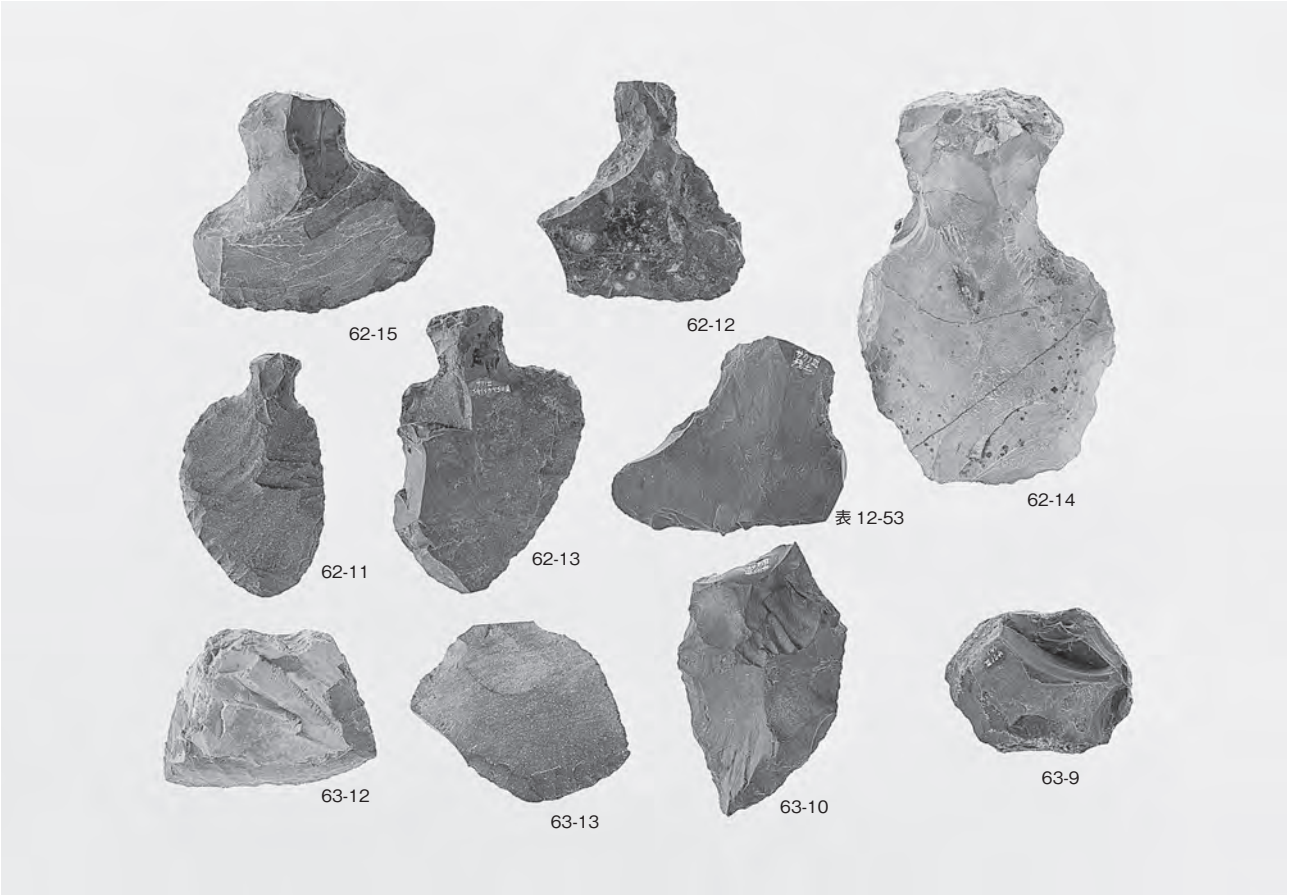
縄文時代中期～後期土器・晩期　注口・古代　壺


61-1
表 12-3
表 12-15
61-12
61-3
表 12-4
61-5
61-11
61-8
61-2
表 12-18
61-6
61-7
表 12-12
61-10
61-15
61-4
61-13
61-14
61-16
表 12-37
表 12-36
61-8
61-19
61-20
表 12-30
表 12-28

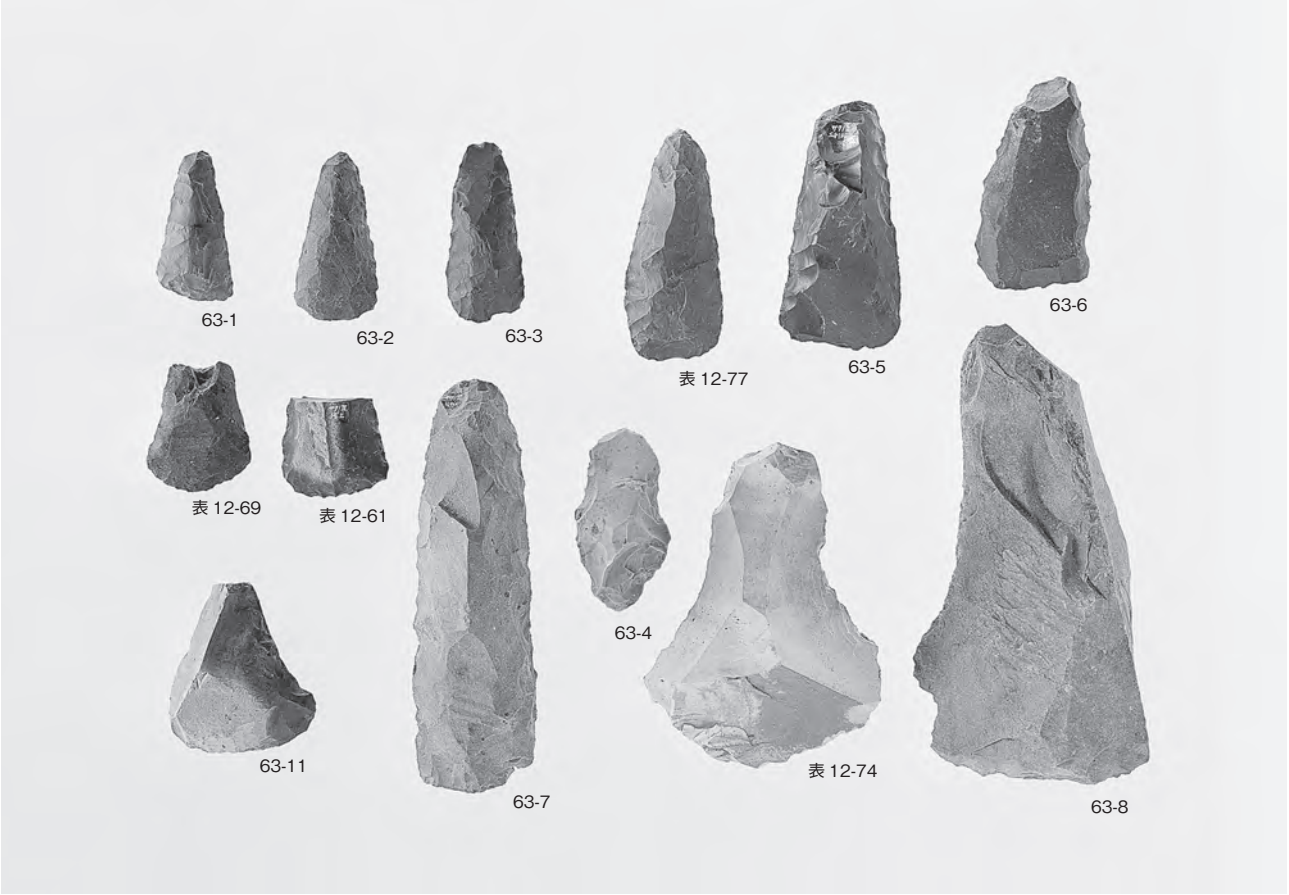
石鏃・石槍


62-5
62-6
62-7
表 12-39
62-1
62-2
62-8
表 12-52
62-3
62-4
62-10
62-9
表 12-47

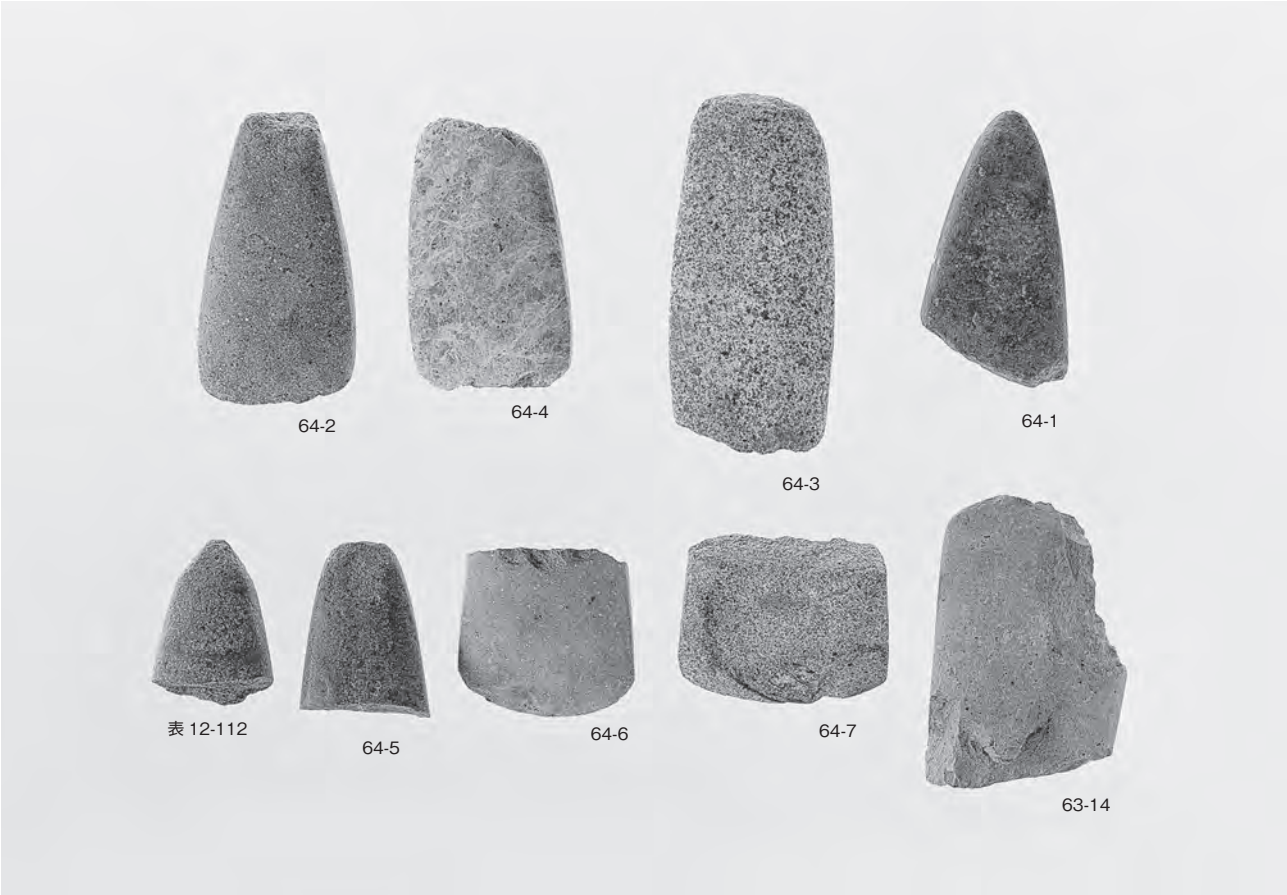
石錐


62-15
62-12
62-14
62-11
62-13
表 12-53
63-12
63-13
63-10
63-9

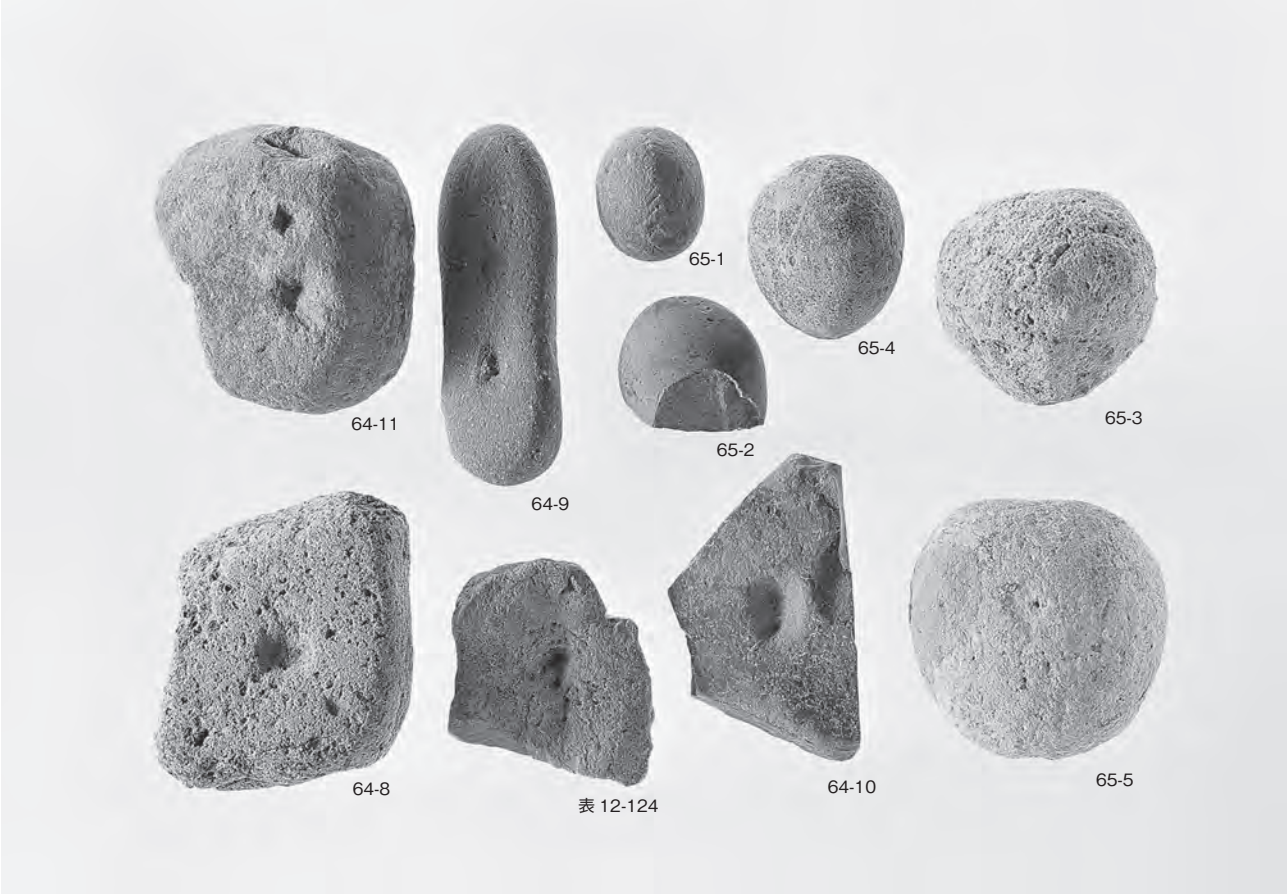
石匙・削器・石核


63-1
63-2
63-3
表 12-77
63-5
63-6
表 12-69
表 12-61
63-4
63-11
63-7
表 12-74
63-8

掻器・石箆

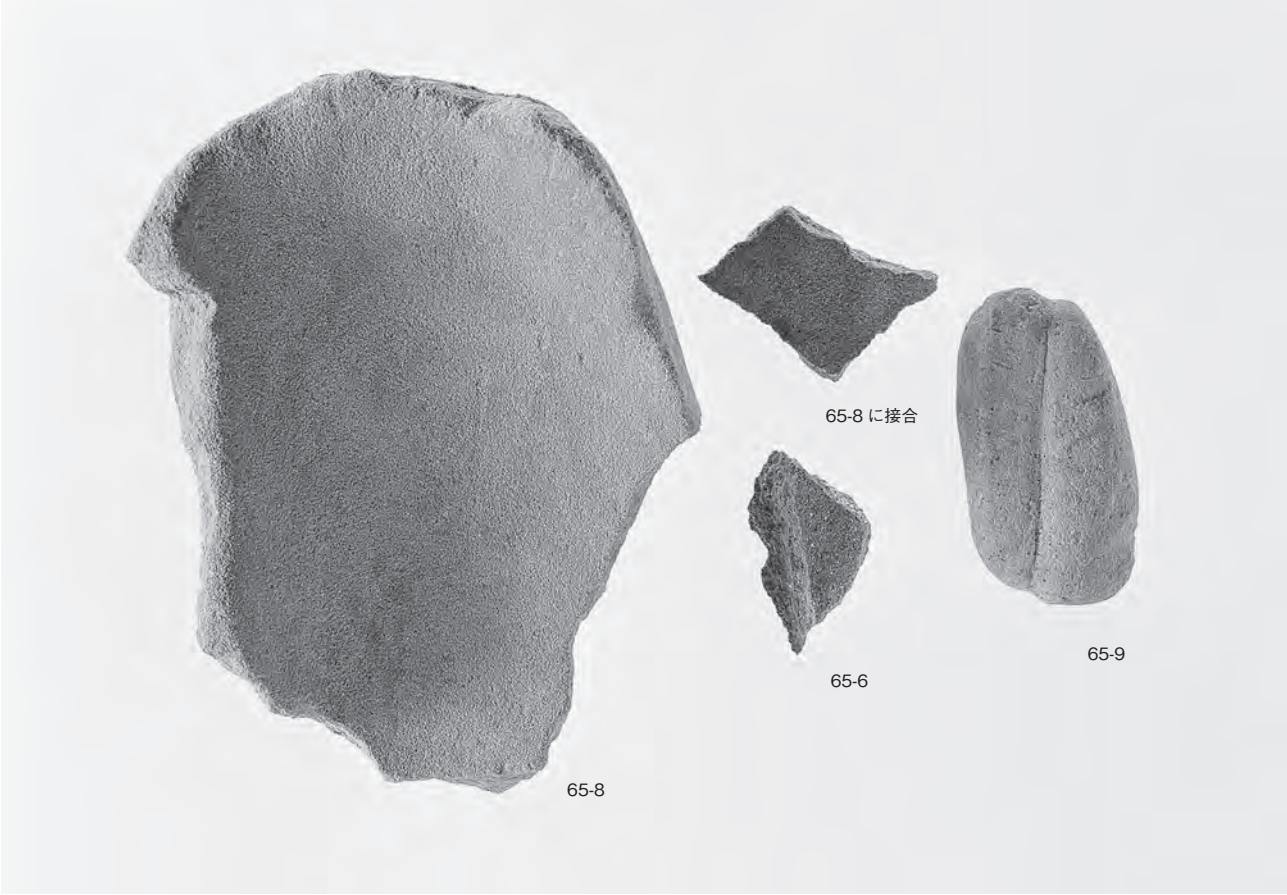

64-2
64-4
64-3
64-1
表 12-112
64-5
64-6
64-7
63-14

磨製石斧

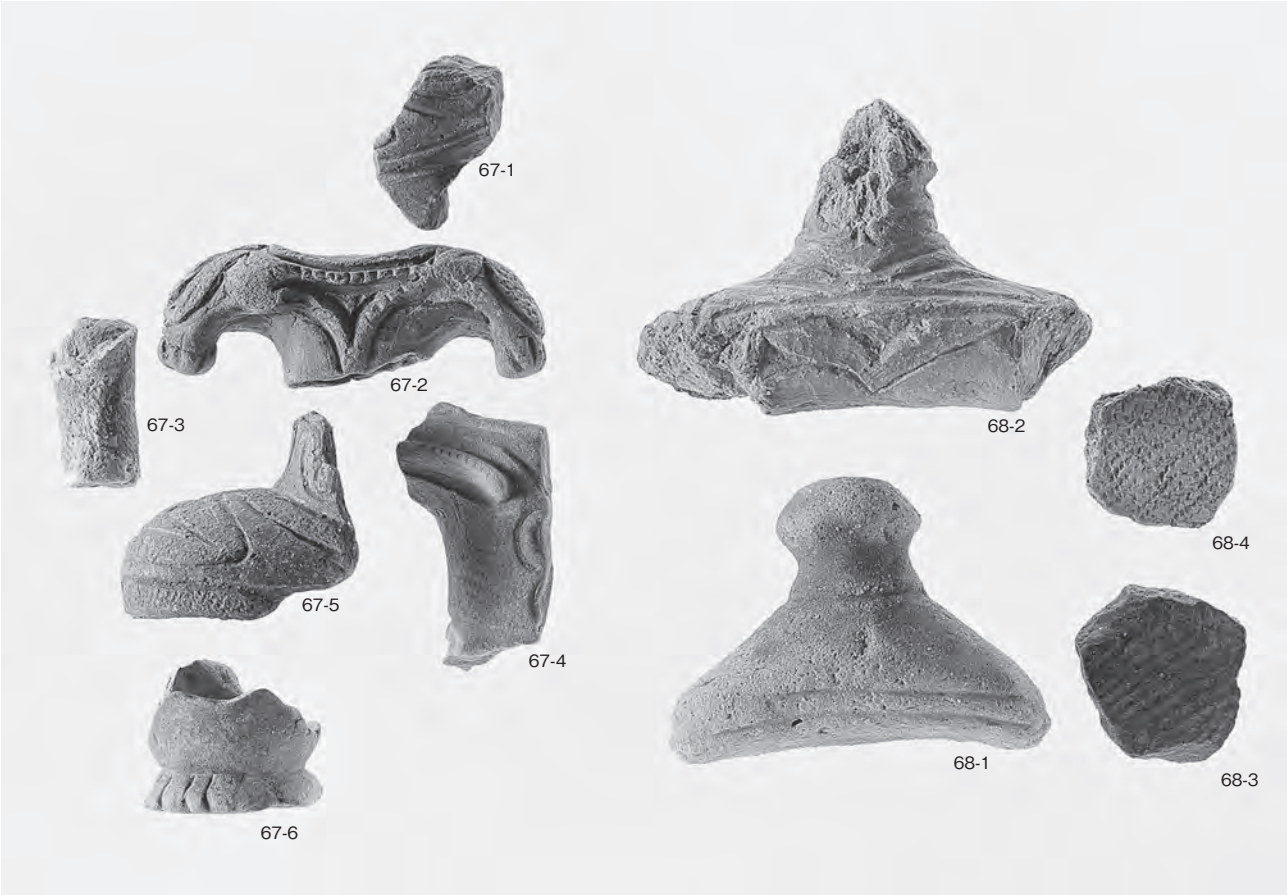

64-11
64-9
65-1
65-4
65-3
65-2
64-8
表 12-124
64-10
65-5

凹石・磨石・敲石

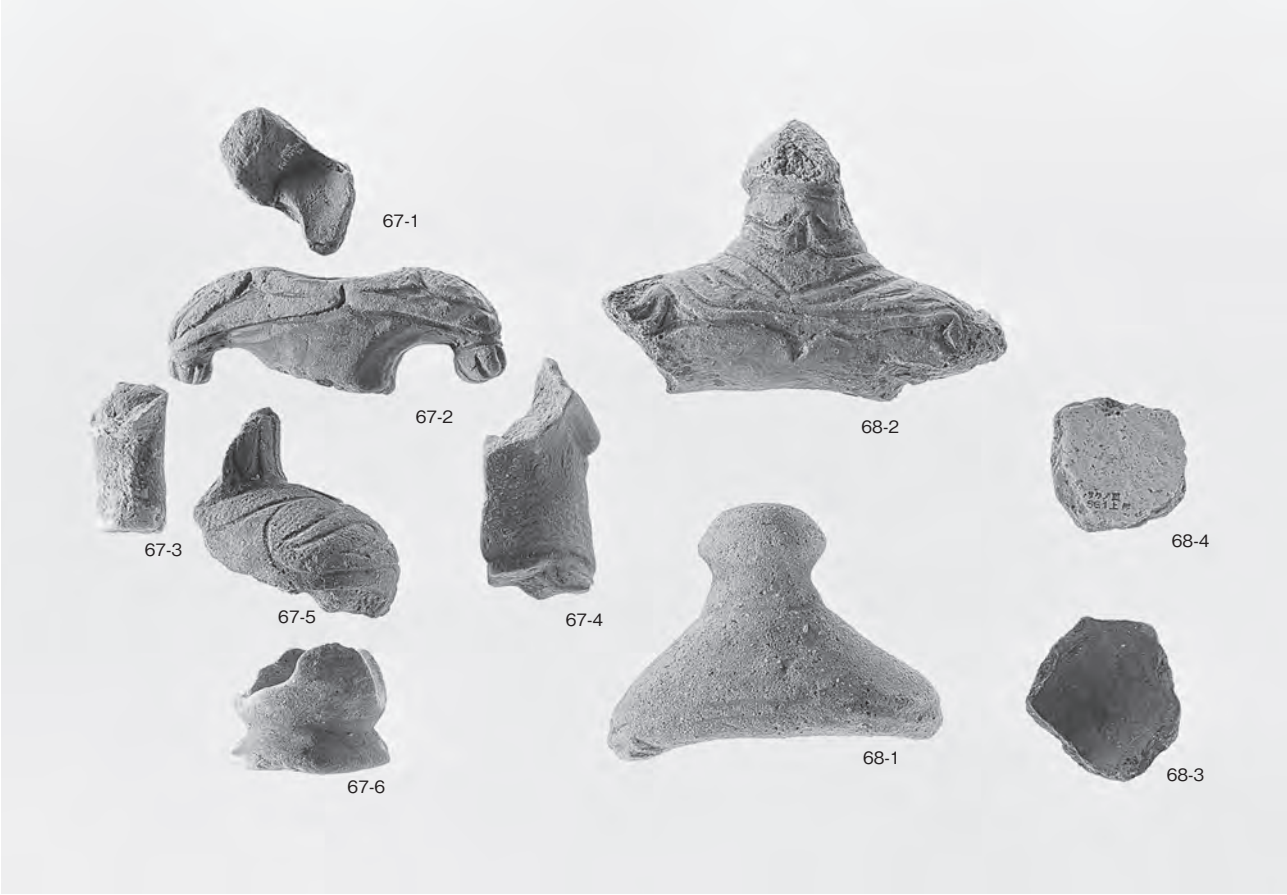
凹石



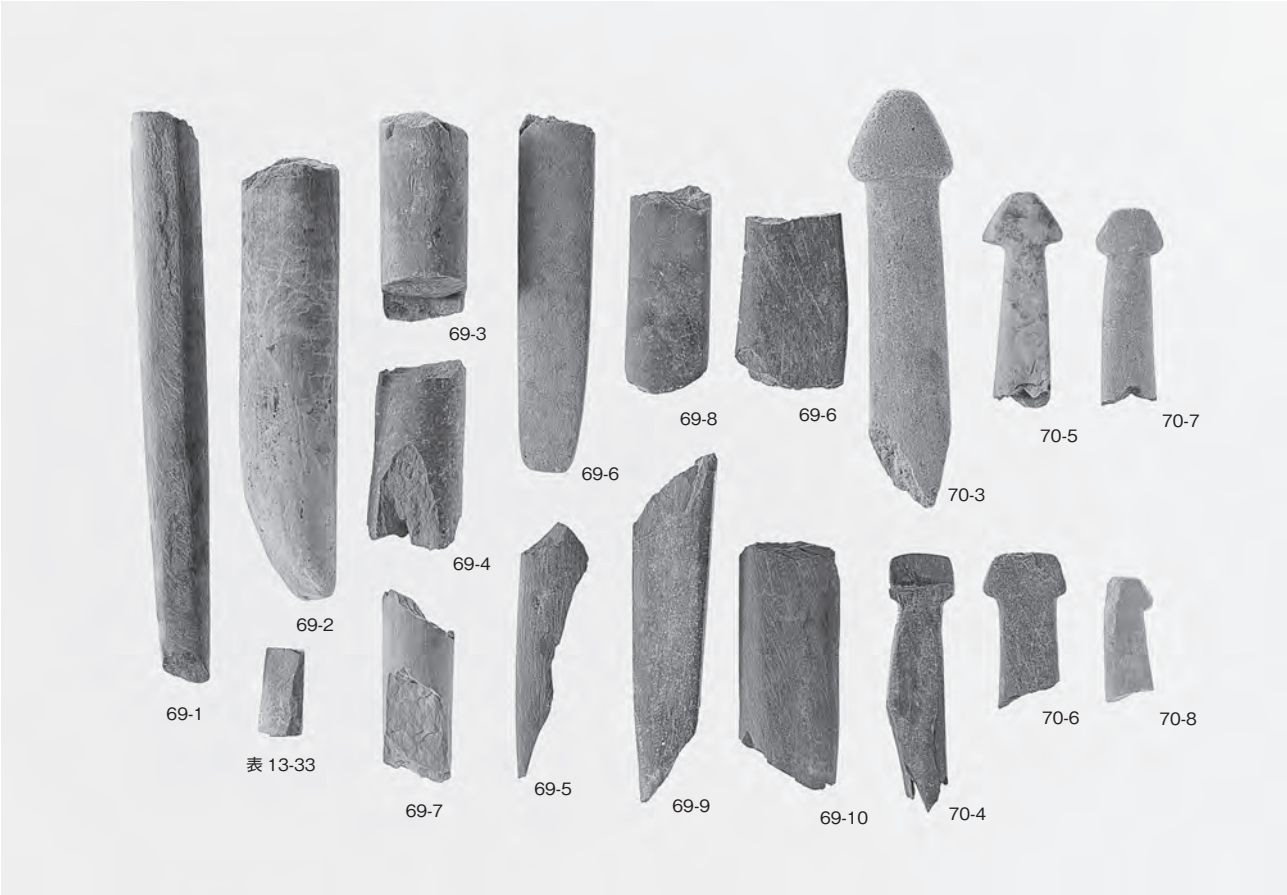
石錘・砥石・石皿



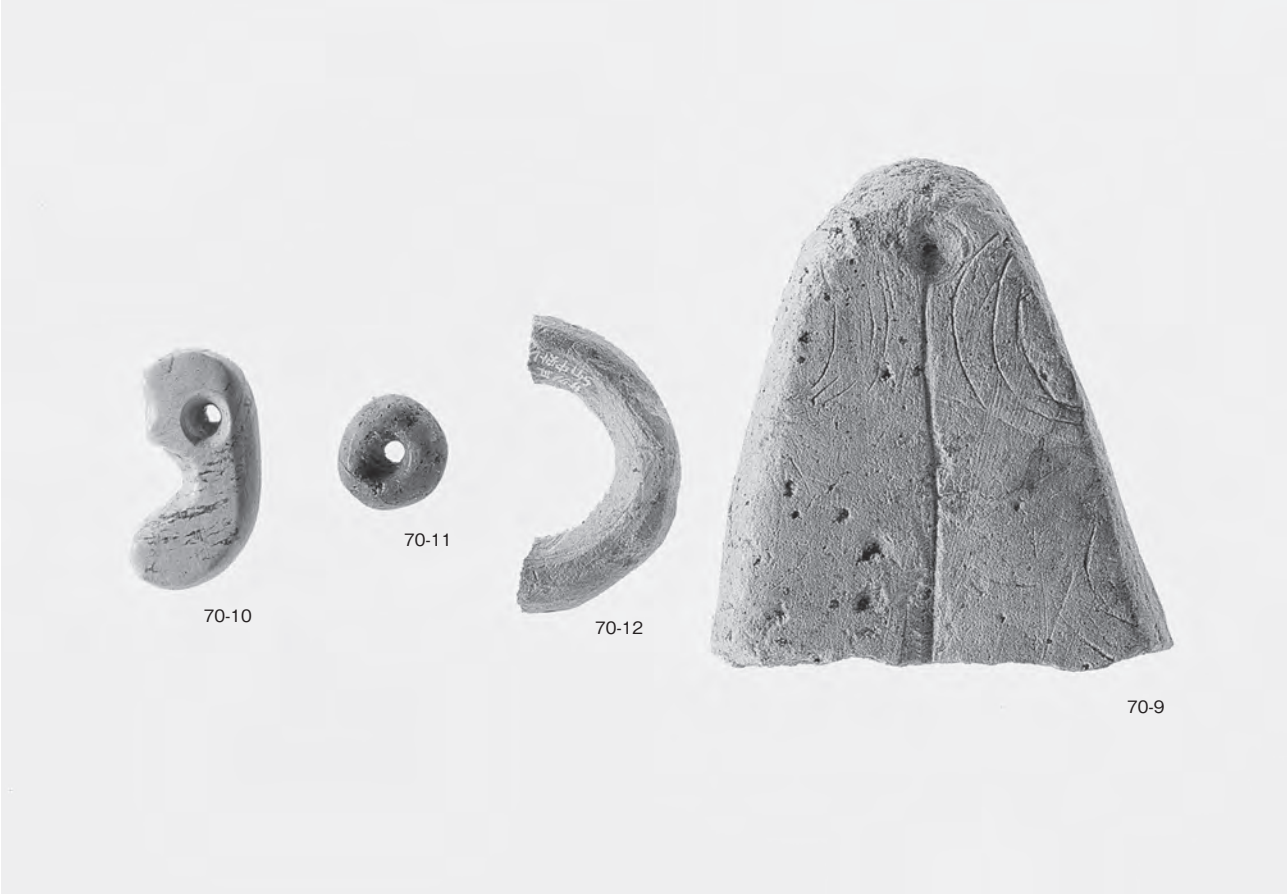
土偶・円盤状土製品・土冠（表面）



土偶・円盤状土製品・土冠（裏面）


69-3
69-8
69-6
70-3
70-5
70-7
69-6
69-4
69-2
69-1
表 13-33
69-7
69-5
69-9
69-10
70-4
70-6
70-8

石棒・石刀


70-10
70-11
70-12
70-9

垂飾品・岩版

報告書抄録

ふりがな	さくのいせきだい３じはっくつちょうさほうこくしょ
書名	作野遺跡第３次発掘調査報告書
副書名	
巻次	
シリーズ名	山形県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第 205 集
編著者名	植松暁彦　後藤枝里子
編集機関	財団法人山形県埋蔵文化財センター
所在地	〒 999-3161　山形県上山市弁天二丁目 15 番 1 号　TEL　023-672-5301
発行年月日	2012 年 3 月 25 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °　′　″	東経 °　′　″	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
作野（さくの） 遺跡（いせき）	山形県（やまがたけん） 村山市（むらやまし） 大字楯岡（おおあざたておか） 字笛田（あざふえだ）	6208	004	38°　28′　32″	140°　24′　10″	20100705 ～ 20100804	250 ㎡	市道徳内・シーボルトライン道路改良事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
作野（さくの） 遺跡（いせき）	集落跡	縄文時代	土坑　5 溝跡　1 柱穴跡　2 谷跡　1 ピット多数	縄文土器 石器 土偶 石棒・石刀 土冠 玉類 土製品・石製品	縄文時代晩期中～後葉の多量の遺物が出土する谷跡を発見する。 （文化財認定箱数：60）

要約

調査では、縄文時代終末の柱穴や貯蔵穴群、谷跡が発見され、集落を区切る南縁部の様相が明らかになった。特に谷跡からは、多量の土器や石器が層位的に出土し、当該期の本地域の土器変遷が分かった。

また、県内で希少な新潟県糸魚川産と考えられる翡翠玉類や、土偶、石棒・石刀、土冠など多様な祭具も出土し、当時の他地域との交流や、多様な水辺の祭がうかがえた。

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 205 集

作野遺跡第３次発掘調査報告書

2012 年 3 月 25 日発行

発行　財団法人　山形県埋蔵文化財センター
〒 999 - 3161　山形県上山市弁天二丁目 15 番 1 号
電話　023 - 672 - 5301
印刷　田宮印刷株式会社
〒 990 - 2251　山形県山形市立谷川三丁目 1410 番 1 号
電話　023 - 686 - 6111